



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2025-2026年度

第一回キャビネット会議要録



日時：2025 年 8 月 2 日（土）

場所：アクア・ベールくしろ

釧路市栄町 8 丁目 3 番地

TEL：0154-25-7020



2025-2026 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット

国際会長

L. A・P・シン

Arvinder Pal Shin

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【Lead to Serve, Serve to Lead.】

(リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。)

地区ガバナー

L. 大島 尚久

地区ガバナースローガン

【豊かな地域づくりに獅子奮迅】

◆ 釧路キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



釧路川に架かるぬさまい橋から、港を臨むと世界三大
夕日が見るものを圧倒し、目を移すと漁船が満を持し
て出港しようとしています。大漁でありますように！

さあ釧路キャビネットも ^{もやい}舳 を解いていよいよ出航で
す。

第1回 キャビネット会議 プログラム

会場：アクア・ベールくしろ

総合受付	9:30～	3F
地区ガバナーチーム会議	10:00～10:40	3F 藤の間
地区コーディネーター会議	10:50～12:00	3F 藤の間
長期計画リサーチ委員会会議	13:00～13:50	3F 藤の間
ミッション1.5会議	13:00～13:50	2F 竹の間
献血・献眼・ 薬物防止委員会会議	13:00～13:50	2F 丹頂の間
LCIF・国際大会・ オセアルフォーラム会議	13:00～13:50	3F 扇の間
レオ・青少年	13:00～13:50	3F 檜の間
YCE委員会会議	13:00～13:50	3F 檜の間
M・IT委員会会議	13:50～14:40	3F 檜の間
地区名誉顧問会議	14:00～15:20	2F 松の間
ゾーン・チェアパーソン事前会議	14:00～15:20	3F 末広の間
* キャビネット会議 *	15:30～17:30	3F 末広の間
* 懇親会 *	18:30～20:30	2F 高砂の間

第1回キャビネット会議次第

司会：運営委員長 L. おおもり かずみち
大森 一道

1 開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚久	
2 出席者の紹介	運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一道	4頁
3 物故会員への黙祷	運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一道	5頁
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚久	
5 前地区ガバナー挨拶	前地区ガバナー L.	いとう たかし 伊東 隆志	
6 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー L.	ひろせ ひろと 広瀬 寛人	
	第二副地区ガバナー L.	やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	
7 キャビネット報告			6頁
報告第1号 : 地区内運営の基本方針	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	7頁
報告第2号 : 国際会長メッセージ	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	9頁
報告第3号 : 複合地区各種会議	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	10頁
報告第4号 : 会員並びにクラブ活動状況報告集計表	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	86頁
報告第5号 : 331-B地区引継報告	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	88頁
8 審議事項			92頁
議長就任	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚久	
議案第1号・2号 : 前年度会計決算報告並びに承認を求める件			
(1) 前年度会計報告	前CAB会計 L.	やまだ かずひと 山田 兼士	93頁
(2) 前年度監査報告	前CAB監査委員 L.	まつもと けいじ 松本 恵治	
議案第3号 : 331-B地区キャビネット会則	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	100頁
議案第4号 : 地区キャビネット旅費支給規程	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸三	103頁
議案第5号 : リジョン・ゾーン経費算定基準	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸三	105頁
議案第6号 : 地区キャビネット慶弔規程	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸三	107頁
議案第7号 : 本年度会計予算承認	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸三	111頁
議案第8号 : 本年度取引金融機関の承認	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸三	113頁
議案第9号 : 地区会計監査委員の委嘱	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚久	114頁
議案第10号 : CAB幹事・会計に対する職務執行の保証と担保			
	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚久	114頁
議案第11号 : 331-B地区表彰規程	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	115頁
議案第12号 : 331-B地区緊急援助資金規則	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	117頁
議案第13号 : 331-B地区献眼運動推進費積立金運用規程	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	118頁
提出議案 : 地区内クラブからの提出議案	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏幸	119頁

9 地区GMTコーディネーター報告	L. 矢吹 定夫	122頁
10 地区GETコーディネーター報告	L. 村山 聡	123頁
11 地区GLTコーディネーター報告	L. 小路 泰孝	123頁
12 地区GSTコーディネーター報告	L. 櫻井 正人	124頁
13 地区LCIFコーディネーター報告	L. 坂本 斉	125頁
14 地区WYPTコーディネーター報告	L. 木下 裕幸	125頁
15 各委員会報告		
長期計画リサーチ委員会	委員長 L. 伊東 隆志	126頁
地区大会委員会	委員長 L. 高瀬 力	126頁
会則・コンプライアンス委員会	委員長 L. 高橋 哲也	127頁
国際大会・国際協調・LCIF委員会	委員長 L. 石田 健太郎	127頁
献血・献眼・薬物防止委員会	委員長 L. 齋藤 修嗣	128頁
レオ・青少年育成委員会	委員長 L. 藤井 芳和	128頁
YCE委員会	委員長 L. 小野寺 一史	129頁
M・IT委員会	委員長 L. 榎田 欣也	129頁
オセアルフォーラム特別委員会	委員長 L. 杉本 隆英	130頁
平和ポスターコンテスト委員会	委員長 L. 吉岡 幸二	130頁
アラート委員会	委員長 L. 浅野 敬一	131頁
16 質疑及びその他		
参考資料：		
地区及びクラブシェアリング交付金申請書		133頁
社会福祉協議会との災害協定締結状況		137頁
クラブ優秀賞及び五つ星優秀賞申請書		138頁
各種式典等出席の申し合わせ事項		140頁
ブラザークラブ周年行事予定		141頁
公式行事予定表		142頁
ガバナー公式訪問予定表		143頁
各複合地区ガバナー協議会及び地区キャビネット事務局		144頁
2025-2026 331複合地区及び準地区情報		145頁
ライオンズクラブ国際協会オセアル調整事務局		146頁
2025-2026年度 331-B地区キャビネット組織表		149頁
15 閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L. 大島 尚久	

第1回キャビネット会議出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地 区 ガ バ ナ ー	L. おおしま なおひさ 大島 尚久	○	第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. さとう としひろ 佐藤 利博	○	アラート委員長	L. あさの けいいち 浅野 敬一	○
第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長	L. ひろせ ひろと 広瀬 寛人	○	第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. たなか かおり 田中 香織	×	長期計画リサーチ委員	L. にのみや ゆういち 二宮 雄一	○
			第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. おおくま ひでゆき 大熊 秀之	○	長期計画リサーチ委員	L. さとう けんじ 佐藤 健治	○
第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	○	第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L.		長期計画リサーチ委員	L. いしむら よしゆき 石邑 義幸	○
			第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. はしもと しゅうじ 橋本 修司	○	運営委員長(副幹事)	L. おおもり かずみち 大森 一道	○
前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. いたう たかし 伊東 隆志	○	第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. さき きよたかひろ 佐々木隆博	○	運営副委員長(副幹事)	L. あたぬき ゆうすけ 綿貫 裕介	○
			第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. おかや しげかつ 岡谷 繁勝	○	運営委員(副幹事)	L. いだ まさあき 井田 正昭	○
地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員	L. なかや よしお 中谷 宣巨	○	第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. かんとう まさひろ 関東 正浩	○	運営委員(副幹事)	L. あいはら ゆきお 相原 幸雄	○
地区名誉顧問	L. ふじわら えこう 藤原 回向	×	第5R 地区MIT・YCE委員			運営委員(副幹事)	L. あさの かずひろ 浅野 一弘	○
地区名誉顧問	L. あべ あきら 阿部 昭	○	第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. いたう みつたか 伊藤 光隆	○	運営委員(副幹事)	L. あさの め みつる 浅野 目 充	○
地区名誉顧問	L. かがわ としお 香川 俊雄	○	地区大会委員長	L. たかせ つとむ 高瀬 力	○	運営委員(副幹事)	L. くまがい あきお 熊谷 明男	○
地区名誉顧問	L. おくやま としお 奥山 壽雄	×	地区大会事務局長	L. ふる谷 たつひろ 古谷 龍彦	×	運営委員(副幹事)	L. おばら のぶゆき 小原 修幸	○
地区名誉顧問	L. やまだ まさあき 山田 正昭	○	地区大会事務局次長	L. あおき ひでふみ 青木 秀史	○	第1R 地区MIT・YCE委員	L. まつざき まさゆき 松崎 正幸	○
地区名誉顧問	L. さとう のぶお 佐藤 信雄	○	地区大会事務局次長	L. あべ まさかず 阿部 将和	×	第2R 地区MIT・YCE委員	L. きたはし ひろし 北橋 完	○
地区名誉顧問	L. いのうら よしあき 井ノ浦義明	○	会則・コンプライアンス 委員長	L. たかはし てつや 高橋 哲也	○	第3R 地区MIT・YCE委員	L. かとう れいち 加藤 礼市	○
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. きむら ひろゆき 木村 宏幸	○	会則・コンプライアンス 副委員長	L. にしいけ さとし 西池 聡	○	第4R 地区MIT・YCE委員	L. ひがしはら よしゆき 東原 義幸	○
キャビネット会計(広報)	L. おおつ こうぞう 大津 幸三	○	国際大会・国際協調・ LCIF委員長	L. いしだけんたろう 石田健太郎	○	第2R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. はやかわ なおひさ 早川 直久	○
キャビネット運営委員 (副会計)	L. あきもと くにひろ 秋元 邦宏	×	国際大会・国際協調・ LCIF副委員長	L. さき きりようきち 佐々木良吉	○	第3R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと みつお 松本 光伸	○
キャビネット運営委員 (副会計)	L. たかはし きよみ 高橋 清美	○	献血・献眼・薬物防止 委員長	L. さいとう しゅうじ 齋藤 修嗣	○	第3R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. あかはら ひろゆき 中原 弘之	○
地区GMT コーディネーター	L. やぶき さだお 矢吹 定夫	○	献血・献眼・薬物防止 副委員長	L. みやきた こうえつ 宮北 晃悦	○	第4R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつだ はじめ 松田 肇	○
地区GET コーディネーター	L. むらやま あきら 村山 聡	○	レオ・青少年委員長	L. ふじい よしかず 藤井 芳和	○	第4R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. みやじま みつぐ 宮島 貢	○
地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長	L. しょうじ やすたか 小路 泰孝	○	レオ・青少年副委員長	L. せい野 よしあき 清野 芳明	○	第4R・第3Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. 松本 孝幸	○
			YCE委員長	L. おの でらかずし 小野寺一史	×	第5R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. ためひろ ひろし 為広 裕司	○
地区GST コーディネーター	L. さくらい まさと 櫻井 正人	○	YCE副委員長 アラート副委員長	L. さとう ひでかず 佐藤 豪一	○	第5R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. いいだ まる 飯田 守	○
地区LCIF コーディネーター	L. さかもと ひとし 坂本 斉	○	M・IT委員長	L. うめだ きん也 樫田 欣也	○	地区会計監査委員	L. しみだ やすひと 淋代 靖人	○
地区WYPT コーディネーター	L. きのした ひろゆき 木下 裕幸	○	M・IT副委員長	L. ふなやま かずひろ 舟山 和宏	○	地区会計監査委員	L. おの てつや 小野 哲也	×
地区GMT 副コーディネーター	L. おおた よしひろ 太田 好啓	○	M・IT副委員長	L. ばば ひでき 馬場 英樹	○	前キャビネット会計	L. やまだ かずひと 山田 兼士	○
地区GET 副コーディネーター	L. いしだ そう がん 石田十羽完	○	オセアルフォーラム 特別委員長	L. すぎもと たかひで 杉本 隆英	○	前キャビネット会計監査	L. まつもと けいじ 松本 恵治	○
地区GLT 副コーディネーター	L. うめ田 み 三樹 梅田 三樹	×	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. しま こう治 島 孝治	○			
地区GST 副コーディネーター	L. かわひと まさかず 川人 正和	○	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. さとう くにひこ 佐藤 邦彦	○	事務局長	L. たけだ ただし 武田 真史	○
地区WYPT 副コーディネーター	L. くまがい かずゆき 熊谷 一行	○	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. てらなか まさたけ 寺中 賢武	○	事務局員	さとう ゆか こ 佐藤祐雅子	○
第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. わたべ こうじ 渡部 候司	○	平和ポスターコンテスト 委員長	L. よしおか こうじ 吉岡 幸二	○	事務局員	わかづき きよみ 若月 聖美	○
第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. はせ がわ まつみ 長谷川松美	○	平和ポスターコンテスト 副委員長	L. まつな まさゆき 松並 正幸	○			

物 故 会 員

(2025年3月12日～2025年7月15日迄の物故者名)

獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2025年3月23日	L. ^{つつみ} 堤 ^{すすむ} 進	8 1 歳	(猿払 L C)
2025年5月17日	L. ^{せりた} 芹田 ^{としたね} 俊胤	9 2 歳	(音更 L C)
2025年5月17日	L. ^{は た の} 羽田野 ^{ひろとし} 浩利	8 2 歳	(帯広 L C)
2025年6月22日	L. ^{きせん} 気仙 ^{えいじ} 英二	7 6 歳	(標茶 L C)
2025年7月10日	L. ^{はやし} 林 ^{しんじ} 眞二	7 5 歳	(増毛 L C)

報 告 事 項

(報告第1号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
釧路キャビネット ガバナー基本方針

地区ガバナー L. 大島 尚久

2025-2026 年度 地区スローガン

『豊かな地域づくりに獅子奮迅』

【基本方針】

・新しい事業を開拓

地域が豊かになるための奉仕事業

・環境保全に関わる事業の推進

植樹の推進

海に面した地域では海洋プラスチックごみに関する研修会の開催

地区で一斉ごみ拾い日を決めて実施

・M1.5実現への取り組み

新クラブを二つ結成

新入会員を増強して純増を達成し会員減少に歯止めをかける

メンターの育成

新会員の入会促進への仕掛けづくり【ASK2の実践】

新しい会員の発想を取り入れる仕掛けづくり

・LCIFに対する取り組み

チャリティーゴルフ、ボウリング、LCIFスタンドの開設

広く浅く多くのライオンにLCIFの意義を知ってもらい寄付を募る

(報告第1号)

- ・オセアルフォーラムの成功

参加したくなる、参加しやすい仕掛けづくり

- ・小児がんの子供たちへの支援【HD1000 活動】

目標ヘアードネーション 1000 件

- ・献血促進活動の取り組み

献血 250 万 ml キャンペーン

- ・青少年育成に対する取り組み

レオクラブへの支援、YCEへの支援

- ・充実した例会の開催【4T活動】

楽しい！ためになる！頼りになる先輩を見つける！助け合える仲間を見つける！

- ・ライオンズ活動を通して仲間を作ろう【GGV作戦】

合同例会！ 合同事業！ 例会訪問の推進

- ・ライオンズクラブのすばらしさを発信【IPT活動】

いつもピンをつける！
SNSの利用

2025-2026年度国際会長 テーマ
「We Serve (われわれは奉仕する)」



ライオンズクラブ国際協会 会長

L. A・P・シン

(Arvinder Pal Shin)



国際会長メッセージ

**「リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。」**

(Lead to Serve, Serve to Lead.)

リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。

複合地区各種会議

● 一般社団法人日本ライオンズ

◆ 社員総会（全国ガバナー会）議事録

(2025. 3. 12) 第3回社員総会（全国ガバナー会）議事録 11 頁

◆ 理事会 議事録

(2025. 1. 23) 第6回理事会議事録 19 頁

(2025. 2. 12) 第7回理事会議事録 26 頁

(2025. 3. 12) 第8回理事会議事録 35 頁

(2025. 4. 15) 第9回理事会議事録 39 頁

◆ 国際大会委員会（WEB） 議事録

(2025. 2. 20) (社)日本ライオンズ「第8回国際大会委員会（WEB）」議事録 50 頁

◆ アラート委員会 議事録

(2025. 2. 26) 第6回アラート委員会（Web）議事録 53 頁

(2025. 4. 8) 第7回アラート委員会（Web）議事録 59 頁

(2025. 6. 17) 第8回アラート委員会（Web）議事録 65 頁

◆ 会則委員会 議事録

(2025. 3. 21) 第5回会則委員会（WEB）議事要録 70 頁

◆ Y C E 委員会 議事録

(2025. 2. 21) 第4回 Y C E 委員会議事録 72 頁

(2025. 4. 14) 第5回 Y C E 委員会（WEB）議事録 76 頁

● 2024-2025年度ライオン誌日本語版委員会

(2025. 3. 4) 2024-2025年度 第8回会議（ZOOM）議事録 80 頁

(2025. 4. 7) 2024-2025年度 第9回会議（ZOOM）議事録 83 頁

2025年3月12日(水) 13:30-16:00

AP日本橋 G ルーム

出席者リスト

<正社員> 2024-25 年度

330-A 地区ガバナー 森 亮 介
 330-B 地区ガバナー 倉 田 雅 史
 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘 樹
 331-A 地区ガバナー 美 田 法 賢
 331-B 地区ガバナー 伊 東 隆 志
 331-C 地区ガバナー 齋 藤 尚 仁※【欠席】
 332-A 地区ガバナー 吉 澤 俊 寿
 332-B 地区ガバナー 平 野 嘉 男※【欠席】
 332-C 地区ガバナー 佐 藤 久 一 郎
 332-D 地区ガバナー 車 田 信 彦
 332-E 地区ガバナー 安 孫 子 英 彦
 332-F 地区ガバナー 長 澤 源 一
 333-A 地区ガバナー 高 頭 八 郎※【欠席】
 333-B 地区ガバナー 福 田 智 恵※【欠席】
 333-C 地区ガバナー 大 瀧 勝 明
 333-D 地区ガバナー 染 谷 文 雄※【欠席】
 333-E 地区ガバナー 椎 名 健 二
 334-A 地区ガバナー 柴 田 高 志
 334-B 地区ガバナー 丹 羽 浩 康※【欠席】
 334-C 地区ガバナー 鷹 嶋 邦 彦※【欠席】
 334-D 地区ガバナー 杉 木 徹
 334-E 地区ガバナー 浜 一 平
 335-A 地区ガバナー 永 田 雅 章※【欠席】
 335-B 地区ガバナー 古 川 繁 浩※【欠席】
 335-C 地区ガバナー 野 々 山 宏※【欠席】
 335-D 地区ガバナー 今 市 明 弘
 336-A 地区ガバナー 石 井 淑 雄
 336-B 地区ガバナー 上 原 正 樹
 336-C 地区ガバナー 鳴 戸 大 二※【欠席】
 336-D 地区ガバナー 神 田 義 満
 337-A 地区ガバナー 矢 野 進※【欠席】
 337-B 地区ガバナー 武 永 健 治 郎※【欠席】
 337-C 地区ガバナー 為 永 一 夫※【欠席】
 337-D 地区ガバナー 宇 都 要 一
 337-E 地区ガバナー 吉 井 本

(2024-25 年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長 田 名 部 智 之
 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小 野 寺 眞 悟

(2024-25 年度 協議会議長)

MD330 議長 伊 賀 保 夫
 MD331 議長 諏 訪 昇 三
 MD332 議長 渡 邊 俊 弥
 MD333 議長 佐 藤 裕 幸
 MD334 議長 喜 多 友 一
 MD335 議長 廣 田 晃 一
 MD336 議長 藤 井 信 英
 MD337 議長 濱 田 浩 平

(2023-24 年度 協議会議長)

MD330 議長 田 中 雄 一
 MD331 議長 松 浦 淳 一
 MD332 議長 栗 村 安 弘
 MD333 議長 星 野 勝 美
 MD334 議長 戸 祭 宏 樹
 MD335 議長 中 谷 豊 重
 MD336 議長 澤 辰 水
 MD337 議長 新 里 正 雄

(2024-25 年度 新理事)

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜※【欠席】
 2023-25 国際理事 濱 野 雅 司
 2024-25 LCIF 理事 鶴 嶋 浩 二※【欠席】

(2024-25 年度 監事) 2 年任期の 1 年目

MD332 元議長 下 間 俊 悦
 MD333 元議長 石 橋 貞
 MD335 元議長 小 林 聰※【欠席】
 MD337 元議長 乗 田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 60 名 (出席 42 名・欠席 18 名)

【正社員】 第3回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席※	小計
D G	21	14	35
理事	19	2	21
監事	2	2	4
	42	18	60(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案：一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 賛 15 否 3

**オブザーバー
【国際協会】**

元国際会長

山田 實 紘

【2024-25 日本 GAT】

エリアリーダー(統括)	鈴木 誓 男
エリアリーダー(東日本)	小川 晶 子
エリアリーダー(西日本)	松岡 勲
エリアリーダー(GLT/GST)	識 名 安 信 【欠席】
副エリアリーダー(MD330,333)	伊 藤 和 子 【欠席】
副エリアリーダー(MD331,332)	田名部 智之
副エリアリーダー(MD334,335)	大 山 恭 範
副エリアリーダー(MD336,337)	有本 みどり 【欠席】
副エリアリーダー(GLT/GST)	設 楽 幸 子 【欠席】
DGE グループリーダー	濱 島 清 美 【欠席】

【2025-27 年度 国際理事候補者】

仁科 良三

【OSEAL 調整事務局】

事務局長

マーズ 佐子

【顧問】

法律顧問

池 田 和 司

会計顧問

吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治

【理事長事務局補佐】

南部谷 靖

成田 祐樹

以上

1.開会のことば

松浦理事長の挨拶の後、定款第 16 条の定めにより、理事長が議長に就任することを宣言され開会した。過半数の出席を得て、定足数を満たしているため、第 3 回社員総会が成立している事を確認。

続いて名誉理事長山田元国際会長、濱野国際理事、公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長、田名部前理事長、仁科国際理事候補よりご挨拶をいただいた。

2.議事録作成人・署名人の選出

議事録作成人として、MD332 渡邊常務理事・MD333 佐藤常務理事が選出。

議事録署名人は 330-A 森亮介ガバナー、332-A 吉澤俊寿ガバナーが選出された。

3.議事運営について

議長より、議事運営ルールが説明され、発言者は地区名と氏名を述べてから発言することを確認された。

4.審議事項

第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件

中谷専務理事より説明

2016 年 1 月 1 日に旧日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が合併して以来、賛助会費の金額を 80 円に据え置いてきた。

2022 年より日本ライオンズ理事会構成員への会議出席へかかる交通費支給の廃止を行い、昨年度からはライオン誌誌面編集や出張の内製化を行うなど、経費削減へ取り組んでいた。しかしながら昨今の社会経済情勢を踏まえ、一般社団法人日本ライオンズ理事会では賛助会費の値上げについて慎重に協議を重ね、組織存続のため今後 2 年において 40 円ずつ、計 80 円の賛助会費の値上げを行い、最終的に賛助会費を 160 円とすることが 2025 年 2 月 12 日開催の第 7 回理事会にて承認された。よって皆様のご承認をいただきたい。

参加した地区ガバナーの意見として、

値上げ後のロードマップについて、具体的な説明がない。地区内での説明のためにも詳細な会費値上げ後や経費削減の計画書など資料の提示の希望、

かなりの金額の内部留保がある件について、金額の詳細な使い道についての質問と、近年の決算を見ても財政がすぐに破綻するわけではなく、値上げについては時期尚早であるという意見、会費値上げの開始について 1 年もしくは 2 年の猶予を求める声が寄せられた。

現在クラブに送料を負担いただいているライオン誌の発送方法を変更し社団が送料を負担する案についてはクラブ一括発送ではなく、引き続き個人発送を望む意見が地区により根強いことから、再度検討いただきたいという意見。松浦理事長・中谷専務理事より再度社団理事会にて検討を進めていく予定であると回答。

採決の結果、賛成 43 名 反対 14 名（議決権行使書による参加者を含む）詳細は以下の通り。

会場：	賛成 2 9	反対 1 1	棄権 2	
書面決議：	賛成 1 5	反対 3		
合計	賛成 4 4	反対 1 4	棄権 2	合計 6 0

過半数の賛成により、第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 が可決。

・松浦理事長より、スムーズな進行と可決についての御礼の後、引き続き報告事項へ移る。

5.報告事項

・一般社団法人日本ライオンズ活動報告

松浦理事長より値上げの話を先ほどご承認いただいた。皆様から寄せられた意見を元に、より詳しい資料を準備し、賛助会費の値上げについてご理解いただけるようにしていくと報告された。

・各種行事開催報告

中谷専務理事より直近で開催した行事の報告。

◇国際大会委員会

・第 107 回オーランド大会最新情報

戸祭理事より報告。MD 公認 TC となっている旅行会社を使っていたきたい。

各地区の旅行会社もあると思うので無理にとは言えないが、例年予約をとったホテルでかなり空きがあり、OSEAL 調整事務局を通じ本部大会委員会よりクレームも入っている。是非ホテルだけでも公認 TC の手配した日本ホテル(ダブルツリーバイヒルトン・オーランドホテル・アット・シーワールド)ご利用をお願いし、確保している 335 室が埋まるように強くお願いしたい。

続いてパレード委員長である MD334 大山大会委員長よりパレードの説明。

・第 62 回札幌フォーラム最新情報(10/23-26)

諏訪常務理事より報告。現在月 1、2 回の会議を行い、開催準備を進めている。5 月 23～25 日にステアリング委員会があり、スケジュールなどはそこで最終決定する予定。フォーラム閉会式の後に行われる国際会長公式訪問を含めた現時点でのスケジュールの説明。最新内容についてはホームページを確認いただきたい。3 月 31 日までが早期登録となっており、さらに多くのご登録をお願いしたい。今後の国際協会における立場などを考え、札幌だけでなく日本全体で成功させることが重要であり皆さんの絶大なるご協力を賜りたい。支援金については 98%程度ご入金をいただいております。感謝申し上げます。

◇アラート委員会

新里理事より報告。大船渡山林火災対策本部をアラート委員会に設置し会議を行った。能登地震の際、情報統制が取れなかった件などの反省を踏まえての開催とした。今後の

支援についても社団を通しての情報の流れなどルール作りが必要であると感じている。

◇YCE 委員会

田中理事より報告。4回の委員会を行い、去年は派遣のマニュアルを作成したが、受け入れ家庭用マニュアルを作成したく動いている。

事業の報告として、YCEは冬春夏の3回あるが、冬季は特段大きな問題なく終了していると報告を聞いている。春季は今の所は順調に進んでいる。夏季についてYCEは8・9月中に派遣やキャンプがあり、そこまでは今期の委員会が担当することが多く、YCEの活動について現議長・ガバナーのご協力のご理解をお願いしたい。

◇会則委員会

中谷専務理事より報告。ライオンズ必携の改訂作業をしているため遅れてはいるが今年度中には発行したいと考えて進めている最中。

役員必携については4月に年次大会が終わって新しい役員が就任されるまでには発行できるように印刷会社とやり取りをしている。役員必携は9,200部の印刷で単価650円を予定中。

◇国際理事会報告

・山田元国際会長（LCIF 理事）

国際協会の最優先事項であるミッション 1.5 の現状と、執行部で検討されているキャンペーン成功のための提案について報告され、参加されたガバナーにもMD334での事例を上げて報告と提案が行われた。ライオンズの本来の目的はWe Serveであり、入会された方がライオンズへ入ってよかった、ライオンズのバッヂを付けていることが誇らしいと思っただけのような価値のある奉仕を行っていかなければならない。日本がライオンズ最大国となるくらいの大きな夢をもって取り組んでいていただきたい。

・濱野国際理事（奉仕事業委員会副委員長）

国際大会の投票は今回のオランダから2日間だけになるのでご注意ください。第三副会長については数名の候補者がいるが、国際理事会としてはオーストラリアより立候補しているトニー・ベンボウ元国際理事を推薦しており投票をお願いしている。続いて国際理事会報告として国際理事の定数はそのままで会則地域ごとの配分が変わる件、プロトコール追加の件について、昨年度に続き元地区ガバナー研修開催について報告。

ライオン誌について、WEB版発行時にライオンポータルに登録している方へ発行された旨のメールが送られるようになった。ライオン誌を見ただけであれば色々なものが伝わるかと思う。

国際協会の用意しているアワードと日本からの受賞クラブの紹介と、奉仕事業委員会の取り組みとして来期から奉仕週間というのを用意して3週間、1週ずつ分けて人道支援、環境保全、心と健康のケアの奉仕週間を設けることの報告。国際協会がテクノロジー強化に現在取り組んでいる観点よりオンライン研修やAIの活用についての呼びかけがあった。

◇GAT エリアリーダー報告

- ・鈴木誓男 GAT 統括エリアリーダー

皆さんの任期も残り3カ月とはなったが、残りの期間も全力でミッション 1.5 について取り組んでいただきたい。会員増強へ取り組むことで世界中の人々が奉仕を受けることができ、救われることになる。

- ・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー

6月1日ー3日にミッション 1.5 サミットを開催する。

各複合地区の GET、GMT の次年度のコーディネーター、準地区の GET、GMT のコーディネーターにご参加をお願いします。次年度においてすぐにスタートが切れるよう、次年度 GAT 役職者の人選と推薦について協力の呼びかけが行われた。

- ・小川晶子 GAT 東日本エリアリーダー

地区の進捗、評価を行う件が国際会長のメールで呼びかけがあったかと思う。

地区ごとのクラブ・支部設置の状況について報告があり、一部のガバナーについては目標設定などの変更を含め残って今後の報告をいただきたいと呼びかけ。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

小野寺理事長より資料を元に報告。

特別支援高校を対象とした第4回全国フットサル大会を今年11月1日東京で行う。150校の参加を目標としており、室伏スポーツ庁長官にもお越しいただきたいと考えている。事業としての知名度がかなり上がってきていると実感している。

皆さんの地元で行われる地区大会には時間を作っていただき是非見に行っていただきたい。児童養護施設の子供たちの学力向上を目的とした寺子屋事業は現在 35 の施設で行われている。協力をいただく NPO 法人が西の地域が少なく課題であるが、家庭教師を面談の上、パートナーとして施設に派遣を行っている。

施設の子供たちには小学校高学年で算数ができない、ひらがなが書けない子どもたちもいる。財団の事業を通じて将来が拓けた子供たちもいる。皆様には何卒ご協力をお願いしたい。

◇その他

- ・OSEAL レオフォーラム

廣田常務理事より報告。第6回となる OSEAL レオフォーラムを 2025 年 11 月 7-9 日に MD335 が主管として行うため検討を重ねてきた。

レオの目的と意義を果たし、明日のライオンを育成したい。予算の不足分についてはライオンズメンバーに限らない協賛、LCIF の交付金を活用し各地区への協力金をお願いしない予定である。

去年は香港で開催されたが、その規模感はレオの参加登録者が香港で 60 名、香港以外から 50 名で 110 名。ライオン 50 名で 160 名位。規模感は OSEAL フォーラムの 1/100 程と予想される。皆様にご協力をお願いしたい。

- ・SON 感謝状が日本ライオンズへ授与された報告が中谷専務理事より行われた。

・監事講評

石橋監事より講評。

本日の議案であった賛助会費値上げは今後のことを考えてのことではありますが、各ガバナーにおいては地区への説明の材料が足りないとの話もあったので、詳細な資料は松浦理事長がしっかりしたものを用意するかと思います。ご協力に感謝いたします。

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

以上

議事録作成人：

常務理事

渡邊 俊弥

常務理事

佐藤 裕幸

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長

松浦 淳一【押印省略】

330-A 地区ガバナー

森 亮介【押印省略】

332-A 地区ガバナー

吉澤 俊寿【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第6回理事会 議事要録

開催日時：2025 年 1 月 23 日(木) 10：30-14：00

場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田) 【Web】
副理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山)
理事	栗村 安弘	(大船渡)
理事	星野 勝美	(太田) 【欠席】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)
理事	新里 正雄	(沖縄)
監事/MD332 元議長	下間 俊悦	(男鹿)
監事/MD333 元議長	石橋 貞	(足利西)
監事/MD335 元議長	小林 聡	(姫路広陵)
監事/MD337 元議長	乗田 泰	(伊万里) 【Web】
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之	(八戸)
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)
国際理事	城阪 勝喜	(大阪港)
国際理事	濱野 雅司	(岩槻)
LCIF 理事	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)

◇開会宣言

松浦理事長より冒頭の挨拶。

城阪国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長より挨拶を賜る。

◇出席者確認

過半数が出席のため、理事会が成立。

◇議事録作成人の指名

議事録作成人として渡邊常務理事、佐藤常務理事を指名。

1. 報告・協議及び審議事項 等

(1) 1/8 第 6 回国際大会委員会報告

第 107 回オランダ国際大会（2025 年 7 月 13 日-7 月 17 日）

【報告事項】

日本ホテルおよびツアー計画の進捗、パレード参加の進捗。

幹事公認 TC と打合せを行い、空港からホテルへの送迎も各 MD 混載ということで一つにまとめる。オプションツアーも全 MD 共通とする事で空席を少なくし、値段を下げる方向で話をしており、2 月 3 日開催の第 7 回国際大会委員会で公認 TC に来ていただき話をする事となっている。

ホテルについては「ダブルツリーバイヒルトン・オランダホテル・アットザ・シーワールド」で 385 室抑えられそうという状況。アメリカの慣例により、週末を跨ぐと航空運賃が安くなる傾向がありツアー日程にも反映する。

パレードのバンドについては現地で手配できるかを OSEAL 調整事務局に確認中。

隊列が長くなった場合はバンドを複数頼む必要があると指摘あり。

パレードについては詳細の調整中のため、改めて議題とする。

パレード「頒布品」コンペ開催結果報告

交換ピンは同一デザインを 2 個一組、缶バッジは同一デザイン・サイズを 2 個一組、小物はキャップとした。頒布品について全会一致で承認。

パレードではタイ・パタヤでの第 61 回 OSEAL フォーラムの際のアロハシャツを着用。田名部国際理事候補に確認して了承をいただいている。

ボトムスは白系統のズボンと踵のある同く白系統の靴。

日本代議員会日程について

7/15 開会式の朝、朝食会の形でダブルツリーバイヒルトンにて行う予定。詳細が決まり次第案内する。

【審議事項】

オランダ国際大会への職員出張要請

増澤事務長、職員 2 名の計 3 名の出張要請が提出され、全会一致で承認。

MD 別公認 TC の営業活動範囲の見直し(公認 TC 規程)

MD331 でふさわしい一種旅行業者が見つからず、MD330・333 を担当している公認 TC を MD331 公認 TC とした件の報告。協議の結果、規約変更は行わず今年度のみ特例として承認する。

第 62 回 OSEAL フォーラム in 札幌 (2025 年 10 月 23 日-10 月 26 日)

【報告事項】

各 MD 登録目標数 (1/9 第 5 回執行理事会議長確認)

全日本で 10,000 名、開催地として MD331 は 3,000 名とし、MD では全員登録の依頼を出している。各 MD の登録目標については執行理事会にて特典会員を除く会員数からの割り当て案を元にした目標人数設定とした。田名部国際理事候補者、仁科国際理事候補者の地区は目標を大きく超えるようにお願いしたい。早期登録については日本のみ 3 月末まで。

「登録方法」手順のご案内

第 62 回 OSEAL フォーラムホームページからの登録について説明。登録手順については資料の記載の通り。現在はクレジットカードでの支払いのみだが、グループ登録時の銀行振り込みを可能にすることを検討中。2 月の早い段階で対応をする予定。

(3)スペシャルオリンピックス (SO) 2025 年トリノ大会

【審議事項】「ラジオ企画」支援について

スペシャルオリンピックスのラジオ企画の支援として 175 万円 (160 万円+税) の協賛をしたい。SO の特別会計に 640 万円ほどの残高があるのでここからの支出としたい。前回のドイツ大会では 1,000 万円の交通費を社団から支援を行った。様々な冠協賛企画があるのでライオンズをアピールするには良いのではないかと考えている。S T V は日本テレビ系の北海道ローカルラジオ放送。録音をさせていただくので後から音声を皆さんに聞いていただくことは可能。

全会一致で承認。

(4) ダイナースカード「覚書 (案)」の件

【報告事項】契約締結に向けての進捗報告

覚書 (案) にある支払い責任についての記載について議論。

池田法律顧問より日本ライオンズにとって大きなマイナス面があるので再検討したほうがよいと意見。

ダイナースとは増澤事務長と池田法律顧問が再度打ち合わせを行うことを承認。

(5) 「会費」 値上げ対応の件

今まで2年間、理事への交通費の支給なしで運営をしている。

現状は赤字の決算となっている。請求発行の仕組みなどの導入でコスト削減をしつつも、初年度40円、次年度40円で現状の80円から160円まで値上げをした。

賛成・反対の立場から意見が出、議論が交わされた。

まずは社団でのさらなる経費削減の見直しが必要とし、ライオン誌発送方法など、具体的な経費削減方法の案などが出る。

会費値上げの場合のプール金計算の扱いについても議論が必要。

会員の皆様にご理解いただくためには丁寧な説明が必要であり想定問答集資料作成など行う。

2年をかけて計80円の値上げを行うことについて、全会一致で承認。

(6) 下半期予定の確認

下半期の活動予定およびスケジュールの共有。

2. 各種報告事項

ブラジル国際理事会(2024年10月)決議要約の確認

- ① 財務及び本部運営委員会にて334-D地区内の7クラブの国際会費の免除が2025年12月31日まで延長となった。
- ② 長期計画委員会にて国際大会の5日目の投票が廃止とした。これにより閉会式の直前の投票が不可となった。
- ③ マーケティング委員会にて公認プロトコルの改訂がされ、GETコーディネーターが加わった。

濱野国際理事より主にこの3点を各MDに伝えていただきたいと報告。

アラート委員会報告

能登サンタ企画

喜多副理事長より本件の経緯を再度説明。

問題が多数発生。本来取るべき手順が取られておらず、MDでは委員会自体の再編の可能性もでてきていることの報告。

日本ライオンズのアラート委員会にも迷惑をかけている。組織を無視してやっている状況。日本ライオンズ理事会へ一任していただき、抗議文などの処理の報告

はさせていただきたい。本来 MD で解決する問題ではあるが大きくなっているの
で、日本ライオンズとして対応する必要が出てきていると意見。

能登ベース 支援金収支報告と物品譲渡契約書

藤井常務理事より報告。

収支について、ガス、電気料金として予算 150 万円の中から 3.8 万円ほど使用料
として執行し、余った分を社団に振り戻しをした。物品譲渡については再度協議
し報告としたい。

全国アラートフォーラム in 茨城（2025 年 3 月 14 日開催予定）進捗

1 月 31 日〆切だが本日の時点で 169 名の登録。500 名の目標だと 300 名ほど足
りていない。社団の総会の翌々日ということもあるが、出来るだけ皆さんに目標
の数字に近づくように協力をお願いしたい。MD332 と MD334 が目標との差が
大きいので特に協力をお願いしたい。MD333 は 300 名ほど参加予定。
現在の組織について東西のリーダー、統括リーダー委員の下に班長、副班長とな
っているが組織変革を検討中。理事会でも相談したい。

会則委員会関係報告

ライオンズ必携については抜本的な編成見直しのため完成が遅れている。役員必
携については新しい役員の研修資料にしたいので 3 月末から 4 月上旬発行に向け
て動いている。役員必携の見積を部数により 3 パターン取っている。各 MD・地
区に必要部数のアンケートを取っているのでまとまった時点で正式な数量を決定
して進めていきたいと思っている。

日本国内共通コンプライアンス規定について

日本国内の会員・事務局職員に対し、日本共通のコンプライアンス規定を設けた
いと案が出ているため、委員会として適合性・整合性を揃えるように進めている。
ライオンズ必携掲載の前文に問題があるとの指摘。国際理事会方針書と違う書き
方をしている部分があると質問あり。
現在慎重に見直し中であり、一部の記載については掲載場所の変更なども検討中
であると回答。

地区より寄せられた質問について回答の共有。

色々な文書が社団、財団へ送られてきており、問題があった時はそれぞれの地域
の議長とガバナーにお伝えし、解決する流れとなっている。

来期 GAT 役員選出の件

濱野国際理事より説明。

AP シン第 1 副国際会長より、次期の GAT の選出の協力依頼があった。1 月 31 日までに予定者を任命し報告してほしい。

第一副地区ガバナーはすでにこの件についてご存知かと思うが、各地区の現ガバナーに迷惑をかけない形で時期の GAT の選出への支援、ご協力をお願いする。

MD のコーディネーターの選出については議長が決まってからの選出になると思うが、まずは地区の GAT の選出を速やかにお願いしたい。予定者、としての報告でも良い。

AP シン第一副会長は準地区だけ役員を決めて欲しいとおっしゃっているが、日本の事情を考えると MD も一緒に決めた方が良くと思われる。

MD335 からの報告事項

「オリベイラ国際会長」公式訪問 収支報告

収支報告の通り剰余金は約 100 万となったが、車両代、打ち合わせ、記録費など 50 万近くの費用を個人負担とした結果である。

ついでに剰余金の扱いをどうするか、は今後検討する。

「レオ・フォーラム」開催の件（2025 年 11 月頃開催予定）

前回までのレオ・フォーラム開催について説明。前回開催された香港レオ・フォーラムの際に次は日本で開催するという話になっている。確定ではないが、可能性として協議をお願いしたい。

LCI の正式なプログラムなので開催を前向きに検討してほしい。

現在円安でレオが日本に集まりやすいことや、MD335 にはレオ会員が多いなどの理由と聞いている。

日本での開催に返事をする前に日本のレオクラブ会員に声掛けを行うことや、札幌フォーラムでの開催など考えていただくべきであったが協力できる場所があるので成功へ向け模索したい。

レオ・フォーラムの実施について了承。

3. その他

第 7 回長崎理事会について開催場所の資料を配布。

理事会出欠返信方法について、「調整さん」の利用を検討。

職員の福利厚生としての研修旅行についての提案。全会一致で承認。

◇次回理事会開催予定：

- ・ 2/ 4（火） 第 6 回執行理事会 （13：30- Web 開催）
- ・ 2/12（水） 第 7 回理事会 （14：00- 長崎開催）
- ・ 3/ 5（水） 第 7 回執行理事会 （13：30- Web 開催）
- ・ 3/12（水） 第 3 回定時社員総会(13:30- AP 日本橋開催 ※AM に理事会開催予定)

◇閉会宣言 専務理事 中谷 豊重

以上

2025 年 1 月 23 日

議事録作成人：

常務理事	渡邊 俊弥
常務理事	佐藤 裕幸

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 【押印省略】
監事/MD333 元議長	石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335 元議長	小林 聡 【押印省略】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ 「第7回理事会」 議事録

開催日時：2025年2月12日（水）14：00-17：00

場 所：長崎県長崎市「長崎県建設総合会館 5階第1会議室」+Zoom

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）
副理事長	喜多 友一	（上田城南）
副理事長	澤 辰水	（下関）
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城） 【欠席】
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）
理事	田中 雄一	（狭山） 【Web】
理事	栗村 安弘	（大船渡） 【欠席】
理事	星野 勝美	（太田）
理事	戸祭 宏樹	（鯖江玉山）
理事	新里 正雄	（沖縄）
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港） 【Web】
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島） 【欠席】
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿） 【Web】
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西） 【欠席】
監事（MD335元議長）	小林 聡	（姫路広陵）
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里） 【Web】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	（長野みすず）
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）
法律顧問	池田 和司	（東京桜門） 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野） 【欠席】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

◇出席者確認

過半数が出席のため成立。交通機関の乱れにより渡邊常務理事が急遽欠席。

◇議事録作成人の指名

星野理事・戸祭理事が指名される。

1. 審議事項

①第3回定時社員総会（全国ガバナー会）開催の承認

・開催概要の確認

中谷専務理事より資料にて概要説明。報告事項については日本ライオンズ活動報告として各種委員会報告、監事報告等、GAT・公益財団法人日本ライオンズ・LCIF 活動・OSEAL フォーラム委員会報告等、例年通りの流れとする。

・当日の審議事項について

松浦理事長より、会費の値上げについての提案としたい旨の説明。

・参加対象者について

24-25 年度一般社団法人日本ライオンズ正社員 60 名（ガバナー 35 名、理事会構成員 25 名）、日本ライオンズ法律顧問、会計顧問、事務局補佐、事務長とする。オブザーバー参加者については名誉理事長である山田元国際会長、GAT 関係者としてエリアリーダー、サブエリアリーダーとし、また第 1・第 2 副地区ガバナーへ向けた YouTube でのストリーミング配信も行う事とする。

・開催概要について全会一致で承認された。

2. その他協議および確認 報告事項

註：2 月 1 2 日の会議開催時点でのデータとなり、最新情報とは異なる箇所がございます。

②会費値上げについて

・想定問答集内容の検討

増澤事務長より収支予想変更点について 2 種類の 2025 年度支出予想案を元に説明。どちらも賛助会費を現状の 80 円とした試算となり、収入の部でライオン誌送料（現在の個人発送からクラブ発送へ切り替える前提で計算）と各種会議旅費分担金収入約 200 万（プール計算）を会費の値上げによって各複合からいただく、社団で支払う事とした場合（A 案）、現状の支出とした場合（B 案）の比較となる。

支出の部ではライオン誌の送料が 1,710 万かかっていたものが個人配送を辞めてクラブ配

送のみとすることで 806 万ほどに下がる。

ライオン誌デジタル版関連費では現在の執行額が予算の 1 割未満となっているが、外注で行っていたライオン誌取材を各複合育委員やクラブ、社団の職員が取材を行うなど内製化の努力の結果である。ただし来期予算は現状のままで計上としている。

国際大会・アジアフォーラム関係の 600 万については OSEAL 札幌大会があり、事務員派遣やジャパンレセプションでの社団負担分、備品購入などを考慮し予算増とした。

職員の退職金の支給を行う給与規定の変更に伴い、退職金引当のため 72 万を計上した。

旅費交通費については各種委員会ともに対面会議が増え、社団の事務所内で行うことが多くなった。現在各委員長の会議参加のための旅費・交通費は各 MD がプール制という形で負担をしている。後述するが会費値上げの際には廃止し社団で旅費を支払うことも考えなくてはいけないと思われるため、予算案では金額を上げて計上している。

印刷費は会議資料などの印刷費。紙の値段も上がっている。

通信費については請求書の送付のシステムを作成中であり、切手代が上がっているがメールで送付出来るようにして下げる努力をして 40 万の削減とした。

水道光熱費は価格高騰により 100 万から 130 万とした。減価償却費についてもプリンタなど償却する資産があるため 80 万とした。その結果収支予想 A では 1,311 万、B では 2,297 万のマイナスとなる。以上のシミュレーションを元に賛助会費の値上げをお願いしたい。

会費値上げの件について追加説明。2024 年度予算案と 2025 年度収支予想 B との比較。

収入 3,000 万の減少についてはライオン誌の送料収入が社団から各準地区キャビネットへ送付するため各クラブからの収入が 0 となり、プール金制度を廃止し社団の負担に、頒布品収入が今年度は役員必携のみ発行予定でありライオンズ必携を発行しない事が主となる。支出の減少 1,000 万についてはライオン誌直接出版費、頒布品原価等。つまり社団としては支出を減らす努力はしているが、それ以上に会員の減少であったり、ライオン誌の収入がなくなったりで大きく収入が減ってしまっているのです。是非みなさんご理解ご協力をいただきたい。というのが大まかな所。続けて地区・複合からの質問を元に作成された資料を元に説明。

2023-2024 年度においてプラスなのになぜ会費値上げが必要なのかという事に対して、2024 年度予算は赤字であり、積立金 727 万円を取り崩している。取り崩さないと単年黒字にはなっていない。また会員減少が進んでおり賛助会費収入やライオン誌補助金収入も減っており、特にライオン誌補助金はドルベースなので円高になればさらに収入減となる。経費削減の努力について説明。理事会構成員の旅費支給削減を主とし、ライオン誌編集内製化など総額で年間 3,000 万を節減。

ライオン誌を個人発送からクラブ発送へ切り替えの場合の詳細。各クラブからいただいた 1,533 万の送料負担がなくなり、送料自体も 778 万の削減となる。

委員会旅費について、賛助会費値上げにより現在のプール制を廃止した場合、各 MD の負担は年間 110 万ほど減少する見込み。

事務費（人件費）の今後の推移については、ライオン誌や社団の既存の職員が退職等により、新しい方の入社とその教育で、今後様々な業務を担っていただく事で現行の体制で今後も

進められるように体制づくりを行っている。

今後の経費削減について、先に挙げたライオン誌クラブ発送への切り替えや、オンライン会議の頻度を上げる、現在持ち回りで開催している理事会を東京で行うことにより会議会場費の削減などが考えられる。

値上げ額 80 円の根拠について、年平均 200 万人ずつの会員減少による賛助会費の収入減、円高が進むことによるライオン誌補助金の減少。

来期予算案が 2,300 万の赤字であるが 80 円の値上げとすれば 7,000 万の収入増となり、今後の会員減少や円高の影響を考えても 7 年前後は耐えられる財務体質となる。

会費値上げによる YCE の対応については、委員会で協議をいただく。

会費値上げによる会員へのメリットについて説明。先述のライオン誌発送・プール金の負担減少等。

複合年次大会で否決された場合、該当する MD の取り扱いはどうなるかについては皆さんで協議いただきたい。各複合の年次大会で賛否を問うものなのか、社員総会で可決されたのであれば、報告事項としてしっかり報告して解決するものなのかを議論いただきたい。

喜多副理事長より、複合の年次大会で否決された場合について、334 の場合は社員総会で決定されたものを報告する。それを複合地区はそのまま準地区へという流れの予定。

社員総会で議案として挙げることにについては、それまでにガバナー協議会でガバナー皆さんと協議をして社員総会に来てもらっているはず。

・ライオン誌の発送について

松浦理事長より、ライオン誌の発送については方針を前もって説明を行う予定である。アナウンスをすれば許可を得る必要はないと思う。

喜多副理事長より意見。事務局員が不在のクラブや、その時の会長の判断で個人にというのがあったかと思う。事務局員がいないクラブは送れないのでは。

→増澤事務長より回答：事務局がいない場合はクラブ幹事など三役の自宅住所が事務局住所となるのでそこにお送りする事は可能。

中谷専務理事より意見。ライオン誌を皆さんに見ていただくという観点から、クラブに送り、例会で配っていただいてそこで読んでいただくのが一つの手段である。

個人に送るとライオン誌を読まれない方もいる。その観点からもクラブに送らせて貰うように切り替えたとのアナウンスを理事長名で行えば良いかと思う。

その他理事会構成員からの意見として、

- ・今度から一律で個人には送付しないでクラブ宛に送ると通知すればよいかと思う。

- ・そもそも WEB 版のみで誌面がいらぬという話が出てくるのではないかな？経費削減ということであればそういう意見も出てくるのかと思う。

ライオン誌日本語版委員会委員長である星野理事からは、現時点で完全に WEB にするのはかなり難しいと思う。自クラブでアンケートを取ったが WEB で見ている人はごく僅か。2.3 年かけて普及させないとダメかと思う。

国際理事会方針書では年 2 回は紙で出すとなっている。日本では段階的に 12 回を 6 回、4

回と減らして、それを2回にするところで努力をしている所だが簡単にはいかないと回答。理事会構成員より、WEB版を見ているのはメンバー以外も含めて6,000名程度であり、10年というサイクルの中では電子版に変わっていくことも考えていく必要がある。資料印刷費についても削減のためペーパーレス化などの検討が必要であると意見。まずはクラブに誌面を発送するという事で皆さんと統一を図り、通達をしていきたいと思う。その上で予算の削減を進めていくこととする。

・その他

田中理事より意見と質問。

収支予想 A・B とあるが、80 円の値上げをした場合にどうなるかの収支予想を作っておいた方がよい。社団としての痛み・努力について伝わりにくい。収入が減るというのはわかるが、ライオン誌については送料など、右から左なので痛みはない。さらに経費削減について努力を見せていく必要がある。

YCE については複合地区の労力低減が可能かというところだが、YCE 委員長としては社団でどこまで一括管理をしたいのか担当窓口を社団で全て出来るのか、社団の事務局員が専念してもらえるのか？

松浦理事長からは YCE については委員会で検討の上、提案を上げていただきたいと回答があり、増澤事務長からは今の社団の事務局で行うことは現状不可能無理である。行う場合には人件費がかかる。国際大会の予算が上がっているのは備品などさまざまな物価が上がっているためであると回答。

その他会費値上げと社員総会での審議へ向け、

予算を上げた場合の予算案を見せる必要があるため作成する。社員総会前に執行理事会がもう一度あるので皆さんが話をしやすいように準備をすることや、社団としての方針として社員総会が最大の決議機関であり議決をいただければ社団としては OK だが、それが複合ではどのような観点の位置づけになるかは、複合によっても違うことや、社団ではガバナーが正社員だが、賛助会員となっているのは MD で、会費をいただいていることの確認。社団幹部経験者の協力も得ながら複合で理解を得ていただきたい。MD により値上げの良し悪しではなく、賛助会費を払う・払わないの観点で意見が出ていると報告あり。

濱野国際理事からの意見。

田名部前理事長より意見。

事前の説明を丁寧に行った上で、賛助会費値上げは報告事項として決議を取れば良いと思う。動議を拒否する事はできるのか？という質問があり、増澤事務長より年次大会の規則から議長に書面で出していない限り、またはガバナー協議会で検討していない限り議題として上げてはいけないとなっているので動議は取れない。セコンドが付いた場合も時と場所を変えて臨時のガバナー協議会をしないといけないので、年次大会の中での動議は不可能であると回答。

結論として、定款に基づき 2 週間前には社員総会の議案として、会費の値上げの議案をガバナーの皆さんにはお知らせするので、ガバナーの皆さんにはお伝えした中での社員総会を迎えるようにする。社員総会の際に初めてガバナーが話を聞いたとならないように。説明

のための値上げを含んだ収支予測の数字の資料を準備し、議長よりガバナーに説明をしていただき社員総会に臨む。

続いて各議長より、MD内での状況などが報告され、社員総会議案について了承。

③能登サント事業報告と今後の奉仕事業指針について

・2月26日開催 第6回アラート委員会 議案の検討

アラート委員会副委員長 藤井常務理事より

アラートフォーラムの登録数は資料では目標490名に対し、453名となっているが、本日の時点で500名に到達して予定数を確保できた。委員・班長研修会については現在MD330から5名、MD331から1名、MD334から2名、MD335から2名、MD336が5名、MD337から1名の出席にて研修の予定となっており、アンケートを出しておりそれに基づいた内容で研修を行う。

2月14日には全国社会福祉協議会連絡会議にて協力団体として参加をして登壇をし、5.6分ほど能登災害についての話を行う予定。後日当日の議事録のようなものを作って皆さんにお送りする予定である。

増澤事務長より追加説明として、全社協から登壇をいただく藤井常務理事に謝金と交通費を出すと社団に話があったが、社団が受け取るわけにはいかないので、藤井常務理事に直接受け取っていただくようにご理解いただきたい。

・理事長からの文書案について（能登サント事業関係）

喜多副理事長より現状の報告。

334D杉木ガバナー、小出前ガバナーが当事者へ厳しい言葉で注意を行った。経過次第で改めて報告する。

松浦理事長より発信予定文書について説明。

クラブの理事会を通さず他MDを巻き込んだことや口座の問題など、事業の進め方に問題があった。そこで334D当該地区への注意文章、334D地区全体への文章、全国版では事業運営の手順を国際会則・附則に則った形で運営するようとの注意喚起の3つの文章を用意したのでご意見があればいただきたい。

全国版がかなり簡略化しており同様のトラブルの発生等の懸念について意見があり、文章も追記の上クラブ宛に発送してはとの意見があり、そのようにすることとした。

・能登ベース物品譲渡契約書の件

藤井常務理事より説明。

能登ベースの今後について334-D地区より輪島市や珠洲市など、必要とされるところに寄附されてはどうか伝えたところ、そうしようとなった。移設する費用は334-D地区の負担になる事を伝えた上で了解となった。そのため結果的にはこの物品譲渡契約書の内容で進めることとなった。今期中には完了いただくよう伝えており、3月までリースでプレハブ

をおいているのでそれからとなる。

MD334に譲渡契約をすることについて全会一致で承認された。

④2/3開催 第8回国際大会委員会報告

・オランダ国際大会の件

国際大会委員長 戸祭理事より報告。

公認TC規約を変更せず今年度のみ特例としてMD331公認TCをMD330・333公認TCが兼任する事を報告し認められた。パレードについては行進するだけでは目立たないという事で、音のなるものを手配予定。バンド手配についてもOSEAL調整事務局と進めている。頒布品であるアロハシャツ、キャップ、交換ピン、缶バッジの価格設定についても報告。

ホテルについてはMDごとの希望数があり大会委員会では委員長了承を得ているが、本当に調査して部屋数がこれであるのか確認いただきたい。アンケートとしてではなく実数調査が必要。部屋が余るとデポジットは旅行会社が持つので迷惑がかかる他、OSEAL調整事務局を通じて国際協会からのクレームがある。各MDで早急に実数を決めるように議長には協力いただきたい。

頒布品価格について全会一致で承認された。

松浦理事長より追加説明。

ホテルについては公認TC手配のホテルをご利用いただき、キャンセルをしないで欲しい事と、公認のTC間では宿泊料に上乗せはされない。

各MD大会委員長とコンタクトをとっていただいて全員が同じホテルに泊まり、仁科・田名部両国際理事候補者を応援するような体制でオランダ大会に臨んでいきたいので徹底をお願いしたい。

・第62回OSEALフォーラム 最新情報

諏訪常務理事より説明と報告。

2/3にOSEALフォーラム札幌のホームページがアップデートされた。

委員会として色々準備をしている所であるが、OSEAL調整事務局から本来の正しい形のOSEALフォーラムを進めるようにと要望があり、色々な変更点が出てきて調整を行っている。

早期登録について、カード決済ではなく振込での対応も可能となった。登録についてはホームページからの登録のみとなっている。1回につき50名までしか登録が出来ないのでそ

れ以上いる場合は2回にわたっての登録をお願いしたい。HP上のページは2月末となっているが日本は3月末まで。MDの選択をする事で日本という事が判別され、早期登録料が適用されるので必ず選択をしていただきたい。振込いただく際、名義に「ライオンズクラブ国際協会」と入れると文字数に入りきらず、クラブ名がわからなくなるので省略していただきたい。

⑤2024-25年度役員必携 発行部数およびスケジュールの件

会則委員長 中谷専務理事より報告。

役員必携頒布価格について決めたい。原価については資料の見積通り。

前は600円での頒布であったが印刷費用も高騰しており650円で予備200部込みで9,200部で発注してはどうかと提案。

650円での頒布と発注は9,200部として承認。

⑥ロサンゼルス山火事被災者のためのLCIF支援依頼の共有

中谷専務理事より説明。

LCIFより1人1,000円を目安に寄付をお願いしたいとのメールが配信されており、鶴嶋

LCIF理事からも呼びかけあり。

理事長名で案内を出すこととなった。

⑦2025年11月開催 第6回レオフォーラムについて

廣田常務理事より報告。

335MDで委員会を開催し、城阪国際理事にも参加していただき、どう進めるか議論をした。社団の皆さんにも講演などをお願いしたい。

レオの学生たちにも呼びかけをし、一緒に盛り上げようと言ったところ、50名の参加のうち20名強が是非参加したいとの声があった。ご案内については次回開催概要など文書案をださせていただきたいのでご検討、ご協力をお願いしたい。

城阪国際理事

レオの責任者には各所と相談の上早く決めるように言っているので追々資料を提出出来るかと思う。本来OSEALフォーラムとレオと一緒にやるのが正解だと思うが、今回は時間もなく札幌に迷惑をかけるわけにもいかない所以MD335主催でやらせていただくことに協力してもらいたい。

松浦理事長からは、アラートの件と同じく、組織で行う事業であることの再確認。

組織の在り方を遵守しながら強く進めていただき後援していきたい。

⑧その他

増澤事務長より報告。

ダイナースカードから支払明細書が来て41,753円、社団に振り込まれている。だいたい一年で80,000円くらいなので例年と同じくらいであると報告。

その他社団にクレームが寄せられていた、複合地区内でのメンバーと一般の方とのトラブルについて該当地区議長より状況説明が行われた。

中谷専務理事より報告。6/1-3のミッション1.5のサミットを開催する情報がOSEAL調整事務局よりあり。追って研修対象者には案内が行く予定。

監事講評

小林監事

長時間お疲れ様でした。自分が議長であった時にくらべ和気藹々で空気が変わったかと思う。

3. 今後の予定について

- ・ 2/20 (木) 14:00- 上半期会計監査 日本ライオンズ事務所
 - ・ 3/5 (水) 13:30- 第7回執行理事会 WEB
 - ・ 3/12 (木) 13:30- 第3回全国ガバナー会(社員総会) AP 日本橋 G ルーム
- ※午前中に日本ライオンズ事務所で第8回理事会を開催予定

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年2月12日

議事録作成人:

理事	星野 勝美
理事	戸祭 宏樹

議事録署名人:

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 【押印省略】
監事/MD335 元議長	小林 聡 【押印省略】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ「第8回理事会」議事録 訂正版

開催日時：2025年3月12日（水）11：00-12：00

場 所：日本ライオンズ事務局（東京都八重洲）

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）
副理事長	喜多 友一	（上田城南）
副理事長	澤 辰水	（下関）
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城）
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）
理事	田中 雄一	（狭山）
理事	栗村 安弘	（大船渡）
理事	星野 勝美	（太田）
理事	戸祭 宏樹	（鯖江玉山）
理事	新里 正雄	（沖縄）
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港） 【欠席】
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島） 【欠席】
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿）
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西）
監事（MD335元議長）	小林 聡	（姫路広陵） 【欠席】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里） 【欠席】
<u>オブザーバー</u>		
'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	（長野みすず）
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）
法律顧問	池田 和司	（東京桜門）
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野）
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

1. 議事録作成人の指名

事務局補佐の南部谷L・成田Lが指名される。

2. 協議及び確認事項

①3/12 13：30～ 第3回定時社員総会（全国ガバナー会）

進行の確認

- ・議事録作成人は渡邊常務理事、佐藤常務理事とする。署名人は総会時に決定。
- ・議長は松浦理事長となるため理事長が進行する。議案の進行は中谷専務理事が行う。

議案についての確認

- ・第1号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件

松浦理事長より改めて各MDの状況を確認したいと呼びかけがあり、各議長より報告がなされた。

MD330 伊賀常務理事

前期MD会費を値上げた分で今期の賛助会費値上げを支払う。来期以降は改めて検討するが今期については賛成を頂いている。

MD331 諏訪常務理事

全ガバナーから承認をいただいている。

MD332 渡邊常務理事

原則的には値上げそのものについては反対ではないが、値上げをする理由について質問があると思われる。

MD333 佐藤常務理事

基本的には値上げやむなしとの意見であるが、会員減少を考えての反対意見もある。

MD334 喜多副理事長

MD内の状況について、前回と同じくすべて賛成頂いている。

MD335 廣田常務理事

説明不足を理由とした反対意見があるが、総会で決定したことについては準地区としては遵守するといっている。

MD336 藤井常務理事

基本的には理解していただいているものと考えている。

MD337 濱田常務理事

全ガバナーから了承をいただいている。複合の年次大会の前の準地区の年次大会で報告して良いのかどうか。

→社員総会での決定後の年次大会での報告となるため、各ガバナーの判断で報告していただいて問題ないと回答。

栗村理事

ガバナーが忌憚のない意見を言える組織であることが重要である。

松浦理事長

理事会の中で何度も丁寧に協議を重ねてきた議案である。社員総会に臨むにあたり各議長もガバナー達に対して丁寧に話をしていただいている。

田名部前理事長

理事会で議決がなされれば、理事会構成員としてその決定に従い、ガバナーに理解をいただけるよう進めていくことが大切である。

社団としての考えを理解していただけるよう、丁寧に説明することが重要。

②第6回OSEALレオフォーラム配信文書名義貸しの件

廣田常務理事

松浦理事長名で全国にレオフォーラムの案内を出すことを承認いただきたい。

→賛成多数のため承認。文章についてはMD335へ一任となる。

3. その他

①第62回札幌フォーラム 職員派遣について

増澤事務長より事務職員の派遣について説明。

→賛成多数のため承認。

②アラート委員会 大船渡山火事災害支援対策本部MTG報告

藤井常務理事より今後の支援について。地区外への発信は控えて332B地区内で支援することとした報告。

渡邊常務理事・栗村理事より支援のお礼と、MDでサポートしていく旨の報告があった。

③その他

増澤事務長より職員の中退共加入に関して報告事項。

昨年7月からの新雇用体制で退職金規程に従って中退共加入手続きしたが、最初の7月分については、理事長交代などで手続き期限に間に合わなかったため、引き落としがなされてない。退職給与引当金（10,000円*4名分 計40,000円）がずっと残るのは良くないが3月分給与の中で支払うと所得税、住民税で10%ずつ税金がかかるので、12,000円を上乗せして予備費から支出することとした。

・次回理事会開催予定

・第8回執行理事会 2025年4月3日（木） 13：30- WEB開催

・第9回理事会 2025年4月15日（火） 14：00-17：00 姫路

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

議事録作成人：

事務局補佐

南部谷 靖

事務局補佐

成田 祐樹

議事録署名人：

理事長

松浦 淳一 【押印省略】

監事/MD332 元議長

下間 俊悦 【押印省略】

監事/MD333 元議長

石橋 貞 【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ「第9回理事会」議事録

開催日時：2025年4月15日（火）14：00-16：30

場 所：ホテルモントレ姫路 14階 シエル

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）	
副理事長	喜多 友一	（上田城南）	
副理事長	澤 辰水	（下関）	
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）	
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）	
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）	
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城）	
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）	
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）	
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）	
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）	
理事	田中 雄一	（狭山）	【WEB】
理事	栗村 安弘	（大船渡）	【欠席】
理事	星野 勝美	（太田）	【欠席】
理事	戸祭 宏樹	（鯖江王山）	
理事	新里 正雄	（沖縄）	【欠席】
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港）	
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）	
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島）	
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）	
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）	
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿）	【欠席】
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西）	
監事（MD335元議長）	小林 聡	（姫路広陵）	
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里）	【欠席】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者 仁科 良三 （長野みすず）

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）	
法律顧問	池田 和司	（東京桜門）	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野）	【WEB】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）	

◇開会宣言

松浦理事長より挨拶

続いて城坂国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶。

◇出席者確認

資料の通り。

◇議事録作成人の指名

伊賀常務理事・諏訪常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

①会費値上げの件

松浦理事長より説明。

考え方を統一して聞いていただきたい。

(1) 各MDからの報告と説明用資料について

現在の残高についての考え方。上半期の決算では3億6,000万の計上があるが、財団の財源が5,000万、ライオン誌との協議による積立金残高が2億1,273万、事務所移転の補償費が2,939万、で合計2億9,212万。

事務所移転や組織解体など万が一のときのための対応のための積立として一定額の基金、2年分の年収を確保すべきだということで、1年の年収が1億3,000万であることから2億6,000万。これは多いか少ないかはそれぞれの感覚であろうかと思うが、現状日本ライオンズでは多すぎる金額ではないという判断をさせていただいている。

ただ解散した場合に8複合に戻るお金であるため、どこにお金があるかの違いであるだけであり、この金額が多い、少ない、というのは今後議論していただいて、今年度に関しては2億9,212万を以って運営をしていくべきだという結論の中で次年度以降40円、再来年度40円、計80円の値上げを皆さんと共に推進をしていくべく総会で承認を受けたことをご理解していただきたいと考えている。

(2) 予算案の概略

収入の部

・受取賛助会費

2025-26年度は40円の値上げで103,680,000円、2026-2027年度はもう40円の値上げで138,240,000円の収入の見込み。

・国際協会の補助金

1ドル150円で計算しているが6月末の時点のレートがポイントとなる。

たとえば円高で1ドル140円になっていれば10円マイナスとなる。

・ライオン誌送料収入

次年度から全て社団で送料負担とするため、送料収入も0となる。

・雑収入

職員の中退共掛金助成金の分が120,000円出ているため、2025-26年度は320,000円となっているがその次の年度は助成金がないため通常の200,000円となっている

・各種会議旅費分担金収入

プール金計算を廃止し、委員会参加にかかる各複合地区委員の旅費については全て社団の負担とするため 0 とした。

支出の部

・ライオン誌送料

変革はしていくが現状通り個人またはクラブへ発送するか選択をしていただいた中で、将来的にはクラブへ送付する方向で進めていきたい。

当座の間は現状の中で変革を求めていくことになるため 15,840,000 円からそれぞれ送料値上げ分を社団負担とした。併せて送料事務費も従来通り社団負担としている。

・デジタル関連費

ライオン誌委員会・編集員の皆さんのご努力により、内製化により原稿料・編集費を 5,230,000 円→2,500,000 円とした。

現在は成り立っているが毎年の組織の在り方なので、将来的、今後の状況は不確定ではあるが今の努力を続けていただきながら続けていきたい。

・事務費：総会・理事会会議費

3 年間理事の皆さんには交通費を出していなかったが、再来期から 900 万を予算計上してはいるが、交通費を支給する・しないについては是非ご議論をいただきたい。

・事務費：会場費

委員会の開催は東京開催が基本であるが、地方開催の可能性もあるためその際はこの予算の中から捻出をしていただきたい。

・事務費：国際大会・アジアフォーラム関連費

国際理事候補者の皆さんにもご負担をいただきながら国際大会、OSEAL フォーラムの関連費を捻出していただいていたが、出来るだけ社団で負担をし、3,000,000 円を 7,000,000、8,000,000 円と増額させていただいた。

・事務費：海外大会ロジスティックス及び備品費

国際大会において現地にツアーデスクを設置するとだいたい 2,000,000 円ほどかかる。参加者の負担ではなく日本から参加するメンバーのためにも社団で設置をするのが筋であるため計上とした。

・事務費：国際協会関連対応費

国際会長公式訪問の際には各複合から 50 万ずつ集めさせていただいて運営していたが日本ライオンズが全て負担した上で社団として国際会長をお迎えすることをしていかなければ社団の存在意義もないと言える。そのため 6,000,000 円の計上とした。

色々な変革点があるが、各複合、クラブからご負担いただいていたものを社団で負担し、値上げのリスクも社団で持ってライオンズ会員の皆様に安心をしていただきながら社団と各複合、各クラブの繋ぎを深くしていきたい。

以上の観点から 2 年をかけて計 80 円の値上げを行うことをご理解いただきながら、統一見解として皆様にご説明をいただけるとありがたいので、よろしく申し上げたい。

(3) 各 MD のその後の状況

・MD330 伊賀常務理事

5 月 25 日に複合年次大会開催。6 年ぶりに分科会を開催し経理分科会で報告予定。来期

は複合の値上げ分 100 円に含む。その後は改めて議論。

・MD331 諏訪常務理事

先日のガバナー協議会で各ガバナーに説明し基本的に理解を得た。

331-A はキャビネット会議で理解済み。

・MD332 渡邊常務理事

値上げについて社員総会決定事項には従うが、文章化しても理解が十分でないため説明を継続。剰余金は運営費ではなく女性会員拡大・レオ拡大等に活用検討が必要。

・MD333 佐藤常務理事

第3回ガバナー協議会で承認。時間不足のため準地区で報告・協議。まず 40 円を複合負担、次に 80 円を一気に値上げと結論。

・MD334 喜多副理事長

ガバナー協議会では問題なく報告という事で進んでいたが 1 名の名誉顧問から「賛助会費をなぜ社員総会で決めるのか」との指摘があった。

なんのために社員総会があるのか、ガバナーが準地区の代表として来ている、それが 1 票だと反論した。ガバナー協議会ではそのまま行きますとなったが、複合の年次大会で揉めるかと思うが強行して通す予定。

・MD335 廣田常務理事

A 地区（神戸）、C 地区（京都・滋賀・奈良）が反対。C 地区は前回の総会前日に賛成に回ったが、ガバナー自身も賛同は不十分かと思うので今までいただいた資料を提出の上話をしている。4 人のガバナーの再度話をするとしたのが今の所まだ出来ていない。ただ 4 人とも社団の決定にはもちろん従うと言っていた。

B 地区 D 地区は賛成している。335-D 地区の今市ガバナーがガバナー協議会の際に、私に何のメリットもないんです。1 副、2 副そしてみなさんが活動しやすくするための資金なんです。だからみなさんご同意ください。と話し 335-D は一発で全員賛成になった。私自身も含め覚悟が必要なのかと思った。近々ガバナーと話をしてしっかりまとめて行きたい。今後第 4 回ガバナー協議会、代議員総会があるので、5 月 31 日までしっかりまとめていきたい。報告事項とするのか決議事項にするのか全複合で統一できないのか、統一できないならどうされるのか意見を伺いたい。

・MD336 藤井常務理事

ABC 準地区の年次大会が終了。A 地区と C 地区の年次大会では基本的に複合の会費についてはなく、社団からの申し送り事項が出てきたものがある場合は社団からの報告という事で取り上げることはあった。B 地区では値上げがありますという事を報告であげて通った。5 月 18 日に複合の年次大会があるが分科会の中でも値上げについて、採択なしの報告だけであげて行きたいと思っている。先ほど情報が入ってきて 336-C でライオン誌の事で大騒ぎをしていた方がまた同じように物申すと情報が入って来ている。これについては下打ち合わせを皆さんとしてその場に臨まなければならないという懸念がある。D 地区は社員総会の際に反対で手を挙げていたが澤副理事長が社団で決まった事だと収めていただいたので報告で終える予定。複合地区としては報告で終わらせる予定。

・MD337 濱田常務理事

ガバナー協議会で全員納得いただいた。複合の年次大会の時に分科会で報告事項として説明することになっている。報告事項ではあるが色々な意見も出るのでわかりやすい説明が必要であるので、社団資料と新たに作成した資料を用いて説明予定。

作成した資料の内容を理事会構成員へ説明し、委員長へ提出し説明。議長・ガバナーに分

科会参加依頼あり。昨年も MD337 ではライオン誌の事で動議が出て収めたが、今回も動議が出る懸念があるので万全を以って進んでいきたい。

・鶴嶋 LCIF 理事

ライオン誌発行回数を最低何回にするかを決定することが必要。我々が議長として理事であったときは春夏秋冬で4回の発行を死守するとしていた。

2億1,000万円の中から、一回の発行でどのくらい費用がかかるかは増澤事務長が把握しているかと思うのでその費用を当て込みあと何年で使い切ってしまうのかというのも出しておくべき。それと同時に国際協会の補助が前回、4ドルから2ドルになった時も突然決まった。もしかしたら2ドルが来年から0になる可能性もある。いつ0になっても残っているお金がこれだけだと議長の皆さんで申し合わせておいて書類にしておいて、年4回なら4回出す。それにかかる費用はこれくらいだということを言っておけばおのずとこれが必要な金額であるとなる。

それと毎年の会員の減少の説明も付記する。ライオンズクエストは単地区で現在全額150万交付だが、今後は半額75万の自己負担が必要というのを付け加えておいていただきたい。

・増澤事務長

賛助会費は社員総会での決定事項ゆえ議題に載せる必要はないかと思うが、MDの複合会費について議案が上がってくるので、その中に入れておき支出増として説明すれば良いのではないかと。社団の会費が上がりました。という決議は必要ないかと思うが、複合で皆さんからお集めする会費がこのような明細で上がっていきますと載せておけば良いのではないかと。社団の事を複合で協議する事は出来ないのと、そういう形で理解していただきたい。

・濱田常務理事

どこかの地区で社団を脱退するという声があったそうだが、そのような話が出てこないか、一部の話ではあるようだがそこが気になる。懇切丁寧に納得していただくようにするしかないかとは思っている。

・増澤事務長

MD337だけは複合への請求で社団の会費と載っていないが、それ以外の複合では一般社団法人日本ライオンズ賛助会費という名目で載っている。

・渡邊常務理事

MD332で社団を脱退というような極端な話も出ている。賛助会費値上げと脱退は根本的に別の話であり、値上げは決まった事なので、皆さんに説明をし、社団の方からアピールして納得できない点を聞き取り回答しつつ進める。

②次期理事会構成案について

中谷専務理事：次期議長予定者は資料のとおり。

松浦理事長：次期理事長予定者は現議長から推薦していただきたい。

廣田常務理事：8人の常務理事協議の結果、MD334現副理事長喜多副理事長を推薦。

松浦理事長：5月8日に現・新議長で委員長等を決定し5月21日の現新理事会で正式決定。

喜多副理事長：内定者として前任者同様に改革を進める。専務理事・副理事長を指名予定。

③札幌フォーラムステアリング委員会（5/23-25）参加者の選任

MD330・332・333 は年次大会と重複のため除外。

増澤事務長：規約では4名。

鶴嶋 LCIF 理事：最少2名・最大4名。全員出席の場合は MD331 次期議長予定者である設楽 L を含め5名になる可能性。

④国際大会委員会よりオーランド大会関係についての提案

国際大会委員長・戸祭理事より

・ツアーデスク設置についての提案

これまで公認旅行会社経由ホテル利用者から1人1万円徴収しツアーデスクを設置していたがツアー未用者もデスクを活用できるよう日本ライオンズで費用を負担する件を委員会より提案する。来年の理事会議題にしていきたい。

・オーランド大会 ホテル利用状況

4月24日の国際大会委員会でホテル宿泊人数回答が不十分のため議長からもホテル利用数の手助けをしていただきたい。

・パレード頒布品

パレード公式ユニフォームの帽子注文数が少ない。帽子もパレード時のユニフォームに含まれるためパレード参加予定者で未発注の方は早急をお願いする。

・25-26 年度国際会長公式訪問について

10月26日、オセアルフォーラム閉会式後（15時頃）AP シン国際会長公式訪問が決まった。400名程度の参加の依頼となり、各 MD 50 名程度参加要請するので26日に帰らず、27日以降以降に帰る日程での飛行機の手配をお願いしたい。

松浦理事長

戸祭委員長がオーランド大会日本ホテル予約数の件で大変困っている。

また現地の空港へ日本として迎えるバスを手配するなど、日本全体で対応することになるので、公認 TC へははっきりとした参加予定者数を伝えることでより良いサービスが出来、安心して参加することが出来るかと思う。

⑤10/26 開催 AP シン国際会長公式訪問開催の件

鶴嶋 LCIF 理事より

前年に合わせての参加予定数となっている。公式訪問のあとに歓迎晩餐会があるため、参加される方は26日も北海道へ宿泊いただくことになるかと思われる。

濱野国際理事

AP シン会長は公式訪問の後、31日くらいまで滞在される予定。

オセアル調整事務局で日本として動きやすいよう色々考えていると思うが当該地区になったところはご協力をお願いします。

⑥コンプライアンス関係

増澤事務長

事務局の秘密保持と事務局員に対してのハラスメント防止のための規程について法律顧問と相談したところ文章が長すぎるということで、もう少し文章を考える。

⑦総務人事関係

5月8日11時、総務人事委員会を開催したい。賞与の支給があるのでその評価、7月から昇給による給与の改定があるため。

→日程については要調整となった。

2. 報告事項

①3/16-3/19 オークブルック国際理事会報告

…国際理事各位

城阪国際理事

国際協会としては1、2、3にも経費削減。よろしくお願いします。

・日本ライオンズ予算案への提案

ライオンズクラブは奉仕団体であるため、南海トラフ地震などを想定し、社団として基金を貯めていくという考え方があっても良いと思う。移転補償の3,000万円などを別途基金とし、緊急資金をすぐに拠出できる体制を整えるべきではないか。次年度になるかとは思いますが、喜多次期理事長予定者にご尽力、ご検討いただきたい。これは奉仕というライオンズの本旨にあたるのではないかと。値上げについてもこういうことにも目を向けている、という姿勢が非常に大事な所になる。皆さんに経費節減をしていただいて、その余剰分の1/3はこのような基金にいれます、という考え方も良いのではないかと。

濱野常務理事

・オーランドの国際大会での投票議案について

国際理事を輩出する会則地域の編成配分が変更される。アメリカの会則地域1が3人減り、その分会則地域4の南アメリカがプラス1、会則地域6のインドを中心とした地域がプラス2となる。

・各委員会の決議事項について

奉仕事業委員会では奉仕週間という奉仕事業に対する取組を各クラブ、地区でやっていただきたいというのがある。10月は心と健康のケア、1月は食糧支援、4月は環境保全についての奉仕事業をやっていただきたい。1週間ごとの世界全体で取り組む事業が決まっているので次期ガバナー予定者の方には通知が行くかと思う。

・地区ガバナーの空席補充について

ガバナーが空席の場合は元地区ガバナーが立候補できるが、1回のみとなっている。

・第一副地区ガバナーの研修について

毎年2月に行われていたシカゴ・Qセンターでの研修は廃止となりWEB開催となる予定。なお日本の場合は一言語のため、どこかで集まって対面で行う可能性もある。

それに伴い香港大会からの国際大会でのエレクトセミナーは2日になりエレクトが現在より一日早く大会開催地へ入ることになるという案も検討されており、オーランドで正式に決定する。

・リーダーシップ研修について

リーダーシッププロの方はFDIの研修が来期で終了。各複合地区から人数に合わせて希望者が出るかと思うが、来期で最後なので興味がある人は参加してほしい。今後はLSHIPのみとなる。

・マーケティング関係アワードについて

ライオンズインターナショナル・マーケティングアワードが創設され、全世界のクラブのマーケティング活動に対してのアワード。各会則地域から1クラブずつ受賞されるが、日本

からは 1 クラブしか申請していなかったため残念ながら日本のクラブは受賞できなかった。来期以降はこのアワードがある事を皆さんに知っておいていただいて、各ガバナー、クラブに宣伝をしていただいて、こういう媒体で宣伝した、こういう取り組みをしてライオンズの名を知らしめたなどあれば是非国際協会へ申請していただきたい。

・AI 活用について

ライオン AI が国際協会のホームページに出ているかと思うので、そこをクリックすると英文のページではあるが日本語で質問でき、資料の掲載されている箇所など回答をして貰える。ベータ版で試行錯誤している段階だが初心者でもわかりやすく使えるようになっているので活用いただきたい。

最後に一つだけ理事会でお伝えしたいことがある。皆さんは一般社団法人の理事として大変重い立場であるので、言葉の言い回しに大変気を付けなければならない。「社団で決まった」と言うのではなく、「社団で決めた」という表現。なぜなら皆さんが主体となって決めている事なので、自分もその決定に対して説明をする責任があるという心構えで複合の年次大会に向かっていただきたい。同じように正社員である地区ガバナーも総会に出て決めたことなので、としないとメンバーを説得できない。その責任のもとに各複合地区、準地区に説明いただきたい。

伊賀常務理事

マーケティングアワードの申請はクラブ単位かキャビネットか？

→クラブ単位である。

②アラート委員会関係報告

・3/14 開催 アラートフォーラム（茨城）開催報告 …藤井常務理事

アラートフォーラムの午前中に各 MD のアラート委員長・班長を対象とした勉強会を実施し、交流会も行った。フォーラムには 486 名の参加、272 名の交流会参加 3,318,109 円の収入となり、支出は 2,274,169 で余剰金 1,043,940 円となった。多くの方に参加いただき、実りあるフォーラムとなった。

・4/8 開催 第 7 回アラート委員会開催報告

まだ議事録が上がってきていないが、2026 年度アラートフォーラム開催地は委員会の中では MD335 に決定した。

色々災害の対応について今期問題があったため、迅速な支援を目的とし、委員会構成をもう少しスマートにした方が良くはないかとの意見があった。

各 MD のアラート委員長が社団の中ではアラート委員として構成員となり、全日本の統括リーダー、東西のエリアリーダー、委員の下に班長として各 MD に 1 名、副班長として各準地区から 1 名で構成されている。副班長は各準地区にアラート委員会があるので、社団の中にはいないのではないかと話し合いがなされた。来期については喜多理事長予定者とどう進めるか協議しながら進めていきたい。

喜多副理事長

330 複合地区内の地区関係者が 4 月 29 日に能登に誰の許可もなく入ろうとしているとの話を耳にしたため、伊賀常務理事に調べていただきたい。334-D 地区ガバナーもキャビネットも知らないとの事。行くのであればだれの許可を得て行くのか調べていただかないとアラ

ートへの理解が得られにくい。

廣田常務理事よりエリアリーダーをはじめとするアラート委員会構成について質問。

藤井常務理事

エリアリーダーについてはアラート委員会で推薦し、社団の理事長が任命する。社団としては委員長・副委員長・各 MD の委員長でアラート委員会を構成し、別途アラートチームがある。アラートチームは、複合や準地区に 7 年前までアラート委員会がなかったため設置されたもので、アラート委員会の下部組織である。

松浦理事長

もう少し時間をかけて成熟した姿を目指したい。災害規模に応じたアラート委員会の対応も整いつつあるため、もう少し時間をいただいて、次年度以降もさらなる整備をしていただけるとありがたい。

③3/21 開催 第 5 回会則委員会 報告

…中谷専務理事

役員必携は現在作業中で動いている所。各複合年次大会の共通提案事項を確認したが、今回は共通の提案事項はなしということを確認しているところ。コンプライアンス委員会についてはパイロット事業として各 MD へ依頼しこの 1 年やって来た。次回かその次の委員会で今後どうするか決定予定。

④4/2 開催 第 9 回国際大会委員会報告

・第 107 回オーランド大会最新情報

…戸祭理事

報告済のため省略。

・第 62 回 OSEAL フォーラムについて

…諏訪常務理事

開催 190 日前を切り、鶴嶋実行委員長、松浦副実行委員長、設楽副実行委員長と精力的に取り組んでいる所。かなりの頻度で委員会を開催している。支援金・登録について各 MD の協力に感謝。支援金は 330-B を除き完了しており 330-B も現ガバナーから年次大会終了後に支出するとお答えいただいている。MD331 については開催地のため支援金の金額が大きいため 3 回に分けている。そのほかは予定通りに進んでおり本当にありがとうございます。

早期登録結果（4/7 現在）は以下の通り。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337	計
目標	800	3,000	900	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
登録	170	1,616	225	253	546	394	121	147	3,478

早期登録と大きく金額が変わらないのでこれからそれぞれの複合地区、準地区で登録が進んでくるとは思う。

フォーラムを成功のうちに終わらせるために、登録数の確保が必要であるため、議長の皆さんにも登録数の目標もあるので是非ご協力をいただきたい。

戸祭理事

委員会としてオーランド国際大会参加推進についての業務を終わらせた上で、今期中に5,000名登録を目標としたい。

地区ごとに目標などあるかと思うが御協力をお願いする。

⑤4/14開催 第5回YCE委員会開催報告

…田中理事

昨日、第5回YCE委員会を開催。春の派遣ではMD330主導の交換があり、問題なく子どもたちが楽しんだ。夏の派遣、受入は各複合委員長の尽力で今の所順調にいつている。前回の第4回のYCE委員会で、OSEALフォーラム札幌開催時にYCEの活動ができないかと案が出たため議論したが、時間不足と次期に跨いでしまうため今回は中止とした。ただし今後YCEとして長い目で見て何らかの他地区、他の国と交流を深める場を設けていければ良いという話で終わった。YCE実務の社団一本化が出来ないかについて、これも次の委員会ないし来期に引き継ぐ方向で持って行けるように今の所進んでいる。

⑥その他報告

・ダイナースカードについて

…増澤事務長

社団が責任を負う覚書を交わさず、社団は関わらずキャビネット・各クラブ会長が直接契約する方式に変更。詳細はダイナース担当者へ問い合わせの上、有効活用してほしい。

監事講評

石橋監事

本日の理事会は会費の議論が半分を占めた。値上げは10円単位といえども会費問題は難しい。会員減少の中で会員の獲得と会費の問題が出ている。また支部と会員ではどこが違うのか会費が違うだけかという話も出てきており、一般の会員から支部に移ってしまうという話も出ています。

小林監事

会費値上げは十分理解できていなかったが、濱田常務理事の資料は理解しやすかった。アラートチームには熱心な人や資質のある方もいる。初代アラート委員長として、アラート委員会に期待します。

3. 今後の予定について

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ・5/8(木) | 現・次期予定者打ち合わせ会議 日本ライオンズ事務所 |
| ・5/15(木) | 第9回執行理事会 WEB |
| ・5/21(水) | 現・次期理事会(東京) |
| ・5/23(金)-25(日) | 第62回OSEALフォーラムステアリング委員会(札幌) |

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年4月15日

議事録作成人：

常務理事	伊賀 保夫
常務理事	諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD333元議長	石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335元議長	小林 聰 【押印省略】

(2024-25 年度)

一般社団法人 日本ライオンズ

第 8 回 国際大会委員会(WEB)議事録

◎日時：2025 年 2 月 20 日(木)10:30-12:00

◎場所：Zoom システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦淳一 (岩見沢はまなす LC)

専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)

副委員長 伊賀 保夫 (東京ピース LC)

副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

330 複合地区 中嶋 文夫 (東京文化 LC)

331 複合地区 須藤 敏幸 (伊達 LC)

332 複合地区 高橋 寛 (和賀 LC)

333 複合地区 岡野 良男 (土浦環 LC)

334 複合地区 大山 恭範 (一宮 LC)

335 複合地区 江草 長史 (和田山 LC)

336 複合地区 市村 通夫 (鴨島 LC)

337 複合地区 高橋 抒見 (諫早中央 LC)

オブザーバー

MD334 公認 TC(代表)JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太

一般社団法人日本ライオンズ事務長

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

◎開会宣言 国際大会委員長 戸祭 宏樹

◎出席者確認 全員の出欠を確認。

◎議事録作成人の指名 MD330 中嶋文夫

主要議題：

1.オランダ国際大会確認【2025年7月13日（日）-7月17日（木）】

①登録状況の報告とホテル部屋数の確定の件

戸祭委員長より説明があった。各 MD 大会委員長より報告があり、当初の割り当て案で問題がないことを確認。

ホテルの部屋については 335 部屋確保。一昨年 500 室確保したが 100 室返したので、今回この数とした。

335 室以上になっても対応可（385 室まで）、335×\$200 のデポジット支払いは OSEAL 調整事務局を通じて行う。

②パレード・日本代議員会の件

・2月14日開催 パレード小委員会からの報告

大山パレード委員長より説明。

・プラスバンドは1つのみ（候補者支援グループの後）

・候補者のアロハシャツの色を変えることを件途中。（候補者2名に決めていただく）そ

の他の参加者は男女とも基本のアロハシャツに白・ベージュ系ボトムスと靴。

違う服装で参加の場合は隊列の内側など目立たないところへ入っていただく。

※三三七拍子3回入れる（審査員席の前にて合図しバンドにも音をだしてもらうので、聞こえる範囲の方で行う。立ち止まると減点のため、歩きながら行う。）

MD パレード係（案）は再度作成。プラカードは業者が作成し前日のパレード打ち合わせで組み立てを行う。パレードについて最終的にはマップ等が出そろったあと、委員会にて決定する。

・頒布品注文方法について

今年度は日本ライオンズが各地区キャビネットからの注文一括販売及び問合せ窓口となり、日本ライオンズに地区より注文をお送りいただく。

締め切りは3月末。厳守いただきたい。

各業者には6月頭発送で対応をお願いする。

③その他

パレード前日打ち合わせを7月13日 PM6:00 より約1時間版ほど現地で開催予定。詳細

は未定。

12日にパレード小委員会にて実際のコースを確認予定。

オーランドでの代議員会は約300人、登録料5000円程度を予定中。

2. 第62回 OSEAL フォーラム情報の確認【2025年10月23日（木）-10月26日（日）】

①各 MD 登録状況報告

各 MD より参加目標数の確認。

②組織委員会より共有事項

第62回 OSEAL フォーラム札幌登録方法と決済方法についての説明があった。

次回、開催日程

次回大会委員会4月2日（水）10時30分よりWEB開催。

次回までに必要なホテル部屋数と、代議員会およその参加数を提出いただく。

◎閉会宣言 国際大会副委員長 伊賀 保夫

以上

2025年3月3日

議事録作成人

330 複合地区 中嶋 文夫

(2024-25 年度)

第 6 回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年 2 月 26 日（水）13：30-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおよ 大屋 保	(川越 LC)	
331 複合地区	あさの 浅野 敬一	(北見中央 LC)	
332 複合地区	もんま 門馬 弘	(原町 LC)	【欠席】
333 複合地区	たでぬま 蓼沼 一弘	(葛生 LC)	
334 複合地区	よしだ 吉田 正義	(榛南 LC)	【欠席】
335 複合地区	にしお 西尾 良典	(大阪北 LC)	
336 複合地区	にしお 西尾 慎一	(鳥取 LC)	
337 複合地区	たかの 高野 裕子	(熊本平成 LC)	

オブザーバー

MD332 アラート副委員長 兼 アラート班長	三瓶 浩一	(郡山東 LC)	
MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)	
333-E 地区アラート委員長	寺田 英俊	(土浦亀城 LC)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)	以上

開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

日本海側は大雪となったが皆様の地域で被害が出なかったか。沖縄も久々に寒い日が続いた。寒暖差の激しい季節、健康管理には気をつけて頂きたい。只今より第6回アラート委員会を開催する。

ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長 松浦 淳一

北海道は雪も降らず春の様相だが日本は縦に長いので色々な気候が現れる。来月にはアラートフォーラム茨城が控えており、皆様から忌憚のない意見を頂きながら成功裡に終わるよう努力する。併せて色々な事があるので、意見を交換しながら進めて行きたい。

出席者の確認

佐々木日本全域リーダーが氏名を読上げ1名ずつ出席を確認した。

議事録作成人（2名）の指名

MD331浅野敬一委員、MD336西尾慎一委員の2名を指名／提出：3/7(金)

(引継ぎ：MD330、MD332/第1回：MD331、MD335/第2回：MD333、MD336/第3回：MD334、MD337/第4回：MD330、MD332/第5回：MD332、MD335)

議案審議

新里委員長の指名により、藤井副委員長の司会進行で議案審議に入った。

議 案：

1. 「全国アラートフォーラム2025 in 茨城」開催について

@水戸市民会館〔2025年3月14日（金）13：00-16：30〕

(1)最新情報（最終登録者数 等）

MD333蓼沼委員より資料に記載の通り登録者数は499名となっており、当初の目標は確保できた。以降も申込があったが会場の関係でお断りしているとの報告があった。

続いてMD333若林アラート班長より補足として登録者は499名となっているが、バックヤードも含めると520名は可能（消防法の関係で会場は500人以下）。予算どおりの運営が出来る見込みで、今後シナリオ等も詰を行う。交流会の参加は273名、会場の席次について関係者や役員は中央に集め、その他はMDで纏めるよう考えているが、役職者、出席者について各MD宛リストを配布するので参加者の確認をして頂きたい。又、交流会は、欠席等の参加者数増減に対応する為ビュッフェスタイルに変更したとの説明があった。

以上の説明に対し、MD331浅野委員より要望があり、アラート委員の席を最前列に設けることとなった。

又、MD332三瓶アラート副委員長より会場が満席状態であれば、席を地区毎に分け案内版を掲示するなどの措置が必要との要望に対し、若林班長より今回のフォーラムは少人数で運営する方式で計画しており、数名の案内係は配置するが受け付けも置かない予定。地区毎の案内板等の設置は後日開催の委員会で検討するが細かい事はご容赦頂きたいとの回答があった。

藤井副委員長から前回の岡山開催の実績を踏まえ、交流会ではトラブルを防ぐ意味で受付を設けた

方が良いとの提案があり、その方向で検討する事となった。

2. 「日本ライオンズアラート委員会 委員・班長 研修会」

@水戸市民会館〔2025年3月14日（金）10：00-12：00〕

(1)最新情報

木村東日本統括リーダーは資料「日本アラート委員会 第1回MD委員・班長研修会（案）」を提示し3月14日（金）10時から予定されている研修会について次の通り説明した。

研修会の実施内容についてレジュメを基に主に研修会の目的を中心に説明、皆様をお願いしているアンケートにより、アラートの現状について情報を共有するのが最大の目的、従って未提出の地区は当日までに提出をお願いしたい。研修会のファシリテーターは東日本統括リーダーの木村、西日本統括リーダーの畑中が務め、1時間の説明、50分程度のディスカッションを予定している。研修会は今後2回、3回、4回と続け、資料を残しながら次の委員へと繋がるようにしたいと述べた。

3. 全国社会福祉協議会「連絡会議」

(1)2/14(金)参加について藤井アラート副委員長より報告

藤井副委員長は資料を提示し、2月14日の10時～15時30分、全社協の事務所がある東京霞ヶ関ビルにおいて開催された都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議について次の通り参加報告した。

会議は、全国から60名程の関係者、WEBで約50名の参加で開催、その中で締結企業・団体であるJC、JVOAD、トヨタ自動車、生協、カーシェアリング協会、ライオンズクラブが登壇し事例発表を行った。資料を付けているがJCは、すばやく動いてそれなりの活動を行っており、ライオンズクラブにとって参考になるので今後のMDの活動に繋げて頂きたい。

社協との締結は、日本レベルでは45の都道府県、指定都市との締結が行われているが未締結が2県ほどあるので速やかに締結をすすめてほしい。又、市町村レベルでは240程度の締結が行われているがJCは500もの地区と締結しており、これも来期以降締結を進めて頂きたい。

当日の多くの参加者から、ライオンズクラブが行った能登震災・豪雨災害における長い期間の協力に対し感謝の意が表された。加えて社協担当者からは、締結をして終わりではなく、今後ライオンズクラブが行う研修会や勉強会に社協も呼んでいただき、交流を通じて関係を深めて行きたいとの話があったと述べた。

以上の説明に対し、木村東日本統括リーダーよりボランティアセンター支援を中心とした締結内容、文言について社協からの意見があったか如何かと質問、藤井副委員長は締結内容について各地区で内容が異なっている事実もあり、社協からも意見を頂戴しているので、新たな締結書を出させて頂く事もあると話している。内容によっては、それがネックとなり締結に至らなかった地区もあるので、夫々が締結できる内容で締結に結びつけるのがベターであると答えた。

4. 日本ライオンズ「第7回理事会（2/12）」からの申し送り事項

松浦理事長は2月12日に行われた日本ライオンズ第7回理事会からの申し送り事項について次の通り説明した。

申し送り事項について中谷専務理事より別の情報を頂いているので、今日は状況の説明に止め次回新たに報告し議論をさせて頂きたい。先ず、能登に譲渡したプレハブについて、334ガバナー協議会

の意見交換会で334-D地区杉木ガバナーよりプレハブは不要との話があり、藤井副委員長に調整いただき他の市町村へ寄贈する事となった。併せてサンタ保守の件については、もう一度整理させていただきながら皆様と情報の共有を図り基準を出していきたい。皆様には、混乱した状況であることを理解していただき、規律ある行動を取って頂きたい。アラートも含め全ての委員会が原点に戻り秩序ある行動をして頂ける様考えて行きたいと述べた。

以上の説明に対し以下の質疑応答があった。

MD331浅野委員は、説明のあったプレハブの件と、行き過ぎた行動について具体的な内容はどのようなものかと質問した。

松浦理事長は、プレハブについて、日本ライオンズ、MD334議長、334D地区ガバナーに討議いただき譲渡契約書を交わす事となり事前に印もいただいた。実際にはMD334ガバナー協議会に行った時に杉木ガバナーより不要との事で、もう一度話しをさせて頂きながら被災地の他の自治体に寄贈する形で引き取ることとなった。それらの説明に行き違いがあると思われ、何が正確な情報か整理し判断して行きたい。現状は藤井副委員長に中に入っていた頂き、纏めていただいた。サンタ事業の件、各方面から引合いがある中、色々な問題が出てきている。この事について、もう一度整理し正しい情報の下で判断をして行きたい。アラート委員会だけでなく、色々と日本ライオンズにも情報が入ってきており、次回のアラート委員会の中で意見を頂戴しながら整理して行きたいと答えた。

池原アドバイザーはプレハブの件について、皆が了承した上でお金を使って行った事が、何故このような結果になったのか、皆の意見を聞きながら慎重に事を運ばなくてはならないと意見を述べた。

松浦理事長は、当時の経緯は分からないが実際に起きた事であり、情報を整理した上で対処する。併せて、今、日本全国どこで災害が起きてもおかしくない状況下、被災者の援助が一番大切な事であり、アラート委員会は先陣をきっているので、時間を頂き状況を判断しながら対処したいと答えた。

木村東日本統括リーダーは、アラートに係って15年位になるが必ずこういった問題は起きる。今回の能登の支援は、今までとは違う事を理解いただきたい。震災から始まって水害、この様に大災害が重なることはありえない。その中でクラブの方、準地区の方、携っている夫々が辛い思いをしながら活動していた。ライオンズクラブは同じ仲間であり、ひとり一人から話を聞くのは大事であるが、組織でやる事、C to C 等考え方が統一されていない現状があり、今回の研修に結びつけ議論できればと考えている。従って此处からスタートということを念頭に、アラートは今頼りにされている組織であり、大事なときに纏まらなないと意味が無い。これをきっかけに次のステップに繋げて行きたいと意見を述べた。

佐々木日本全域リーダーは、日本ライオンズ発足以来アラート委員会が出来、8複合の委員会の繋がりに一社）日本ライオンズアラート委員会になり、年度ごとに社員総会の中で委員会から上程した事を決議していただいた。池原アドバイザーが委員長時代にアラート委員会規程を社員総会で承認頂き皆に提示している。ガバナー研修にアラートを組み込んで欲しいという話があるが、災害が起きる時に支援活動は難しく無いが、受援体制を如何とるかは難しい。その際、ご当地のガバナーは大変な思いをされる、前年度の小出ガバナーもそうだし、今期の杉木ガバナーもそうだと思うが、その際に社員総会で決議された事、発災後何日後には災害対策本部を作り、準地区と複合地区が連絡を取り合って被災地の支援活動をする、これは準地区とか委員会とか組織の事で、それとは別に、C to C、クラブからクラブへ、クラブから被災地へといった支援活動を行うときのルールというのを混同している議長やガバナーが多いと思われる。結局、日本ライオンズの委員会、複合地区の委員会はすべてクラブの皆さんの為にどう風通しの良い情報を提供できるか、クラブの皆さんが支援活動をするとか、

被災地のクラブの方が活動される時に後方支援を行うとか、それらを支援するのが我々の役目だと思うしその様な事についてここ数年協議をしてきた。従って、片方側から見ると、違う形に見えるが、活動している本人そうは思っていないというのが、理事長ご指摘の事であり、社団の理事会でも協議をされた事だと思う。この内容を本日出さないで、意見の調整をしてから皆に開示すべきだをお願いをしていたがお話されたので話すが、実は現地の人にも言われていることが事実なのかそうで無いかヒアリングをし、結果を提出するので、その上で判断頂き、係っている多くの人が是か非かにならない様に行きたいというのが委員会に長年係ってきた私の思いであると述べた。

MD331浅野委員は、プレハブの問題等について先にアラート委員会に話しがあり、その後理事会に回付されたのか如何かと質問した。

藤井副委員長は、当初プレハブの設置についてアラート委員会で協議したことを理事会にかけて承認を頂いて能登ベースを立ち上げた。その後時期を見て社団から334D地区に寄贈したらどうかという事でこの委員会でも話しをさせて頂き社団の理事会でも承認された。それを受け譲渡書を作成しMD334の議長と杉木ガバナーに捺印を頂き理事長にも捺印を頂き完了と思っていたが、年末前後になって不要との話があり、このことは、334としても一旦支援活動を終了させてしまったので不要との判断をガバナーが行ったものと推察した。それを受け、もう一度練り直して下さいとの話があり、私が間に入って、今334D能登に置いているプレハブを例えば輪島であったり珠洲であったり必要とされるところを探しそこに寄贈ということで手が離れば良いのではという段取りをさせて頂き、寄贈先を探すという事で決着したと答えた。

松浦理事長は、様々な問題の入手について、複合の議長を通じて、或いは匿名投書の場合もあり、夫々の案件によって情報の伝わり方は様々であると答えた。

5. その他

藤井副委員長は、全国アラートフォーラム2025in茨城は3月14日に開催されるが、懇親会の場で次の開催地を発表してきた経緯があり、来年度の開催地をそろそろ決めなければならないと提案。

増澤事務長は以前に次回開催をオセアル札幌大会で行うとの話があったが如何かと質問。

藤井副委員長は鶴嶋理事との話の中でキャパが200名程度の会場との事で、それを社団の仕切りではなくオセアルフォーラムの仕切りで行うと聞いた。その形で出来るのであれば良いと思うが、そこまでの話しが出来ていない。社団としても話しが出来ていない様なので理事長に確認して頂きたいが、200名というキャパが如何なのか、今から500名程度の会場確保が可能であれば良いが。

松浦理事長は、主な会場コンベンションホールなので確保できるかどうかは確認が必要だが、3月14日までとなると、確認のみでよいのか、討議が必要なのかどうか。

増澤事務長は、オセアルフォーラムの中で行ったとしても日本独自ではなく海外の方も入ってこられるので、今のスタイルを継続するのであれば、改めてオセアルフォーラムで行っても良いし、それとは別に3月頃にアラートフォーラムをやる考え方もあるので、そこは皆にお伺いして決めたら如何かと提案した。

MD331浅野委員は、オセアルフォーラムの中では従来のスタイルでの開催は難しい。情報は無いが、災害支援という名目で短めに行うといった形式での開催を考えているのではと思われる。従って別途アラートフォーラムを開催した方が良いと意見を述べた。

藤井副委員長は2月・3月に従来スタイルでのアラートフォーラム開催は如何か、或いはオセアルフォーラムに併せて開催で良いか質問、挙手の結果、2月・3月に従来スタイルでの開催が多数を占めた

ので委員会としてその方向で進めて行きたい旨述べ、開催地を何処にするかと質問、今回が東エリアなので来年度は西エリアでの開催を考えたいとして佐々木日本全域リーダーに意見を求めた。

佐々木日本全域リーダーは、先日335複合の委員会が開催されオブザーバーで参加、今回の茨城でのフォーラムの出席者の確認と今までのフォーラムの流れを説明、岡山での開催の前は木村リーダー、332の方に頑張って頂いて仙台で開催、その時、次は岡山で開催と言う話しを1年前に委員会で決め、当時の藤井西日本統括リーダーに尽力頂き岡山フォーラムが開催できた。その時、次は茨城でと言う事を決めて今回に至っている。開催地が準備するのも時間が必要なので、なるべく1年位前には開催地を決めて案内するといった流れで来ている。現在、オセアルフォーラムから今のところ社団のアラート委員会に対し案内はなし。従って現状スタイルで次にやるとすれば西、順番からすると334若しくは335ではないかと話しをしたところ335で受けても良いとの意見が出たが、この件は今後MD335西尾委員と議長でどう決めていくかと言う事になると述べた。

MD335西尾委員は、複合地区アラート委員会の中でフォーラム開催を受けても良いという話しが出ており、現在議長と調整中でよければ開催地として名乗りを上げたい。どのような手順を踏めば良いのか解らないので佐々木日本全域リーダーと相談しながら進めて行き複合地区での調整が出来次第、提案させて頂くと述べた。

藤井副委員長は、開催地について335複合地区の提案を受け委員会でその可否を議論する事になるので3月14日には発表が難しいかもしれないが、仕方のない事であり、今回は未決定とさせて頂くと付け加えた。

6. 各MD活動報告

本日参加の各MD委員より3月14日に開催されるアラートフォーラムへの参加状況に加え、夫々の地区における活動経過について報告がなされた。

7. 次回、第7回アラート委員会開催日程

2025年4月8日（火）14：00～15：30 （Web） の開催が決定した

閉会の辞

24-25年度 アラートアドバイザー 池原 堅

以上

2025年2月26日

議事録作成人：

MD331 アラート委員 浅野 敬一

MD336 アラート委員 西尾 慎一

(2024-25 年度)

第7回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年 4 月 8 日（火）14：00-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや たもつ 大屋 保	(川越 LC)
331 複合地区	あさの けいいち 浅野 敬一	(北見中央 LC)
332 複合地区	もんま ひろし 門馬 弘	(原町 LC)
333 複合地区	たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘	(葛生 LC)
334 複合地区	よしだ まさよし 吉田 正義	(榛南 LC) 【欠席】
335 複合地区	にしお よしのり 西尾 良典	(大阪北 LC)
336 複合地区	にしお しんいち 西尾 慎一	(鳥取 LC)
337 複合地区	たかの ゆうこ 高野 裕子	(熊本平成 LC)

オブザーバー

MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC) 【欠席】

以上

開会宣言

■24-25年度アラート委員会 委員長 新里 正雄

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝と本日の開会宣言

ご挨拶

■一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度 理事長 松浦 淳一

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝、

栗村前議長から大船渡鎮火宣言の報告をいただいた（昨日5：30）件、

近年の気候変動が及ぼす自然災害の脅威、ミャンマー地震（3/28）にはライオンズクラブが無い
ため奉仕の手が届かず。本日の貴重な時間を有意義な会議になるよう祈念する

出席者の確認

議事録作成人（2名）の指名

MD333 蓼沼委員、 MD337 高野委員

（引継ぎ会議：MD330、MD332／第1回：MD331、MD335／第2回：MD333、MD336／第3回：
MD334、MD337／第4回：MD330、MD332／第5回：MD332、MD335／第6回：MD331、MD336）

■新里委員長の指名により、藤井副委員長が議案の司会進行役となった

議 案：

1. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城（3/14）

・開催報告、事業報告

■MD333班長 L若林実行委員より「事業報告」書の説明

- ・フォーラム参加人数：493名（予定500名）、交流会：271名（予定300名）
- ・交流会で用意したブッフェ食事(参加実数の9割量)は早くに完食となり、予定終了時刻より20分程巻いた
- ・「決算報告」の参加人数は現時点のもの、ノンライオンの参加数は省かれている
- ・余剰金については、約100万円の見通し（参加人数の充足やメンバー手弁当などによる）
- ・入金は今現在進行中。決算報告は、入金および支払い精算がすべて完了し、スタートの通帳0円（または余剰金が見える段階）に戻したところで終了とする
- ・全国から多くの方に参加いただいたことに感謝申し上げる

【今後の課題提案】

- ・会費額を10,000円とした場合、その内訳（フォーラム登録料と交流会の割合）については、支出のやりくりにも影響する場合があるので、収入参考値を参考に今後活かしていただきたい
※岡山登録料：フォーラム2,000円 交流会8,000円、茨城登録料：フォーラム2,500円 交流会7,500円
- ・入金、参加申込管理などの集計には「サバンナ」活用が有効との意見があり、次回以降、使用を検討いただきたい（日本ライオンズでの集計を希望）

■藤井アラート副委員長より、

【次年度開催予定について】

- ・MD335西尾委員の立候補をうけ採決をとり、満場一致で決定となった

■佐々木日本全域リーダーより、

【今後の対応】

- ・まずは今期、アラート委員会で準備委員会を立ち上げ、来期委員会に引き継ぐ。
また開催地MD335も、今期に準備委員会を立ち上げ、333-E地区（茨城）からの引継ぎを進める

【次回委員会開催までに提出依頼】

- ・前回より各MDから開催に向けての要望・意見を収集している。今期も同様に、次回委員会開催までに各MDアラート委員は書面にして提出する

2. 第1回MD委員・班長研修会（3/14）

・開催報告

■畑中西日本統括リーダーより報告、

- ・研修会は木村東日本統括リーダーが進めた
- ・この研修内容を各地区・クラブで共有し、アラートに精通した人材の発掘・育成に繋げていただきたい

■佐々木日本全域リーダーより、

- ・今回参加対象のMD委員長、MD班長は、各複合地区で研修会開催を検討いただき、またその際には木村・畑中両リーダーに講師依頼のお声がけをいただければ対応してくれるであろう

■藤井副委員長より、

- ・フォーラム発表に使った資料は活用したいとの要望が多く配信させていただいたが、各地区で使い勝手良いように書き換え利用いただければと思う

■木村東日本統括リーダーより、

- ・情報を皆さんで共有できたことは良かった、それぞれの役割、やるべきことが見え、次の段階へ進めることができると感じた。ただライオンズはOne Year、次へうまく引継ぎ、足跡を残せるようなアラート委員会であればと思う

3. 次年度アラート委員会

・組織案検討

■藤井副委員長より、

能登の災害をうけ委員会のスマート化など意見をいただく機会があった、現在の組織構成について、各MD委員の率直な意見を伺いたい

MD330大屋委員 大災害が各地で起きる昨今、大きな動きができるような組織作りが必要かと感じる

MD331浅野委員 今のままで良い

MD332門馬委員 組織図は問題ないが、ネットワークがうまく機能していないことを大船渡の山林火

災時に実感し反省があった。整備の必要を実感

MD333蓼沼委員 今のままで良い。会議はWebばかりではなく年1回は対面にした方が良い

MD335西尾委員 組織図は問題ない。各地区の温度差がある。各地区の統制の見直しが必要か

MD336西尾委員 緊急性を要するためスムーズに事が運ぶように組織はシンプルであるべきと考える

MD337高野委員 組織はシンプルな方が良い。各MDの事情もあるので副班長の件はMDごとに検討した方が良い

■藤井副委員長より、

- ・ネットワーク（連絡網）について、アラート委員会はグループLINEにより主だった方とは連絡が取れる状況、活用していただきたい
- ・リアル開催について、年度初め、年に1回は実施するのは良いと感じる
- ・現在、各複合にはアラート委員会が発足し、各準地区にも単独でないにしろ存在することとなった。その中で、社団への参加は今日のメンバーまでとし、班長は各MDアラート委員会でMD委員の補佐的役割（MD副委員長など）の方を選任していただき、副班長は各準地区のアラート委員長とすれば、複合、準地区が繋がる関係性が構築できるのではないかと、シンプルな組織作りに向けて、そのようなこともこれから考えていく必要があるのではないかと

■池原アドバイザーより、

- ・前年度、複雑だった組織構成を整備、現在の組織体系がシンプルでベターなものと感じる。皆さんからの意見も踏まえ、しばらくこの体系で進めていってはいかがか

■藤井副委員長より、

- ・災害が起きてから緊急対策チームを立ち上げるのではなく、期首にはすでに組織作りをしておいていただきたい。現・来期各複合委員とそれらの情報を共有し、アラート委員会で管理することも役割の一つかと考える。アラート委員会の方向性は今期中にも取りまとめ、社団、理事会においても発言していきたい

■松浦理事長より、

- ・災害対応という緊急性のある中、委員皆さんがそれぞれの地区で活動しやすいよう議論いただき、より良い組織作りにつとめていただければと考える

■藤井副委員長より、

- ・これらの話をうけ、社団内での副班長任命の必要性について意見を求めたところ、
「災害時に実際に動くのはMDであり準地区。アドバイスする立場の日本ライオンズには副班長は不要と考える」
「スリム化するのならば、災害が起こった時に被災地・被災者を孤立させないために（一番重要）、隣り合った地区などとパートナーシップを結びサポート体制を明確化していただきたい」
の声があがった
改めて副班長任命の要・不要について採決をとり、満場一致で不要となった。

副班長は準地区委員長が担当するなどし、複合会議に臨んでいただくこととした

- ・運営規則の改定については、一度、委員長、副委員長、日本全域・東西リーダーとで見直したい

4. 各MD活動報告

- MD330 連絡網、組織の強化を行い、準地区委員名を複合にも共有、体制を整えた。6月にセミナーを開催予定。また社協との提携をさらに進める
- MD331 アラートの啓蒙活動、委員会の重要性や、日本ライオンズアラート委員会の認知度を上げるようつとめてきた
- MD332 11月アラート委員会を招集して会議を行った。複合地区での予算工面や受援立場を意識し、規定を作成している
- MD333 各準地区においてアラート意識に温度差を感じるため、各委員長の選任方法、知識の向上などを見直していきたい
- MD335 規程など整備すべきところは多くあり、今期中になるべく取りまとめていきたい。また来期へとしっかり繋げていくためにも認識の統一等に向け、セミナー開催を予定している。4/16には複合アラート委員会を行う
- MD336 準地区およびMDの組織強化、活動規定の整備、資金規程の確認、準地区の意思疎通、社協との締結推進、研修会への積極的参加をメインに行ってきた。特に活動規程の整備については木村リーダーサポートのもと、3月17日に最終提案書完成、28日ガバ協にて承認された。またMD委員は準地区の委員長が担っているため、意思疎通も図られ、皆アラートの必要性を強く感じている
- MD337 グループLINEについては複合、準地区ともに利用している。12月に複合アラート会議を行った。次期は南海トラフの可能性を踏まえ準地区間の協力体制の確認を行う

■池原アドバイザーより提案事項、

- ・「報告書（＝記録）」作成の重要性、
2014年8月20日「広島大規模土砂災害」が発生した際、それぞれの役割を決め対策をスタートさせた。そして人や物、お金の動きが見える「報告書」を作成した（支援金の動き、誰がどこに物を送ったか…など）。「報告書」が「記録」になる。この内容は能登震災が起こった際の有益な情報源となり、当時いただいた支援金額を確認するなどして、能登支援のスピード化に繋がった
- ・アラート委員会の今後について、
地震や豪雨に加え、山林火災など自然災害の幅は広がり、無関心ではいられない状況となっている。
日本ライオンズ発足から9年の間に、アラート委員会は年々充実した体制となってきた。さらに仕組みを広げ、研修会も活用し若手育成などを充実させていただきたい

■中谷専務理事より、

- ・組織について、社団の役割は8複合の連絡調整が主体となり、事業主体は複合が担い、MD独自の体制をつくるということが大切と考える。
そして、南海トラフの対策も具体化する必要を感じている

■木村東日本統括リーダーより、

- ・各地に研修に行くと、「日本ライオンズ アラート委員会の役割とは？」と尋ねられる。

活動か啓発か・・・複合、準地区、日本アラートと、それぞれの立場ごとに明確にする必要があると感じる。規程の見直しには、これらのことを盛り込んでいただき、報告フォーマットもそれをもとに活用しやすくなるのではと感じる。

また、能登支援の現状について、ローテーション対応の話がくるのだが、皆さんのところはどうか？

→藤井副委員長よりMD334内でローテーション支援しているので、他地区に要請はないとの回答

5. 次回、アラート委員会開催日程（最終・引継）

2025 年 6 月 17 日（火） 14：00～15：30 （Web）

※できれば次期アラート委員予定者にも参加いただく

閉会の辞

24-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

貴重な審議ができた。

岡山火災については今週金曜日に鎮火発表ができるのではないかとされている。けが人なく、空き倉庫が 6 棟程燃えた状況。今治の鎮火は未定。300 人程の一般ボランティアが入っている。

次回委員会で来期の引き継ができればと思う

以上

2025 年 4 月 8 日

議事録作成人：

MD333 アラート委員 蓼沼 一弘

MD337 アラート委員 高野 裕子

(2024-25 年度)

第 8 回 アラート委員会 (Web)「議事録」

◎日 時：2025 年 6 月 17 日 (火) 14：00-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)	【欠席】
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)	【欠席】
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)	
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)	

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや 保	(川越 LC)	
331 複合地区	あさの けいいち	(北見中央 LC)	
332 複合地区	もんま ひろし	(原町 LC)	
333 複合地区	たでぬま かずひろ	(葛生 LC)	【欠席】
334 複合地区	よしだ まさよし	(榛南 LC)	【欠席】
335 複合地区	にしお よしのり	(大阪北 LC)	
336 複合地区	にしお しんいち	(鳥取 LC)	【欠席】
337 複合地区	たかの ゆうこ	(熊本平成 LC)	

オブザーバー

333 複合地区次期アラート委員予定者	みえだ ひさお	(佐野西 LC)	【欠席】
335 複合地区次期アラート委員予定者	つだ かつゆき	(大阪桜之宮 LC)	
336 複合地区次期アラート委員予定者	はつかで かずはる	(東広島あきつ LC)	【欠席】
MD333 アラート班長	わかばやし じゅんや	(水戸葵 LC)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)	

1. 開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

毎晩熱帯夜で寝苦しい日が続いています。新年度を迎えるこの7月は特に集中豪雨の災害が多く発生しないことを祈ります。どうぞよろしくお願いいたします。

2. ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 事務長 増澤 義治

今回、松浦理事長と中谷専務理事が欠席のため代わりにご挨拶申し上げます。1年間皆さんのお力を賜りましてありがとうございました。今日も1日よろしくお願いいたします。

3. 出席者の確認

4. 議事録作成人（2名）の指名

MD330大屋委員、 MD331浅野委員

5. 議 案

(1) アラート委員会 組織見直しについて

●班長、副班長の廃止

〈協議内容〉

◆アラート委員会設置時には各委員会や複合地区の委員会がなかったため、班長・副班長という制度が設けられていたが、来期のアラート委員会においては限られたメンバーでやっていただきたいと次期理事長からの要望があったため提案させていただいたと藤井副委員長より説明がなされた。

これに対し、以下のような意見があがった。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・スリム化自体には賛成だが、既に複合地区にて来期の委嘱状が出ており、日本ライオンズの役職にもなるため、この時期に廃止をするべきではないのではないか。
- ・規約に沿って考えるのであれば、任期の問題も係わってくるため然るべき期間を得てまずは規約の変更を行い、再来期から廃止をするべき。
- ・既に人選が済んでいる地区もあるため、その方たちのことも考慮したい。

【MD332門馬委員】

- ・332複合地区においては、次期の体制が既に決定しているためこのタイミングで廃止すると複合地区の体制自体が変わってしまうため、再来期以降の実施でお願いしたい。来期に改めて審議してはどうか。

【MD335西尾委員】

- ・MD335においても既に人選が済んでいる。協議する時間が必要ではないか。

【池原アドバイザー】

- ・人選が終わっている部分もあるため、皆さんのご意見をいただきながら進めてはどうか。

【木村東日本統括リーダー】

- ・日本アラートの中に班長を置くのではなく、MDにおいた方が動きやすいのではないかな。
日本アラートのフットワークを軽くするために組織をシンプルにすることには賛成だが、MDにおける実働部隊はMDで構築されるべきだと思う。
- ・規約内に班長・副班長については統括と相談して指名推薦とあるが相談を受けたことが無いのが現状。

【藤井副委員長】

- ・班長についてはMDの議長が任命をすることになっていることもあり、委員会そのものはスリム化して各準地区に実働部隊を設置するのがベストではないかな。
- ・規約の変更も必要になってくるので、来期（8/4以降）に改めて示せればと思っている。

【畑中西日本統括リーダー】

- ・スリム化には賛成だが、多数の地区で人選が済んでいる今のタイミングは望ましくないと感じた。

【MD330大屋委員】

- ・各MDでそれぞれ抱えている事情が異なるため、一方的に廃止というのは少し乱暴ではないかな。
- ・組織の在り方について議論し、コンセンサスをまとめていくべきではないかな。

◆これらの話をうけ、新里アラート委員長より日本アラートの組織の中から班長・副班長を外せないかと再度意見を求めたところ、

【佐々木日本全域リーダー】

- ・今この時期に実施するべきではないと感じる。

【増澤事務長】

- ・現在、委員会に班長は出席しておらず各MDにて活躍していただければよいのではないかな。

【MD330大屋委員】

- ・MD内での指名ではなく、社団より班長を任命されたという認識であるため非常に高い意識もっている。そのため、もう少し指名の在り方を考えていただきたい。

【MD337高野委員】

- ・スリム化自体は賛成であるが、任命された時点で複数年（3年）やる認識でいるため、急な解任は避けるべき。

などの声があがった。

◆皆さんの意見を踏まえたうえで、来期はこのまま進めることとし改めて議論していく。

ただし、来期は組織図から班長の記載を削除させていただきたいと藤井副委員長より提案がなされたが、

【MD330大屋委員】

- ・記載を削除するべきではないと考える。記載を削除しただけではスリム化したとは言えず、入っていても何ら問題なく、班長の意識の向上にもつながるのではないかな。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・スリム化は今後議論の上決定することであって、先行して組織図より削除するべきではな

い。

〈決定事項〉

- ◆班長・副班長の廃止については、7/2に予定している北海道の理事会において、次期委員長に説明しご理解いただけるよう調整することとなった。
- ◆引継ぎについては、7/22～25の4日間で調整することとし、別途事務局よりご連絡差し上げることとなった。

●引継ぎについて

- ◆7月に引継ぎを実施したいと藤井副委員長より要望があった。

●その他

- ◆7月上旬ぐらいに水害が起こる可能性が高いため、各MDにて引継ぎをはじめ対応を強化していただきたい。

(2) 2026年「全国アラートフォーラム」

・次年度開催（MD335）進捗

- ◆2026年の全国アラートフォーラムについてMD335西尾委員より説明があった。
 - ・2026年3月13日（金）にPM～大阪市内（梅田近辺）にて開催予定。
 - ・2025年12月中には案内を出せるよう調整していく。
 - ・現メンバーにて準備員会は既に発足済みで概要等検討中であり、来期からは次期アラート委員会のメンバーも含め検討を重ねていく。
 - ・今年開催したアラートフォーラムにおいて、フォーラムの前に委員長を中心とした勉強会を開催した。木村リーダー他数名の方々に講師としてご登壇いただいたが、非常に好評であったため、次年度開催のアラートフォーラムにおいても対象者をアラート関係者とより広範囲とした勉強会をぜひ開催していただき、多くの方々に参加していただければアラートフォーラムがより有功なものに繋がっていくのではないかと大屋委員より要望があった。
 - ・予算の資料やその他については、個別にMD335西尾委員より若林アラート班長にご相談いただく。

・次年度への意見・要望

【MD330大屋委員】

- ・班長に今後どういう役割をしていただくのか、役割とポジションの明確化をしたい。
→7月下旬に実施予定の第1回アラート委員会にて再度協議していただく。

【MD332門馬委員】

- ・アラート委員会の組織規程が不透明な部分が多いため、明確にしていきたい。また、アラート活動予算の基準づくりをしていきたい。今後皆さんと協議を重ねていきたいと考えている。

【MD337高野委員】

- ・アラート発動時はガバナーが1番の要となるため、アラートフォーラムには現職ガバナーにな

るべく参加いただく必要があるのではないかと。参加が難しい場合は、代理を立てる等のフローを作ってはどうか。
→来期協議していく。

(3) 今後の予定

◆各MDまたは各準地区での引継ぎを早めに行なっていただきたいと藤井副委員長より再度説明があった。

(4) 各MD活動報告

◆なし

(5) その他

◆今回の会議で来期のヒントがたくさんいただけた。アラートフォーラムを最終着地点として、いいフォーラムができるよう尽力していきたいと木村東日本統括リーダーよりご意見いただいた。

(6) 次回、アラート委員会開催日程

2025 年 7 月 22 日～25 日の内でいずれか 1 日、引継ぎ会議の開催を予定したい。追ってご案内する。

6. 閉会の辞

24-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

お疲れ様でした。皆さんのさまざまな意見を聞くことができました。また来期以降、皆さまと共有しながら進め方を模索していきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

以上

2025 年 6 月 17 日

議事録作成人：

MD330 アラート委員 大屋 保

MD331 アラート委員 浅野 敬一

(2024-2025 年度)

第 5 回会則委員会 (WEB) 議事要録

日 時：2025 年 3 月 21 日 (金) 15:00～17:00 ZOOM 開催

出席者：《一般社団法人 日本ライオンズ》

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)	【欠席】
委員長・専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)	
副委員長	濱田 浩平	(長崎南 LC)	【欠席】

《各複合地区会則委員》

330 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC)	
331 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC)	
332 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)	【欠席】
333 複合地区	岩沼 忠伺	(千葉ネオ LC)	【欠席】
334 複合地区	山本 基博	(恵那 LC)	
335 複合地区	小鍛冶 正明	(奈良西 LC)	
336 複合地区	松岡 諒	(福山久松 LC)	【欠席】
337 複合地区	高野 正勝	(佐賀葉がくれ LC)	

《オブザーバー》

日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

- ① 開会宣言 会則委員会委員長 中谷 豊重
- ② 出席者紹介・確認
- ③ 議事録作成人の指名 MD331佐々木委員・MD337高野委員 を指名。
- ④ 前回議事録の確認

議案

1. ライオンズ必携及び 2024-25 年度役員必携について

中谷委員長より資料を基に説明。

ライオンズ必携の発行は、印刷の都合で年度内に間に合わず、次年度になる可能性がある。役員必携については三役研修に間に合うよう発行を目指しており、理事会で 9,200 部発行、頒布価格を一部 650 円とする決議を行ったことを報告。

MD330 (森川委員) より、MD330 で作成した資料について説明。MD330 ではこの資料を次の年次大会に提出し承認をもらう予定。

2. 各複合地区年次大会共通提案事項の確認

各 MD への共通提案事項を確認した。本年度は無し。

MD330 (森川委員) より 330 複合地区の現状報告あり。

賛助会費の値上げに関しては、社団からは議案上程の依頼をせず、年次大会での扱いについてはそれぞれの複合においての判断としていただく。

MD331 (佐々木委員) より値上げに関して、331 複合地区の対応の報告。

3. その他

●MD331（佐々木委員）より

①国際会則に準拠し、ガバナー名誉委員会を日本では、どのように運用していくのか、皆さんの意見を伺いたい。

MD330（森川委員） ……会則改正の議案の中で、ガバナー名誉委員会をガバナー名誉顧問会と名称を変更して上程する形にしている。代議員については、元地区ガバナーに投票権を与えているので、そこに吸収される。

②コンプライアンス委員会について

MD331（佐々木委員）…331 複合地区は、弁護士のライオンに加入してもらい、規定案に沿って 331 複合地区に合うよう改定しているが、まだ間に合わず来年度もパイロット版になる。

MD330（森川委員） ……取り組む予定はない。

MD334（山本委員） ……委員会からの提案事項として、ガバナー協議会へあげる前の段階の為、断定的に答えられないが、MD336 の規定を元に制定する予定。常設はせず、問題が発生した時は相応しい方々に委員会として組織を組んで対応したい。

MD335（小鍛冶委員）…一番早かった A 地区の規定に沿って B・C 地区でも検討し、今期中に統一した規定を作る予定。コンプライアンス委員会については、334 複合地区と同じ方向性。

MD337（高野委員） ……前向きに取り組んでおり、地区の方は既に立ち上げているところもある。

中谷委員長 ……来年度もう一度パイロットするかどうか判断する必要がある。他の委員の意見も伺い、次回議論する。

・ 閉会挨拶 会則委員会委員長 中谷 豊重

※次回開催日程について※

2025 年 4 月 28 日（月） 14：00～17：00 対面（日本ライオンズ事務局）

以 上

議事録作成人：331 複合地区 佐々木 忠康
337 複合地区 高野 正勝

2024-25 年度 日本ライオンズ
第 4 回 YCE 委員会議事録

2025 年 2 月 21 日 (金) 15:00-16:30

神戸ポートピアホテル つつじの間

出席者:

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員:

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC) 【欠席】
335-A 地区ガバナー	永田 雅章	(明石しおさい)
335-A 地区 YCE 委員長	植谷 晃一	
335-B 地区 YCE 委員長	徳山 性培	
335-D 地区 YCE 委員長	高階 康史	

1. 開会宣言

一般社団法人日本ライオンズ YCE 委員長 L.田中より挨拶

2. 出席者確認

田中委員長より出席者名簿の確認の後、オブザーバー出席である MD335 の A,B,D 各地区委員長の紹介があった。

※出席者名簿を参照

その後中谷専務よりあいさつ。

3. 議事録作成人の指名

田中委員長より MD333 委員長 L.藤川の指名があり承認された。

4. 議題 確認事項および協議事項

・今年度 冬季来日・派遣報告 最終人数の確認

資料 1 では来日 56 名、派遣 26 名であるが各複合の現状を報告することとした。

① 各複合地区より冬季交換事業の報告

MD330：来日マレーシア 2 名、派遣 1 名 MD335 よりサポートを頂いた。

MD331：冬季は実施なし。

MD332：来日無し、派遣は 2 名で MD335 よりサポートを頂いた。

MD333：冬季実施なし。

MD334：来日 20 名、派遣 16 名。来日はタリアとマレーシアの 2 か国のみで、長野と東京キャンプを実施した。来日生の英語能力が弱く国ごとに分かれてしまったことが反省点であった。

MD335：マレーシアより来日 14 名、派遣 7 名。帰国時に便の欠航などトラブルがあった。

MD336：台湾より 9 名の来日。雪を見たことがない来日生が多く皆喜んでいた。担当委員より窓口のフリー化を望む声もある。

MD337：シンガポールより来日 8 名、派遣無し。OB,OG 生の活躍がありがたく年次大会で YCE キャンプの PR を企画中。

※田中委員長より、各複合の冬季について総合的に何事もなく終了したと報告。

・今年度 春季来日・派遣予定について

① 各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

春季は MD330 のみ実施予定。タイ派遣 6 名、来日 4 名。グアムは募集中。

・来期夏季来日・派遣予定について各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

MD330：MD4に派遣6名。円安の影響で渡航費が高くなったことや学校の休みの問題などで希望者が少ない状況がある。ディレクトリーの反応が良くなり交換になりにくいことが危惧される。

MD331：派遣は7名を予定で現在調整中。また、個人でのチケット手配も検討。来日は12名を予定している。

MD332：派遣を予定していたテキサスがキャンセルとなった。来日はノルウェーから1名を予定している。旅費が高いことが問題となっている。

MD333：派遣は募集中で3～4名程度になる予定。来日は10名で確定、ミニキャンプを実施する。

MD334：資料2の数字は大きく変更となる。派遣は1か国2名の制約がある為人気国に集中する傾向がある。受入れはホストファミリーが見つからない状況に苦慮している。他の複合の事例でゾーン単位での受け入れでローテーション制になっているところもあるようで検討したい。

MD335：派遣について現在調整中。マレーシアに特化しているので他の複合地区からの申し込みも可。来日は準地区単位のキャンプに戻す。A・D地区合同で5～6名程度、B地区はMAX20名程度、現在13名は決定している。マレーシアについて派遣は夏季、受け入れは冬季のみに変更する。

MD336：派遣8名、来日はイスラエル（未定）、モルドバが2名、台湾が35名の依頼があるが、MD336では8名を予定、他の複合にお願いできないか？
た複合より：依頼はわかるが各複合もホストファミリーの件で苦戦しているため、できる範囲での受け入れをお願いしたい旨の発言があった。

MD337：派遣はシンガポールへ12名を予定だが現在20名の応募がある。受け入れは未定。受け入れ家庭リストを作成中。

① その他共有事項について

資料2の数字に大きな変更があるので進捗を随時共有していきたい。

・その他

① ホストファミリー用手引きについて

現在、各複合で作成中と思うが出来上がったら日本YCE委員会で共有したい。

② その他

田中委員長より日本ライオンズの賛助会費改定の議案が社員総会で出ることになっており、YCE委員会として、懸案になっている日本YCEの一本化について提言する機会があるかもしれない。

その場合を想定した皆さんのご意見を伺いたい旨の発言があった。

・日本YCEで担当を決め事務作業を一本化できないか？

- ・来日に関して一本化して各複合に振り分けてはどうか？
- ・ディレクトリーを日本で一本化をしてはどうか？
- ・以前 MD334 で行っていたように全体を取りまとめてもらうのはどうか？
- ・複合事務局の負担が軽減されるのであれば良いが、そうでないならば一本化の必要性を感じない。その他一本化した場合に手順がどうなるかなどについて協議。

※各複合委員会に持ち帰り意見を取りまとめていただくこととなった。

・次回委員会日程

2025 年 4 月 14 日 WEB 会議 10：00－12：00

5. 閉会のあいさつ

一般社団法人日本ライオンズ YCE 副委員長 L.廣田 晃一

以上

2025 年 2 月 21 日

議事録作成人：

MD333 YCE 委員長 L.藤川清幸

第 5 回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

2025 年 4 月 14 日 (月) 10:00-12:00

WEB 開催 (ZOOM システム 各デバイスより接続)

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員：

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー：

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一
2. 出席者の確認 松浦理事長は欠席 他委員全員出席を確認した
3. 議事録作成人の指名 MD335 団委員長が指名される。

4. 議題 確認事項および協議事項 ※議題について進行の都合上順番を変更した

① ホストファミリー手引き作成について

(1) 各 MD・地区より提出された手引きの確認

332-D 地区から提出があったホストファミリーの手引きのデータを基準とし、田中委員長が精査して各準地区 YCE 委員長の意見も聞きながらまとめる。

各複合委員長は次回委員会までに意見をまとめて事務局に提出のこと。

② OSEAL フォーラム(札幌)での YCE 活動について

各委員の意見を聞いた結果、どのような目的で開催するか、また次年度対応となるため今期で決定するのではなく、次年度の Y C E 委員長予定者の廣田副委員長に検討してもらうこととして、今期委員会としては第 62 回 OSEAL フォーラム(札幌)には組み込まないことを申し合わせた。あわせて今後の目標としてレオフォーラムとの共同開催も検討してしどうかという意見も出た。

③ YCE に関する社団一本化について

Y C E を日本ライオンズへ一本化することのメリット・デメリットをそれぞれの地区で話し合いをした上、次回委員会で発表をしてもらいたい。

急いで一本化する必要があるかも含め、長い目で考えることも必要ではないかという意見もあった。

④ その他

(1)YCE 生制服について

派遣先よりフォーマルな場での YCE 生の服装について申し送りがあった件の報告を受け、現在のユニフォームであるベストの他にジャケットをフォーマルな場でのユニフォームとするべきかどうか協議された。派遣先の国の文化や事情があり、場によって使い分けを行っていくことでいいのではないかという意見に集約。昨年度変更された YCE の手引きの中にもフォーマルな場ではベストの下に襟付きのシャツを着用する件などを記載しておりこちらの共有も行う。引き続き白のベストも正式なユニフォームとして採用し、必要に応じて以前のユニフォームであるブルージャケットもそれぞれの派遣国との調整で取り入れることにする件を申し合わせた。ブルージャケット以外にも着回しのしやすいジャケットの導入なども今後検討いただきたいと田中委員長より申し送りあり。

⑤ 今年度春季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定の報告

資料に基づき、各複合地区から春季の派遣・来日の人数の確認のほか各種報告。

(2)その他

春季に来日予定だった YCE 生が LGBTQ であると連絡があった件の報告。今後もこのような事案があると思われるので指針を定めてはどうかという提案があった。

⑥ 今年度夏季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

資料に基づき、各複合地区から夏季の派遣・来日の人数の確認をした。ディレクトリから直接連絡があった国についてはフリー国以外の場合、人数の関係などもあり必ず MD 担当窓口を通してほしい件についてルール制定なども視野に入れ要望あり。

【次回委員会日程調整】

第 6 回委員会 2025 年 5 月 16 日（金）10：00-12:00 WEB開催

第 7 回委員会 2025 年 6 月 22 日（日）時間未定 於：仙台市 対面開催

5. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

議事録作成人：

MD335 委員長 団 英男

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 議事録

日時	2025 年 3 月 4 日 (火) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) * 欠席 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) * 欠席 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) * 欠席 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337 複合地区委員 瀧野二三世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) * 欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) * 欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、中谷専務理事からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024 年 7 月～25 年 1 月ライオン誌関係会計報告 ほぼ予算通りに経過していることを確認。デジタル版関連費(ウェブマガジン)の原稿料・編集費の支出は外注を止めたため大幅に減額。 ② 2025-26 年度発行計画と予算案 来期も今期同様、印刷版年 4 回・デジタル版年 12 回発行とし、デジタル版関連費の旅費交通費、原稿料・編集費、その他(改修費用・普及費用など)に見直しを加えた

	予算案を作成し、次年度委員会で検討する。ライオン誌直接出版費(印刷版)について星野委員長から、社団では賛助会費改定に伴い印刷版発送費を会費に含め、クラブ発送のみにする方針であるとの報告があり、個人発送を廃止してクラブ発送のみにすることに関して各委員の意見を確認した。
決定事項	①2025-26 年度発行計画を、印刷版年 4 回・デジタル版年12回とする。 ②印刷版をクラブ発送のみにすることに目立った反対はなかった。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025 年 3 月号(3 月 1 日公開)出来公開済みの 3 月号の出来を確認した。 ② 2025 年 4～6 月号更新予定(案) 4月号は前回委員会までに決定した内容で進行中。5月号「取材レポート」(大阪府・高槻 LC)の取材経費概算を確認。6月号「取材レポート」の取材対象を決定。また、7、8月号の取材対象候補としてそれぞれ2クラブを挙げ、次回委員会で詳しい情報を確認して絞り込む。
決定事項	②5月号「取材レポート」の取材経費概算を承認した。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2025 年春号(4 月 25 日発行予定)台割(案) 前回委員会での検討内容を反映した台割を確認した。「大阪・関西万博」の記事は335-B 地区の担当者に情報提供を依頼する。「特集:リーダーシップ」は佐々木委員によるオンライン研修の受講レポートなど企画案に沿って進んでいる。「札幌フォーラム」はフォーラム組織委員会に原稿・写真を依頼済みで近く提出される予定。 ② 国際協会によるライオン誌読者アンケート 国際協会から、印刷版に掲載するためライオン誌読者アンケートのオンライン回答用 QR コードが配信された。春号への掲載について検討した。 ③ ウェブマガジン連動企画 前回委員会で提案された印刷版とウェブ版の連動企画について検討。過去に掲載した「クイズ de 例会」「読者プレゼント」を参考事例として協議した。読者の興味を引く企画でウェブマガジンに誘導することは有効であるとの意見でまとまった。

決定事項	②表紙裏の 1/2 スペースを使い、短時間で回答出来る旨の説明を添えて掲載する。 ③次回委員会に各委員がアイデアを持ち寄って更に検討する。
------	---

議案 4	その他
内容	① ウェブマガジン普及策(ライオン誌ウェブマガジンのアンケート結果) 星野委員長が所属クラブで実施したライオン誌アンケートの結果が報告された。主な結果は次の通り。 ・ ライオン誌活用度は印刷版「あまり見ない 20%」に対し、ウェブマガジンは「ほとんどなし 90%」 ・ デジタルデバイスの活用度は年齢を問わず高い この結果を踏まえ、「印刷版はすぐに年 2 回発行に縮小するのは時期尚早」「ウェブマガジンの今後のポテンシャルは高い」との総括と、今後の方針として次の 2 点が示された。 ・ 日本ライオンズの PR マーケティング委員会から、複合地区、地区、クラブの PR・IT 担当委員長に呼びかけ、ウェブマガジン普及・指導を担ってもらう ・ ライオン誌例会の開催を呼びかける ② ライオン誌日本語版メールニュース LionPortal 登録 E メールアドレスに 3 月 3 日送信したメールニュースは、到達した 25,032 通中、現時点の開封済みは 6,677 通で開封率 26.7%であるとの報告を受けた。 ③ ライオン誌公式 SNS 登録はほぼ横ばい(LINE 登録前回 6,128 人 今回 6,144 人)の現状を確認した。
決定事項	① 次回委員会で更に検討する。 ② 引き続き送信を継続して効果を検証する。

次回開催 予定	第 9 回 : 4 月 7 日(月) 14:00~16:00 Zoom 第 10 回 : 5 月 12 日(月) 14:00~16:00 Zoom 第 11 回 : 6 月 13 日(金) 14:00~16:30 日本ライオンズ事務所
------------	--

議事録作成:馬場哲也(331複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第9回会議 議事録

日時	2025 年 4 月 7 日 (月) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337 複合地区委員 渕野二三世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) * 欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) * 欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC) * 欠席

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪両国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024 年 7 月～25 年 2 月ライオン誌関係会計報告 ライオン誌直接接出版費は変わりなし、デジタル版関連費が少し増加していることを確認した。 ② 2025-26 年度予算案 前回委員会での検討結果を反映した次年度予算案を確認した。印刷版発送の経費に関しては、来期より社団の賛助会費が値上げされるのに伴い送料は全て社団負担となり、発送は当面、現状通りに個人宛とクラブ宛のいずれかクラブが選択した方法で行うと

	の社団の方針について説明があった。
決定事項	②2025-26 年度予算案は次回委員会で改めて確認する。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025 年 4 月号(4 月 1 日公開)出来公開済みの 4 月号を確認。特に問題なし。 ② 2025 年 5～7 月号更新予定(案) 7、8 月号「取材リポート」で取り上げる奉仕活動の内容と、取材経費概算を確認した。また、「獅子吼」投稿 1 件の内容を確認して意見を交換し、採否を検討した。
決定事項	②7、8 月号「取材リポート」の取材対象を決定し、経費概算を承認した。「獅子吼」投稿は内容に即したタイトルに変更し、不明確な点を加筆した上で掲載することを決定した。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2025 年春号(4 月 25 日発行予定)台割 事前に送付された春号の記事 PDF で内容を確認した。 ② 2025 年夏号台割案 夏号台割を確認した。オーランド国際大会の記事を掲載するため、通常 7 月 25 日としている発行日の変更を検討した。 ③ ウェブマガジン連動企画 以前に行われていたクイズ、プレゼントなどが取り組みやすく実行が早い。読者プレゼントは地区の名産やオーランドで開催される国際大会の公式グッズ等の提案があった。
決定事項	②夏号の発行日を 8 月 5 日に決定した。 ③次回委員会で具体案を検討する。

議案 4	その他
内容	① ウェブマガジン普及策 星野委員長から所属クラブで実施したライオン誌ウェブマガジン普及例会の概要とその結果のアンケートの報告があった。 普及策について意見を交換し、地区を通じてライオン誌例会の開催を進める案や、委員の SNS の名前の後にライオン誌の URL を入れる、アンケートの実施、各委員が地区の会議などでライオン誌やウェブマガジンについて常に話題にして浸透を図る、といった案が出た。

	② ライオン誌日本語版メールニュース 4月号メールニュースの発送数は25,066件、4月3日時点の開封率は25.1%、6,249件との報告があった。 ③ ライオン誌公式版ウェビナー報告 星野委員長から3月5日に行われた国際本部によるライオン誌公式版ウェビナーの参加報告があり、プレゼンテーション資料が共有された。 ④ ライオン誌公式 SNS 登録はほぼ横ばい(LINE登録2月末6,144人、3月末6,198人、Instagram登録2月末590人、3月末589人など)の現状を確認した。
決定事項	①普及策の検討を次回委員会でも継続する。 ②メールニュースの開封数とLINE登録者数が近い値であり、しばらくは継続して様子を見ていく。

次回以降 開催予定	第10回：5月12日(月) 14:00～16:00／Zoom 第11回：6月13日(金) 14:00～16:30／日本ライオンズ事務所・Zoom 併用
--------------	---

議事録作成:佐々木孝之(336複合地区委員)

(報告第4号) 会員並びにクラブ活動状況報告 集計表

LCIF献金実施状況一覧 2024年度 6月

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1	1	釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	143	
		白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	200	
		標茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	2,470	
		釧路みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	4,014	
		釧路湿原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	340	
	2	根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1,919	
		羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	125	
		釧路めさまい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	650	
		中標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	208	
		釧路ゆうやけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	620	
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	10,689		
2	1	旭川	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	50	2,792	
		旭川大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	2,320	
		旭川平和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1,022	
		当麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	528	
		愛別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	506	
		東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	583	
		比布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	旭川中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	396	
		富良野	0	0	2	12	0	0	0	0	2	12	46	6,267	
		旭川東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	280	
2	上富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	625		
	旭川ナナカマド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	1,028		
	旭川クリスタル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	340		
	旭川バーチャル	0	0	0	0	0	0	1	172	1	172	1	172		
R合計		1	1,000	2	12	0	0	1	172	4	1,184	517	16,859		
3	1	帯広	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	874	
		本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	825	
		十勝池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		音更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1,587	
		浦幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	495	
		豊頃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	628	
		幕別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	578	
	2	帯広かしわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	8,844	
		帯広中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	485	
		帯広平原	0	0	0	0	1	83	0	0	1	83	3	621	
		鹿追	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		上士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	260	
	2	芽室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	470	
		十勝清水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		帯広鈴蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	396	
		帯広さくら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	134	
		R合計		0	0	0	0	1	83	0	0	1	83	247	16,197
4	1	留萌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	667	
		羽幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	1,410	
		留萌みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	3,242	
		遠別	0	0	0	0	0	0	1	359	1	359	1	359	
		増毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	559	
	2	名寄	0	0	0	0	1	145	0	0	1	145	4	1,917	
		士別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	1,342	
		美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	198	
	3	稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	1,773	
		枝幸オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		幌延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		歌登	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	230	
		猿払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	300	
		稚内北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	2,878	
		R合計		0	0	0	0	1	145	1	359	2	504	375	14,875
	5	1	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	5,500
			置戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遠軽			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	325	
北見白樺			0	0	49	1,621	0	0	0	0	49	1,621	98	4,071	
湧別			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	360	
紋別オホーツク			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	525	
白滝			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	530	
佐呂間			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	380	
2		東北海道WEB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		網走	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	3,965	
		美幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	1,538	
		津別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	2,185	
		北見中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	8,220	
R合計		0	0	49	1,621	0	0	0	0	49	1,621	433	29,328		
地区合計		1	1,000	51	1,633	2	228	2	531	56	3,392	1,778	87,948		

サバナン基本集計表 2024年度 6月

アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く		
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員									
1	1	釧路	1	237,509	1	28	100	25	27	0	0	27	7	20	9	7	20								
		白糠	0	0	1	0	100	7	7	0	0	7	0	7	0	0	7								
		標茶	2	70,000	0	0	53.3	34	34	0	1	33	4	29	0	4	29								
		釧路みなと	0	0	0	0	93.7	53	57	0	0	57	17	42	10	15	42								
		釧路湿原	0	0	0	0	82.3	17	17	0	0	17	1	17	0	0	17								
	2	根室	0	0	2	22	71.6	35	37	0	1	36	14	26	0	10	26								
		羅臼	0	0	1	4	100	15	15	0	0	15	6	9	0	6	9								
		釧路めさまい	2	174,998	1	6	79.7	65	64	0	1	63	21	36	1	27	36								
		中標津	1	56,980	1	24	100	15	16	1	0	17	3	17	0	0	17								
		釧路ゆうやけ	1	30,000	0	0	54.8	49	45	0	1	44	3	42	12	2	42								
		リジョン小計	7	569,487	7	84		315	319	1	4	316	76	245	32	71	245								
アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く		
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員									
2	1	旭川	1	144,385	0	0	100	27	28	0	2	26	6	23	0	3	23								
		旭川大雪	0	0	0	0	74.3	39	43	0	1	42	0	42	0	0	42								
		旭川平和	0	0	0	0	85.7	29	29	0	1	28	0	28	0	0	28								
		当麻	0	0	1	9	90.6	16	16	0	0	16	0	16	0	0	16								
		愛別	0	0	0	0	91.3	23	23	0	0	23	0	23	0	0	23								
		東川	0	0	0	0	60.7	28	28	0	2	26	1	26	0	0	26								
		比布	0	0	0	0	0	15	12	0	12	0	0	0	0	0	0								
	2	旭川中央	0	0	0	0	100	14	14	0	0	14	3	12	0	2	12								
		富良野	9	8,619	1	5	82.7	60	66	0	2	64	14	58	2	6	58								
		旭川東	0	0	0	0	0	14	11	0	11	0	0	0	0	0	0								
		上富良野	0	0	0	0	89	31	34	0	0	34	7	34	0	0	34								
		旭川ナナカマド	0	0	0	0	100	27	27	0	1	26	2	26	0	0	26								
		旭川クリスタル	0	0	0	0	88.2	14	17	0	0	17	2	17	0	0	17								
		旭川バーチャル	1	26,000	0	0	85.7	20	21	1	2	20	1	20	0	0	20								
				リジョン小計	11	179,004	2	14		357	369	1	34	336	36	325	2	11	325						
		アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く
		R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員							
		3	1	帯広	0	0	0	0	66.6	25	23	0	1	22	5	17	0	5	17						
				本別	0	0	1	1	70.8	26	25	0	0	25	4	24	0	1	24						
十勝池田	0			0	0	0	60	16	16	0	1	15	0	15	0	0	15								
音更	0			0	2	10.1	67.8	44	42	0	1	41	3	41	0	0	41								
浦幌	0			0	0	0	0	16	13	0	0	13	1	13	0	0	13								
豊頃	4			126,000	2	60	81.5	19	19	0	1	18	0	18	0	0	18								
幕別	0			0	1	6	100	16	17	0	0	17	1	17	0	0	17								
帯広かしわ	0			0	0	0	100	24	24	0	0	24	2	24	0	0	24								
2	帯広中央		1	0	2	21	85.7	26	27	0	0	27	5	22	7	5	22								
	帯広平原		3	146,429	2	31	74	28	26	0	0	26	3	25	0	1	25								
	鹿追		3	0	0	0	69.4	17	18	0	1	17	0	17	0	0	17								
	上士幌		0	0	0	0	67.5	19	19	0	1	18	0	18	0	0	18								
	芽室		0	0	0	0	80	24	24	1	0	25	5	20	0	5	20								
	十勝清水		0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
	帯広鈴蘭		3	23,769	3	37	100	17	16	0	0	16	4	12	0	4	12								
	帯広さくら		10	325,000	3	68	100	11	11	0	0	11	11	8	0	3	8								
				リジョン小計	24	621,198	16	234.1		354	320	1	6	315	44	291	7	24	291						
	アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く	
	R		Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員							
4	1	留萌	0	0	1	15	81.2	25	24	0	0	24	9	18	0	6	18								
		羽幌	1	100,000	2	51	75.8	43	41	0	0	41	13	29	0	12	29								
		留萌みなと	3	312,100	3	20	77	58	56	0	0	56	22	37	0	19	37								
		遠別	1	50,000	0	0	87	18	16	0	1	15	1	15	0	0	15								
		増毛	1	61,050	0	0	92.3	27	26	0	0	26	3	25	0	1	25								
	2	名寄	1	21,000	0	0	90.2	45	46	0	1	45	3	43	0	2	43								
		士別	1	30,000	0	0	70.8	43	39	1	1	39	2	38	0	1	38								
		美深	0	0	0	0	73	14	14	0	1	13	0	13	0	0	13								
	3	稚内	1	21,840	1	8	54.7	27	27	0	0	27	10	21	0	6	21								
		枝幸オホーツク	0	0	1	2	65.6	16	16	0	0	16	5	13	0	3	13								
		幌延	0	0	1	1	69.4	18	18	0	0	18	4	18	0	0	18								
		歌登	0	0	0	0	55.5	17	15	0	0	15	7	9	0	6	9								
		猿払	0	0	0	0	0	22	22	0	0	22	1	22	0	0	22								
		稚内北斗	0	0	0	0	56	74	73	3	2	74	22	53	13	21	53								
				リジョン小計	9	595,990	9	97		447	433	4	6	431	102	354	13	77	354						
アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く		
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員									
5	1	北見	0	0	0	0	100	35	37	0	1	36	3	36	0	0	36								
		置戸	0	0	0	0	50	12	12	0	1	11	1	11	0	0	11								
		遠軽	0	0	0	0	75.9	24	27	0	2	25	1	25	0	0	25								
		北見白樺	6	767,515	2	75.5	62.8	77	78	0	2	76	29	56	9	20	56								
		湧別	1	0	1	2	76.4	18	17	0	0	17	0	17	0	0	17								
		紋別オホーツク	1	10,000	0	0	100	23	23	0	2	21	0	21	0	0	21								
		白滝	0	0	0	0	100	20	20	0	0	20	9	10	1	10	10								
		佐呂間	0	0	0	0	61.1	18	18	0	0	18	3	15	0	3	15								
		東北海道WEB	0	0	0	0	0	20	21	0	4	17	5	17	0	0	17								
	2	網走	1	10,000	0	0	72	42	43	0	1	42	2	42	0	0	42								
		美幌	2	181,664	2	8	77.7	38	36	0	2	34	4	34	0	0	34								
		津別	2	61,511	1	18	100	17	17	0	2	15	0	15	0	0	15								
		北見中央	3	400,000	0	0	100	36	41	0	0	41	9	34	0	7	34								
		網走桂	1	10,000	1	5	70	28	30	0	0	30	2	30	0	0	30								
		端野	0	0	0	0	100	15	15	0	0	15	1	15	0	0	15								
		リジョン小計	17	1,440,690	7	108.5		423	435	0	17	418	69	378	10	40	378								
アクティビティ								労力奉仕				例会	会員異動						会員内訳				子家族 会員除く		
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末 +特典会員 正会員	女性	正会員	正会員のうち 支部人数	特典会員									
		合計	68	3,406,369	41	538		1,896	1,876	7	67	1,816	327	1,593	64	223	1,593								

(報告第5号)

引 継 書

2025年 7月10日

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 大 島 尚 久

次の通り引継ぎいたします。

- ① 2024～2025年度地区一般会計収支決算書は、別紙の通りです。
- ② 2024～2025年度地区特別会計収支決算書は、別紙の通りです。
- ③ 第71回地区年次大会収支決算書は、別紙の通りです。
- ④ 引継備品及び関係書類一覧表
- ⑤ 一般事業関連

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 伊 東 隆 志



2025年 7月10日

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 伊 東 隆 志

上記の通り引き受け致しました。

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 大 島 尚 久



会 計 引 継 書

2025年 7月10日

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
キャビネット会計 L. 大 津 幸 三

次の通り引継ぎ致します。

① 一般会計繰越金	10,048,628
② 第71回地区年次大会剰余金	925
③ 地区緊急援助資金繰越金	4,861,556
④ 献眼運動推進費繰越金	1,795,755
合 計	16,706,864

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
キャビネット会計 L. 山 田 兼 士



2025年 7月10日

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
キャビネット会計 L. 山 田 兼 士

上記の通り引き受け致しました。

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
キャビネット会計 L. 大 津 幸 三



引継備品及び関係書類一覧表

2024～2025 年度 北見キャビネット ⇒ 釧路キャビネット

1. キャビネット備品

① 印鑑・ゴム印	2 箱
② 会議用卓上ネームプレート（大）	4 9 箱
③ 会議用卓上ネームプレート（中）	1 6 5 箱
④ 会議用卓上ネームプレート（小）	4 4 箱
⑤ 献眼推進運動旗	2 つ
⑥ 献眼推進運動ポール	8 本
⑦ 献眼推進運動注水台	8 個
⑧ 投票箱	大 3 箱・小 2 箱
⑨ ライオン旗	1 枚
⑩ 国旗	1 セット
⑪ アラートボックス	1 箱
⑫ 平和ポスターコンテスト作品ホルダー 縦 30×横 110	計 1 4 0 枚
⑬ カッティングマット	1 枚
⑭ ハイビジョン液晶ディスプレイ	1 式
⑮ ネームランド	1 式

2. 関係書類等

① 各種事務関係書類（USB）	1 式
② エコー誌・クラブ会報誌	1 式
③ 献血パンフレット	1 式
④ キャビネット会議要録・議事録・大会記念誌	1 式
⑤ 献血運動に関する資料	1 式
⑥ 薬物乱用防止に関する資料	1 式
⑦ L C I F に関する資料	1 式
⑧ アイバンクDVD	1 式

地区記録受領書

2025年 7月10日

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 大島 尚久

次の通り引継ぎいたします。

- ① 地区会計、特別会計、年次大会会計決算書
- ② その他 地区会計記録及び書類

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 伊東 隆志



2025年 7月10日

2024～2025年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 伊東 隆志

上記の通り引き受け致しました。

2025～2026年度 331-B地区キャビネット
地区ガバナー L. 大島 尚久



審 議 事 項

(議案第1号)

331-B 地区

前年度会計決算報告並びに承認を求める件

別紙の通り 331-B 地区 一般会計・特別会計並びに年次大会会計
(2024 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日) の決算報告を致します。

2025 年 7 月 10 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

前地区ガバナー L. 伊東 隆志 

前キャビネット幹事 L. 二宮 雄一 

前キャビネット会計 L. 山田 兼士 

331-B地区一般会計貸借対照表

2025年6月30日 現在

(単位：円)

借 方		貸 方		
科 目	金 額	科 目	金 額	備考
現 金	0	一 般 残 高	10,048,628	
普 通 預 金	10,532,583	未 払 金	483,955	
合 計	10,532,583	合 計	10,532,583	

331- B 地区 前年度一般会計収支決算報告書

【収入の部】

2024年7月1日～2025年6月30日

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	執 行 額 (B)	増 減 (B-A)	備 考
前 年 度 繰 越 金	9,764,752	9,764,752	0	年次大会389,426円含む
運 営 準 備 前 受 金	5,000,000	5,000,000	0	
地 区 費	21,885,600	22,200,200	314,600	
地 区 大 会 費	3,979,200	4,036,400	57,200	
3 役 ス ク ー ル 事 務 局 研 修	462,000	2,041,000	1,579,000	
オセアルフォーラム負 担 金	1,658,000	1,658,000	0	
そ の 他	0	7,584	7,584	受取利息
合 計	42,749,552	44,707,936	1,958,384	

331- B 地区 前年度一般会計決算報告書

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	執 行 額 (B)	増 減 (B-A)	備 考
会 議 費 A	2,000,000	1,923,205	△ 76,795	CAB会議他諸会議費
会 議 費 B	968,400	930,000	△ 38,400	ゾーン会議
旅 費 A	1,700,000	1,908,460	208,460	ガバナー公式訪問他
旅 費 B	900,000	326,400	△ 573,600	ZC会議旅費及び行動費
通 信 費 A	800,000	999,327	199,327	事務局電話及び郵送料
通 信 費 B	115,200	108,800	△ 6,400	ゾーン電話及び郵便料
印 刷 費 A	1,400,000	1,951,950	551,950	CAB事務局
印 刷 費 B	115,200	108,800	△ 6,400	ゾーン諸印刷費
人 件 費	6,000,000	6,876,470	876,470	事務局員給与
事 務 所 費	1,200,000	1,200,000	0	事務所賃貸料及び諸関係費
光 熱 費	400,000	400,000	0	燃料・電気・水道代他
消 耗 品 費	250,000	291,050	41,050	一般事務用品・用紙代他
備 品 費	500,000	440,090	△ 59,910	事務局備品等
贈 呈 費	700,000	100,000	△ 600,000	記念品・贈呈品等
慶 弔 費	500,000	255,000	△ 245,000	祝儀・香典・弔電等
交 際 費	100,000	430,000	330,000	ガバナー渉外接待交際費
新 入 会 員 促 進 費	200,000	0	△ 200,000	
引 継 費	280,000	80,464	△ 199,536	CAB事務局引継経費
雑 費 A	450,000	461,493	11,493	CAB事務局運営諸費・事務費
雑 費 B	464,800	442,400	△ 22,400	ゾーン運営諸費・関連諸費
広 報 費	1,600,000	1,555,235	△ 44,765	エロ誌発行費・関連諸費
研 修 費	462,000	0	△ 462,000	
ア ワ ー ド 費	200,000	0	△ 200,000	表彰状・バッジ等
青 少 年 育 成 費	1,200,000	950,000	△ 250,000	YCE関係費用
地 区 大 会 費	4,368,626	4,036,400	△ 332,226	別会計へ振替
各 種 委 員 会 事 業 費	200,000	91,766	△ 108,234	
次 期 CAB 前 渡 金	5,000,000	5,000,000	0	
YCE キ ャ ン プ 費	500,000	0	△ 500,000	
GAT コーディネーター費	600,000	117,390	△ 482,610	
GMA 事 業 費	400,000	0	△ 400,000	
予 備 費	200,000	0	△ 200,000	
オセアルフォーラム負担金	1,658,000	1,658,000	0	
3 役 スクールの事務局研修		2,016,608	2,016,608	
剰 余 金	7,317,326	10,048,628	2,731,302	
合 計	42,749,552	44,707,936	1,958,384	

331-B地区特別会計(A:緊急援助資金)

収支報告書			
2024年7月1日～2025年6月30日			(単位:円)
科 目	支 出	収 入	摘 要
(地区運用基金)			
前年度より繰越金		1,545,556	
会 員 収 入		3,316,000	
緊急援助資金			
残 高	4,861,556		
合 計	4,861,556	4,861,556	
貸借対照表			
2025年6月30日 現在			(単位:円)
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		地区緊急援助資金	4,861,556
普 通 預 金	4,861,556		
合 計	4,861,556	合 計	4,861,556

331-B地区特別会計(B:献眼運動推進費)

収支報告書			
2024年7月1日～2025年6月30日			(単位:円)
科 目	支 出	収 入	摘 要
前年度より繰越金		1,666,755	
会 員 収 入		829,000	
献眼運動推進事業費	700,000		
残 高	1,795,755		
合 計	2,495,755	2,495,755	
貸借対照表			
2025年6月30日 現在			(単位:円)
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		献眼運動推進事業費	1,795,755
普 通 預 金	1,795,755		
合 計	1,795,755	合 計	1,795,755

331-B地区 地区大会会計 収支報告書

2024年7月1日～2025年6月30日

(単位:円)

収入内訳

科 目	予算	決算		備考
地区大会費	3,984,000	4,026,200	42200	上期2,009,200円 下期2,017,000円
式典登録料	5,000,000	4,170,000	-830000	5,000円× 834名
晩餐会登録料	13,500,000	9,675,000	-3825000	15,000円× 645名
出店料	20,000	9,000	-11000	物産協会、京琳堂×2
雑収入	200,000	1,400,000	1200000	役員協賛金
雑収入	300,000	80,000	-220000	来賓招待祝儀
雑収入		696,000	696000	記念バッチ
雑収入	0	622	622	預金利息 622
その他	0	36,000	36000	(誤入金)
計	23,004,000	20,092,822		
記念ゴルフ大会	500,000	585,000	85000	5,000円×117名
前夜祭	600,000	948,000	348000	6,000円×158名
計	24,104,000	21,625,822	-2478178	

支出内訳

	予算	決算	残高	備考
総務部会	3,984,000	3,979,639	-4361	会議費 広告代 記録 他
式典部会	3,720,000	3,617,210	-102790	会場使用料 企画演出料 他
記念誌部会	1,600,000	1,148,400	-451600	記念誌印刷代
晩餐会部会	13,500,000	11,409,053	-2090947	会場設営費 料理全般 他
予備費	200,000	0	-200000	
計	23,004,000	20,154,302		
記念ゴルフ委員会	500,000	576,000	76000	
前夜祭	600,000	894,595	294595	
計	24,104,000	21,624,897	-2479103	

収入 21,625,822－支出 21,624,897 ＝差額 925

331-B地区 地区大会会計 貸借対照表

2025年6月30日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
現 金	0	一 般 残 高	925
普 通 預 金	925	借 入 金	0
仮 払 金	0	仮 受 金	0
合 計	925	合 計	925

(議案第2号)

331-B 地区会計収支監査報告書

会計報告について監査の結果を下記の通りに報告致します。

記

現金出納・預金出納・現金預金残高並びに諸帳簿・証拠書類等の
記帳は正確且つ適正に処理されている事を認めます。

2025 年 7 月 10 日

地区会計監査委員 L. 松本 恵治 

331-B 地区

第 7 1 回地区年次大会会計収支監査報告

会計報告について監査の結果を下記の通りに報告致します。

記

現金出納・預金出納・現金預金残高並びに諸帳簿・証拠書類等の
記帳は正確且つ適正に処理されている事を認めます。

2025 年 7 月 10 日

大会会計監査委員 L. 松本 恵治 

331-B 地区キャビネット会則

第 1 条 名称

本組織を「ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区キャビネット」（以下本規則において「地区キャビネット」という）と称する。

第 2 条 目的

地区内のライオンズクラブの融和と協調を図るとともに、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本活動方針に従い、地区内の各ライオンズクラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

第 3 条 構成及び組織

1. 地区は、その管轄地区内において結成され国際協会の承認を受けたすべてのライオンズクラブで構成する。
2. 地区ガバナーは、地区ライオンズクラブの地理的位置により、10～16 のクラブからなるリジョンに、また、各リジョンは 4～8 のクラブからなるゾーンに分ける。
すべてのリジョン及びゾーンは、地区ガバナー独自の自由裁量により変更することが出来る。

第 4 条 キャビネット構成員・地区役員

1. 地区キャビネット構成員は、次のとおりとする。
 - (1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、ゾーン・チェアパーソン
 - (2) 会則・コンプライアンス委員長、国際大会・国際協調・LCIF 委員長、献血・献眼薬物防止委員長、レオ・青少年委員長、YCE 委員長、M・IT 委員長、オセアルフォーラム特別委員長、平和ポスターコンテスト委員長、アラート委員長、地区大会委員長
 - (3) 上記 (1) 及び (2) の他に、地区ガバナーが必要と認めて任命する地区委員長及び各コーディネーター。
 - (4) ゾーン・チェアパーソンが空席となった場合や、任務の遂行が困難な場合に、地区ガバナーはその職責を代行する職務代行者を 1 名置くことが出来る。
2. 前地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。
3. 前記キャビネット構成員のうち、委員長は他の委員長を兼任することを妨げない。
4. 地区委員及び第 4 条第 1 項に規定される以外の者は必要に応じ地区ガバナーによって任命される。
5. キャビネット構成員及び地区委員の任期は、地区ガバナーの任期と同じとする。
ただし、必要とあれば地区ガバナーの任命により再任もあり得る。

第5条 キャビネット構成員及び地区委員の任務

1. 前地区ガバナーは、地区の調和を図る。
2. 第一及び第二副地区ガバナーは、地区ガバナーの監督と指示のもとに地区ガバナーの首席補佐役を務める。
3. キャビネット幹事は、地区ガバナーの指揮のもとにキャビネットの運営事務を司る。
4. キャビネット会計は、地区ガバナーの指揮のもとにキャビネットの出納を司る。
5. 運営委員長は運営委員を統括し、キャビネット幹事・キャビネット会計を補佐する。
6. ゾーン・チェアパーソンは、地区ガバナーの指揮のもとに責任者としてゾーンの運営に当たる。
7. 地区 GMT コーディネーターは、新会員獲得を目的とするグローバル会員増強及び退会防止をコーディネートする。
8. 地区 GET コーディネーターは、地区における新クラブ結成の取り組みを支援し、エクステンションへの熱意を共有するチームの立ち上げをコーディネートする。
9. 地区 GLT コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとにリーダー発掘および指導力育成のあり方等をコーディネートする。
10. 地区 GST コーディネーターは、地域のニーズにあった奉仕プログラムを推進し、LCIF との連携によるシュアリング交付金事業の活用をコーディネートする。
11. 地区 LCIF コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとに LCIF の使命と重要性を宣伝、啓発し LCIF 献金の理解と拡大を図る。
12. 地区 WYPT コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとに女性及び学生、若い世代の会員の増強及びスペシャリティークラブ・支部活動の充実をコーディネートする。
13. 地区会則・コンプライアンス委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに会員に対して諸規則の周知を図り、諸活動においてコンプライアンスの意識高揚に努める。
14. 地区国際大会・国際協調・LCIF 委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに国際大会の意義を理解し、複合地区との連携を密にして参加を奨励するとともに国際間の相互理解と協力の推進に当たる。
15. 地区献血・献眼・薬物防止委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに薬物乱用防止教室の開催に向け、資格認定講師育成のオンライン養成講座の実施の検討、輸血用血液不足の現状を広く告知 PR し、地区内メンバーはもちろん、各地域に献血活動を PR し、その重要性に鑑み積極的な参加の呼び掛けを図る
16. 地区レオ・青少年委員長は、地区ガバナーの指揮のもとにレオクラブの指導及び諸活動を推進するとともに、年次大会の各クラブの記念事業の調整を行う。
17. 地区 Y C E 委員長は、地区ガバナーの指導のもとに国際間の相互理解を深め、複合地区 Y C E 委員会との連携を密にし、青少年の交換事業を推進する。
18. 地区 M・I T 委員長は、地区ガバナーの指揮のもとにリジョン内の慶弔、各クラブの事業等に関わり、ゾーン・チェアパーソンとの連携のもとに取材 PR を積極的に行う。また、地区内クラブ間の情報の共有化及び、地域に対する周知宣伝活動を行い、又国際的ライオンズクラブの IT 化に対応すべく、クラブの IT スキル向上を複合地区との連携を図り推進する。
19. 地区オセアルフォーラム特別委員長は、地区ガバナーの指導のもとにオセアルフォーラム札幌大会の意義を理解し、参加を奨励するとともに国際間の相互理解と協力の推進に当たる。
20. 地区平和ポスターコンテスト委員長は、地区ガバナーの指導のもとに国際平和ポスターコンテストへ応募する子どもたちに、平和への希求、地域広報活動及び国際理解の機会を与える。
21. 地区アラート委員長は、地区内外の大規模自然災害発生時の支援体制の検討を行う。

22. 地区長期計画リサーチ委員長は、ガバナーの指揮のもとに地区内の複数年にわたる事項を検討し、地区ガバナーに報告する。
23. 地区大会委員長は、地区キャビネットの指示を受け、大会の設営その他に当たる。
24. 地区会計監査委員は、年度内の会計を監査し地区ガバナーに報告する。
25. 職務代行者は地区ガバナーが依頼した任務を遂行する。

第6条 地区ガバナー諮問委員会

1. 地区ガバナー諮問委員会（以下「諮問委員会」という）は、ゾーン・チェアパーソンを議長とし、ゾーン内のクラブ会長、第一副会長及び幹事で構成される地区ガバナーの諮問機関である。
2. 上記1以外にゾーン・チェアパーソンが必要と認めた場合はオブザーバーとして参加できる。
3. 諮問委員会議長は年4回定期会議を開催するものとする。
4. 諮問委員会の各構成員は、クラブ会則及び付則に従って、ゾーン内の各クラブが望ましい発展を遂げるようゾーン・チェアパーソンを補佐するものとする。

第7条 地区GAT（グローバルアクションチーム）

1. 地区ガバナーのもと、GMT、GET、GLT、GST、WYPT 各正副コーディネーター、ゾーン・チェアパーソンで構成される。
2. 人道奉仕・会員増強・指導力育成、スペシャルティクラブ・クラブ支部支援、女性・家族学生、若い世代の会員サポートを進めるための取り組みを行う。

第8条 地区会計

1. 地区内のライオンズクラブは、地区の運営に必要な費用を負担する。
2. 地区ガバナーは、会員の中から委嘱した2名以上の監査委員によって、年2回以上経常会計のほか、地区大会その他各種事業などの特別会計のすべてにわたって会計監査を受けるものとする。
3. 地区の会計年度は、2025年7月1日から2026年6月30日までとする。
4. その他、地区会計については複合地区会計会則を準拠する。

第9条 事務局の設置

1. 地区キャビネット事務局を【釧路市中島町6-25】に置く。
2. 地区キャビネットの事務局設置は、2025年2月1日から2026年7月末までとする。
3. 事務局には、事務局長及び必要な職員を置き、地区キャビネット事務局を掌握させる。

第10条 その他

1. この会則に定めるものの他、必要な事項は別に定める。
2. この会則は、2025年7月1日から施行し、2026年6月末をもってその効力を失う。
ただし、次期キャビネットの引継が前段の終期まで整わない場合は事務引継までとする。

(議案第 4 号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2025-2026 年度

地区キャビネット旅費支給規程

- 第 1 条 キャビネット構成員、地区委員及び事務職員の旅費の支給は、この規定による。
- 第 2 条 旅費の支給を受ける者は、ライオンズクラブの用務のため、地区ガバナーの要請により出張した者、また地区ガバナーより会議あるいは公式行事の出席要請を受け、その会議あるいは行事に出席した者とする。
- 第 3 条 出張前に旅費計画書を地区ガバナーに提出し、順路によってキャビネット事務局に於いて諸手配をなし、帰局後別表の旅費支給計算書により精算支給する。但し、前受金として仮払いをすることがある。
- 第 4 条 地区ガバナーの旅費、その他の経費は国際協会の規定による。
- 第 5 条 キャビネット会議、その他の行事及び式典に出席する者は原則として次による。特に必要と認める場合は若干名の増員をすることができる。
- (1) キャビネット会議
 キャビネット構成員、地区委員、その他地区ガバナーが出席要請した者
 - (2) クラブ訪問
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (3) チャーターナイト
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長、またはその代理人
 - (4) 結成式及び記念式典
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長、地区 M I T・Y C E 委員長、またはその代理人
 - (5) 複合地区年次大会
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (6) ガバナー協議会
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人、地区名誉顧問会議長
 - (7) 地区内に於ける公式行事
 地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人

第 6 条 特別な事情で本規定によりがたい場合は、地区ガバナーの承認を得て、別に支給額を定めることができる。

第 7 条 他の機関より旅費その他の支給を受ける場合には、地区の旅費その他の支給をしないものとする。

第 8 条 この規定は、キャビネットの運営発足の日より適用する。但し、キャビネット運営準備期間中は、地区ガバナー・エレクトの指示による。

区 分	交通費	食事費			宿泊費
ガバナー その他 代理 構成員	国際協会の規定による	朝	昼	夕	同 左
		同 左			
構成員 その他 地区 委員	道内 1km につき <u>20 円</u> (片道 10km 以上に限る)	道内一律 宿泊費（食費込み） <u>8,000円</u> を 上限とする			
事務 職員	2025－2026 釧路キャビネット内規による。				

(注)

1. 食事費は、必要により支給する。(自宅食事の場合は支給しない)
2. 第 4 条で規定されている地区ガバナーの旅費は、国際本部から支給される金額が僅少なので、実際には他の構成員と同様にキャビネットより支給する。

(議案第 5 号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2025～2026 年度

リジョン・ゾーン経費算定基準

1. 会議費

ゾーン会議（諮問委員会）は年 4 回を予定し、参加者はゾーン・チェアパーソン、クラブ会長、クラブ幹事、クラブ第一副会長の出席とし、食事費を 1 回 1 名 800 円、会場費を 1 回 5,500 円計上。

2. 交通費・宿泊費

ゾーン・チェアパーソン、地区 M I T ・ Y C E 委員のキャビネット会議出席交通費および宿泊費 3 回分を旅費支給規定により計算し、事前打合せ会議を開催する場合は、ゾーン・チェアパーソンは、旅費支給規定のうち交通費を計算し計上。
尚、交通費の計算基礎は、1km20 円として計上。

3. 行動費

ゾーン・チェアパーソン、地区 M I T ・ Y C E 委員の行動費は、地区毎に若干の差異があると思われるが、平均値にて次の通りクラブ数に応じて算出。

(1) ゾーン・チェアパーソンの行動費年額

1 クラブ 3,200 円に、クラブ数を乗じて計上。

(2) 地区 M I T ・ Y C E 委員の行動費年額

1 クラブ 1,600 円に、クラブ数を乗じて計上。

4. 通信費

ゾーン年額 1,600 円にクラブ数を乗じて計上。

5. 印刷費

ゾーン年額 1,600 円にクラブ数を乗じて計上。

6. 事務費

ゾーンに年額 5,600 円を計上。

7. 雑費

ゾーン年額 5,600 円にクラブ数を乗じて計上。

8. ゾーン・チェアパーソン、経費内訳表

別紙の通り

2025-2026年度 ゾーンチェア・パーソン/地区MIT・YCE委員 経 費 内 訳 表

(単位：円)

R		Z	クラブ数	ガバナー諮問委員会				*会議費	*行動費	*通信費	*印刷費	*事務費	*雑費	*小計⑤	C A B会議 3回分の旅費⑥ (当日支給)	合計
			クラブ数	会議数 4回	参加人数① Z C + (クラブ数×3名)	食事② 4回×①×800	会場③ 4回×5,500	(②)+③	MIT・YCE(LC×1,600) ZC (LC×3,200)	クラブ数 ×1,600	クラブ数 ×1,600	5,600	クラブ数 ×5,600			⑤ + ⑥
1		中標津(MIT・YCE委員)	10						16,000					16,000	35,040	51,040
	1	釧路湿原	5	4	16	51,200	22,000	73,200	16,000	8,000	8,000	5,600	28,000	138,800		138,800
	2	中標津	5	4	16	51,200	22,000	73,200	16,000	8,000	8,000	5,600	28,000	138,800	38,720	177,520
2		旭川大雪(MIT・YCE委員)	12						19,200					19,200	55,800	75,000
	1	当麻	6	4	19	60,800	22,000	82,800	19,200	9,600	9,600	5,600	33,600	160,400	62,560	222,960
	2	旭川中央	6	4	19	60,800	22,000	82,800	19,200	9,600	9,600	5,600	33,600	160,400	66,400	226,800
3		帯広中央(MIT・YCE委員)	15						24,000					24,000	38,760	62,760
	1	音更	8	4	25	80,000	22,000	102,000	25,600	12,800	12,800	5,600	44,800	203,600	42,400	246,000
	2	帯広中央	7	4	22	70,400	22,000	92,400	22,400	11,200	11,200	5,600	39,200	182,000	43,680	225,680
4		留萌みなと(MIT・YCE委員)	14						22,400					22,400	65,040	87,440
	1	羽幌	5	4	16	51,200	22,000	73,200	16,000	8,000	8,000	5,600	28,000	138,800	81,120	219,920
	2	士別	3	4	10	32,000	22,000	54,000	9,600	4,800	4,800	5,600	16,800	95,600	67,200	162,800
5		稚内北斗	6	4	19	60,800	22,000	82,800	19,200	9,600	9,600	5,600	33,600	160,400	97,440	257,840
	佐呂間(MIT・YCE委員)	15						24,000	24,000					24,000	45,360	69,360
	1	佐呂間	9	4	28	89,600	22,000	111,600	28,800	14,400	14,400	5,600	50,400	225,200	52,480	277,680
	2	北見中央	6	4	19	60,800	22,000	82,800	19,200	9,600	9,600	5,600	33,600	160,400	46,080	206,480
	クラブ数合計		66	合	331-B地区一般会計支出科目 計				910,800	316,800	105,600	105,600	61,600	369,600	1,870,000	838,080
			クラブ	331-B地区一般会計支出科目 旅費B												

ガバナー諮問委員会 (年4回)

- ・ゾーン・チェアパーソン
- ・地区MIT・YCE/ゾーン委員

〔・LC (会長)

・LC (幹事)

〕・LC (第一副会長)

ゾーン・チェアパーソン

旅費の算定表

	釧路(往復) (km)	L×@20×4回	@8,000	計		釧路(往復) (km)	L×@20×4回	@8,000	計
中標津	184 (92×2)	14,720	24,000	38,720	土別	540 (270×2)	43,200	24,000	67,200
当麻	482 (241×2)	38,560	24,000	62,560	稚内北斗	918 (459×2)	73,440	24,000	97,440
旭川	530 (265×2)	42,400	24,000	66,400	佐呂間	356 (178×2)	28,480	24,000	52,480
音更	230 (115×2)	18,400	24,000	42,400	北見	276 (138×2)	22,080	24,000	46,080
帯広中央	246 (123×2)	19,680	24,000	43,680					
羽幌	714 (357×2)	57,120	24,000	81,120					

地区MIT・YCE委員

旅費の算定表

	釧路(往復) (km)	交通費3回		計
		L×@20×3回	@8,000	
中標津	184 (92×2)	11,040	24,000	35,040
旭川	530 (265×2)	31,800	24,000	55,800
帯広中央	246 (123×2)	14,760	24,000	38,760
留萌	684 (342×2)	41,040	24,000	65,040
佐呂間	356 (178×2)	21,360	24,000	45,360
合 計				240,000

(議案第 6 号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2025～2026 年度

地区キャビネット慶弔規程

地区ガバナーの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）	10,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合（弔電）	10,000 円 (香典)
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

区 分	地区内会員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）	10,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合（弔電）	———
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

- 1) 上記以外の事項または特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。
- 2) キャビネット事務局員は上記キャビネット構成員の項を準用する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規程は、第 1 回キャビネット会議の決議に従い 2025 年 7 月 1 日に遡り適用する。

ゾーン・チェアパーソンの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員及び地区委員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合（弔電）	5,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 (香典)

区 分	所属ゾーン内会員に対し	金 額
死 亡	3. 本人の場合（弔電）	5,000 円 (香典)
	4. 配偶者の場合（弔電）	5,000 円 (香典)

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、ゾーン・チェアパーソンの裁量により決定する。
- 2) ゾーン・チェアパーソンの所属ゾーン内会員に対しての慶弔費は、キャビネット慶弔費より支出のこととする。

なお、立替えた慶弔費は、領収書をもって経費振込口座へ振り込み送金する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規程は、第1回キャビネット会議の決議に従い 2025 年 7 月 1 日に遡り適用する。

会員死亡の弔意の扱いについて

2025 年7月1日から2026年6月30日までの間、B地区内の会員が亡くなった際には、釧路キャビネット・地区ガバナーから弔意を捧げさせていただきます。

よって、会員に不幸があった時には、まず当該クラブから次頁の『会員死亡報告書』にてご一報ください。

しかし、地区内は非常に広大でありかつ諸般の事情により葬儀に参列することが間に合わない場合が予想されます。その場合、キャビネット事務局から至急、当該ゾーン・チェアパーソンへ連絡を致しますので、地区ガバナーに代わって当該ゾーン・チェアパーソンに弔意(弔辞)を表して頂くとともに、ご焼香をお願いすることになります。

なお、ゾーン・チェアパーソン不在の時は、クラブ会長をお願いする場合がありますのでご配慮をお願い致します。弔辞はゾーン・チェアパーソン宛に送付させていただきます。

土・日・祝日、時間外の対応について

事務局員不在のため携帯電話にて対応させていただきます。

先ず、お電話を頂いたのち『会員死亡報告書』をFAXにて送信願います。

携帯電話番号 090-1303-9135 : 釧路キャビネット 幹事 L.木村 宏幸

*M・IT委員会からのお願い(エコー誌への投稿)

「会員死亡報告書」の提出が終わりましたら後日「物故者の氏名、顔写真、クラブ名、死亡年月日、享年、クラブ入会年月日、クラブ略歴、300字程度の所属クラブからの追悼文」をつけてキャビネット事務局まで提出ください。

物故会員の写真は地区大会でも使用しますので、できるだけ鮮明な写真をお送り下さい。

釧路キャビネット事務局の連絡先

TEL (0154) 68-5647 / FAX (0154) 68-5648

E-mail : kushirocab331b@marimo.or.jp

年 月 日

ゾーン・チェアパーソン 宛
キャビネット事務局 宛

所 属 第 R・第 Z

クラブ名 ライオンズクラブ

(先ず、Z Cとキャビネット事務局にメールにて連絡のこと【FAXでも可】)

*写真添付は必要ありません。

会 員 死 亡 報 告 書

ふりがな				勤務先				
会員氏名				役 職				
生年月日	年 月 日 生			年 齢	享年 歳			
死亡年月日	年 月 日 没			故人との 関係				
喪主氏名								
葬 儀 日 程	日 時	通 夜	月 日 ()		葬儀告別式	月 日 ()		
			午後 時 分			午前 時 分		
	会 場	郵便番号				T E L	()	
		住 所						
		会 場 名						
	形 式		仏 式 そ の 他					
ラ イ オ ン 略 歴								

釧路キャビネット事務局

E-mail : kushirocab331b@marimo.or.jp

F A X (0 1 5 4) 6 8 - 5 6 4 8

(議案第7号)

3 3 1 - B地区一般会計収支予算書 (案)

2 0 2 5 年 7 月 1 日 ~ 2 0 2 6 年 6 月 3 0 日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	北見CAB予算	備 考	釧路CAB予算	備 考
前年度繰越金	9,764,752	一般会計 9,375,326 大会会計 389,426	10,049,553	一般会計10,048,628 大会会計 925
運営準備前受け金	5,000,000	前キャビネットより	5,000,000	前キャビネットより
地区費	21,885,600	1,100×12ヵ月 ×1,658名	21,027,600	1,100×12ヵ月 ×1,593名
地区大会費	3,979,200	200×12ヵ月 ×1,658名	3,823,200	200×12ヵ月 ×1,593名
研修費	462,000	三役スクール 事務局員研修 3,000×154名	444,000	三役スクール 事務局員研修 3,000×148名
地区広報費	0		0	
青少年育成費	0		0	
オセアル フォーラム負担金	1,658,000		1,593,000	1,000×1,593名
その他	0		0	
合計	42,749,552		41,937,353	

※ 3 3 1 - B地区会員数 1,593名として試算計上

【支出の部】

(単位：円)

科 目	北見CAB予算額	本年度予算額	増 減	適 用
会 議 費 A	2,000,000	2,000,000	0	CAB会議費他諸会議費
会 議 費 B	968,400	910,800	△ 57,600	ゾーン会議費
旅 費 A	1,700,000	1,700,000	0	公式訪問他諸会議出席旅費
旅 費 B	900,000	1,150,000	250,000	ZC出席旅費及び行動費
通 信 費 A	800,000	800,000	0	CAB事務局電話及び郵便料
通 信 費 B	115,200	105,600	△ 9,600	ゾーン電話及び郵便料
印 刷 費 A	1,400,000	1,500,000	100,000	CAB会議他資料印刷費
印 刷 費 B	115,200	105,600	△ 9,600	ゾーン諸印刷費
人 件 費	6,000,000	6,300,000	300,000	事務局員給与
事 務 所 費	1,200,000	1,200,000	0	事務所賃貸料
光 熱 費	400,000	315,000	△ 85,000	事務所電気・ガス・暖房費等
消 耗 品 費	250,000	250,000	0	一般事務用品費・用紙代他
備 品 費	500,000	500,000	0	事務局備品等
贈 呈 費	700,000	500,000	△ 200,000	記念品・贈答品等
慶 弔 費	500,000	450,000	△ 50,000	祝儀・香典・弔電等
交 際 費	100,000	300,000	200,000	ガバナー渉外接待交際費
新入会員促進費	200,000	200,000	0	
引 継 費	280,000	280,000	0	CAB事務引継ぎ諸経費
雑 費 A	450,000	450,000	0	CAB事務局運営諸費等
雑 費 B	464,800	431,200	△ 33,600	ゾーン運営諸経費・事務費
広 報 費	1,600,000	1,500,000	△ 100,000	エコ誌発行費・関連諸経費
研 修 費	462,000	420,000	△ 42,000	三役スクール・事務局員研修諸経費
ア ワ ー ド 費	200,000	200,000	0	表彰状・バッチ他
青少年育成費	1,200,000	1,200,000	0	YCE等関係費用
地 区 大 会 費	4,368,626	3,824,125	△ 544,501	第72回地区年次大会費用
各種委員会事業費	200,000	200,000	0	
次期C A B前渡金	5,000,000	5,000,000	0	
Y C Eキャンプ負担金	500,000	500,000	0	
GATコーディネーター費	600,000	600,000	0	
G M A 事業費	400,000	300,000	△ 100,000	
オセアルフォーラム負担金	1,658,000	1,593,000	△ 65,000	
予 備 費	200,000	200,000	0	
剰 余 金	7,317,326	6,952,028	△ 365,298	
合 計	42,749,552	41,937,353	△ 812,199	

(議案第 8 号)

本年度取引銀行の承認について

金融機関名	口座番号	口座名
釧路信用金庫 本店	普通預金 1359386	ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 釧路キャビネット事務局 会計 大津 幸三

(1) 地区費

1 人月額 …………… 1,100 円

(4) オセアルフォーラム札幌負担金

1 人年額…………… 1,000 円

【上記一括納入】

(2) 地区大会費

1 人月額 …………… 200 円

(3) 331-B 地区献眼運動推進費

1 人年額 …………… 500 円

金融機関名	口座番号	口座名
北海道銀行 札幌駅北口支店	普通預金 0925665	ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区 ガバナー協議会

(1) 複合地区費

1 人月額 …………… 180 円

(3) 日本ライオンズ賛助会費

1 人月額…………… 120 円

[2025 年 80 円→120 円]

(2) 複合地区大会費

1 人月額 …………… 20 円

[2026 年 120 円→160 円]

第 71 回複合年次大会第 3 号議案承認により

国際本部会費納入金 1 人年額 \$ 50.00 (半期 \$ 25.00)

(議案第 9 号)

地区会計監査委員の委嘱について

下記 2 名を地区会計監査委員として、地区ガバナーから委嘱する。

- 地区会計監査委員 L. 淋代 靖人 (根室 LC)
- 地区会計監査委員 L. 小野 哲也 (羅臼 LC)

2025 年 7 月 1 日

地区ガバナー L. 大島 尚久

(議案第 10 号)

地区キャビネット幹事・会計の 職務の保証としての担保について

- 地区キャビネット幹事 L. 木村 宏幸 (釧路みなと LC)
- 地区キャビネット会計 L. 大津 幸三 (釧路みなと LC)

上記ライオンは社会的な信用があり、職務執行に支障がないので担保の提供を求めないものとする。

2025 年 7 月 1 日

地区ガバナー L. 大島 尚久

(議案第11号)

2025-2026年度
3 3 1 - B 地区表彰規程

【ガバナーズ・アワード】

- 1 ガバナーズ・アワードは、クラブの創意工夫により積極的にライオニズムの高揚を図るとともに、多くの会員が地域住民と共に参加し地域社会に密着貢献されたアクティビティを主眼とする。
- 2 毎月のサバンナ、Lion Portal等、決められた期日を厳守
決められた書類を提出されたクラブ、及び国際本部、複合地区、準地区の規則に定まった諸費を納入されたクラブより表彰する。
- 3 表彰対象審査期間は、特に別記して定めたもの以外は2025年7月1日から翌年3月31日までとする。

【表彰の種類】

- 1 ガバナー特別賞
ガバナーの基本方針に基づくもの、国際会長プログラムに則った熱意とアイディアに溢れた奉仕活動を組織的に展開し、積極的にライオニズムの高揚に寄与したクラブをゾーン・チェアパーソンの推薦により表彰する。
- 2 クラブ間交流推進賞
ゾーン内だけでなくゾーンやリジョンの枠を超え他クラブとの交流を目的に合同例会や合同事業を積極的に行いライオンズクラブの素晴らしさを再認識する機会を設けたクラブを表彰する。
尚、受賞資格審査期間は2025年7月1日から第72回地区年次大会の本登録締切日までとする。
- 3 グットスタンディング賞
すべて定められた記述や期間を厳守し、特別な活動をした顕著なクラブを表彰する。尚、受賞資格審査機関は2025年7月1日から第72回地区年次大会の本登録締切日までとする。
- 4 アクティビティ賞
アクティビティ報告書により、金銭・労力・献血活動のバランスがとられた活動を展開したクラブを審査し表彰する。
尚、受賞資格審査期間は2025年7月1日から第72回地区年次大会の本登録締切日までとする。

- 5 青少年育成活動賞
青少年育成活動に積極的に取り組み、その結果が顕著なクラブ及び個人を地区委員会の推薦により表彰する。
- 6 情報活動賞
クラブ会報やP R活動に積極的に取り組み、評価の高いクラブを表彰する。
- 7 会員維持増強賞
審査機関において、会員維持や会員増強に積極的に取り組み、優れたクラブとして評価の高いクラブを地区委員会の推薦により表彰する。
- 8 社会福祉・環境活動賞
地域社会と密着し奉仕事業への参加推進の成果が一般住民に十分に認められる活動を積極的に展開したクラブを地区委員会の推薦により表彰する。
- 9 永年功労特別賞
2025-2026年度でライオン歴50年以上の会員を表彰する。但し、50年表彰を受賞した会員は除く。
- 10 平和ポスターコンテスト賞
地域の学校及び児童を対象とした美術のコンテストにおいて、平和へのビジョンの提示を推奨し、優れた作品を表彰する。
- 11 ヘアードネーション推進賞
ヘアードネーションの意義について深く理解し積極的に
ヘアードネーションを推進したクラブを表彰する。
尚、受賞資格審査期間は2025年7月1日から第72回地区年次大会の
本登録締切日までとする。
- 12 献血活動賞
日本赤十字社が行う献血時、地域及び個人に献血を呼びかける活動に対する表彰とする。
- 13 その他、ライオンズ事業において著しい貢献と認められるクラブ及び会員を表彰する。

(議案第12号)

2025～2026年度

331-B 地区緊急援助資金規則

第1条 目的

緊急災害その他これに類する応急的援助のため、積立金残金総額をもって「緊急援助資金」(以下「資金」という)を設ける。

第2条 資金の調達

1. 資金から生ずる利息は、資金に繰り入れる。
2. 地区のアクティビティの余剰金は、緊急援助資金委員会(以下「委員会」という)の決議により資金に組み入れることができる。
3. 資金の基準額は500万円とし、資金残額が基準額に満たない事態が生じたときは地区大会の決議を経て不足分相当額の拠出を要請することができる。

第3条 援助の対象

援助の対象は、災害援助法を適用され地区内の災害ならびにこれに準ずる国内および国外の災害のうちから委員会の決議により採択する。

第4条 委員会の構成

緊急援助委員会は、地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、および各ゾーン・チェアパーソンをもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

第5条 決定・運用

1. 援助の発案は、委員会構成員が委員長に対して行う。
2. 援助の決定は、委員会構成員の3分の2以上の賛成を要する。但し、特に緊急を要すると委員長が判断した場合、第一・第二副地区ガバナーとの協議により決定し、事後、文書でそれを報告する。
3. 援助の金額および方法は、その都度決定する。
4. 援助を受けたクラブ担当のゾーン・チェアパーソンは、速やかにその使途を報告する。
5. 資金が支出された場合、地区ガバナーは、速やかにその内容を各クラブに報告する。

第6条 監査

地区ガバナーは、複合地区会則第2章24条4項に準じて、この資金の会計監査を受け、期末における残高を次期ガバナーに引き継ぐ。

第7条 改廃

本規則の改廃は、地区大会の決議を要する。

(議案第 13 号)

2025～2026 年度

331-B 地区献眼運動推進費積立金運用規程

この規程は地区内において、推進費積立金の適正且つ効率的運用を期するため、次の条項を設けるものである。

記

1. 委員会構成

積立金運用決定に当たるための委員会は、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、地区献血・献眼・薬物防止委員長をもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

2. 推進費積立金の支出

地区内の献眼運動に対する啓発活動及び広報活動、NPO 旭川医大アイバンクに対する財政支援などの中から、委員会の決議により採択する。
資金の使途及び金額は、その都度決定する。

3. 積立金運用報告

積立金の運用実施報告については、キャビネット会議において速やかに報告するものとする。

4. 監査

地区特別収入による暫定特別会計として、地区監査委員会の監査を受けるものとする。

5. 施行

本規程は地区キャビネットの任期に併せ、2025 年 7 月 1 日より施行する。

第 1 回キャビネット会議 提出議案

- ・ 議案
- ・ 提案 留萌みなとLC
- ・ 質問

第1回キャビネット会議 提出議案

(4) R (1) Z

留萌みなと ライオンズクラブ

2025年 6 月 12 日

会長名 L 原田 則子

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(提 案)

薬物乱用防止教育認定講師養成講座について

(提出理由)

先般の三役スクールで、今年度の薬物乱用防止教室認定講師養成講座を11月29日に開催する事は確認いたしました。

しかしながら、331-B地区での開催は3年振りのため、現在有資格者の期限が切れている会員が多いと思います。

また、広範囲エリアの331-B地区なので、時節的な事、特に第4Rは遠方・雪道などの懸念もあるかと思うので、WEBで開催する意向を望みますがいかがでしょうか？

1. 原文を1部キャビネット準備事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 提出議案のある場合は、コピーを所属の次期ZCに送付してください。
4. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。
5. 提出議案のない場合も「該当なし」と記入の上報告してください。

各コーディネーター 各委員会 報告

地区GMTコーディネーター報告

L. 矢 吹 定 夫

全国の2025年6月30日現在の「ミッション1.5ターゲット実績」は、新クラブターゲット56クラブに対して新クラブ28、解散クラブ79よって－51クラブ。会員純増ターゲットは、941人に対して新会員8,764人、退会者11,464人、よって－2,700人。クラブ支部結成目標は、62クラブ支部に対して99クラブ支部、よって＋37クラブ支部であります。

331-B地区に於いては、新クラブターゲット1クラブに対して新クラブ0、解散クラブ3よって－3クラブ。会員純増ターゲットは、10人に対して新会員114人、退会者195人、よって－81人。クラブ支部結成目標は、1支部クラブに対して0クラブ支部、よって－1クラブ支部であります。残すところのミッション1.5の実施期間は、あと2年間ですが釧路キャビネットの目標は、会員純増10名であります。稚内、北見キャビネットの2年間に「SWOT分析」を実施し69クラブ中60クラブの回答を頂き「SWOT分析回答書まとめ」を全クラブにメールしました。

331-B地区の2025年3月31日現在の「会員動向集計表」を作成し各クラブの年齢構成、人口比率等を全クラブにメールしました。今期からは、所属するクラブの「SWOT分析」及び「会員動向集計表」を考慮しながら各自の目標に沿った「行動計画」の作成を全てのライオンにお願い致します。会員拡大のお願いばかりであります、**「会員の満足度」**を向上するためにクラブ会員相互が達成感を分かち合える**「時代に合った奉仕事業」**を実行し、**「ライオンズクラブの意義と素晴らしさを体現し伝えていく事」**が必要であると考えています。ゾーン・チェアパーソン、ゾーン委員には、地区ガバナーの意思を各クラブに伝達する重要な責務があります。ライオンズクラブ国際協会は、大きなイノベーションの波の中にあり**「ライオン・ポータル」「リモート会議」「電子メール」「ホームページ」**等、ITを駆使して自ら情報を入手し発信する時代になりました。ライオンズクラブ会員の**「会員拡大のスイッチがONに成る事」**を願っています。

地区GETコーディネーター報告

L. 村 山 聡

今年度、地区GETコーディネーターを務めさせていただきます、名寄LC所属L.村山 聡です。大島ガバナーのもと331-B地区のGAT（グローバルアクションチーム）の一員として、GMA（グローバルメンバーシップ・アプローチ）の推進に向けて一年間活動し、大島ガバナーの基本方針にありますミッション1.5を進めていくために、2新クラブの結成・純増20名を目標に活動をしていきたいと思っています。

近年、著しい会員の減少とクラブの解散が目立ち、我々331-B地区のみならず、ライオンズクラブ全体の近々の課題になっています。一昨年の東北海道WEBCのように新しい形態のLCの結成を参考にしながら、参加しやすく、馴染みやすく、大島ガバナースローガンの“豊かな地域づくりに獅子奮迅”のもと、新クラブ結成に向けて汗をかいていきたいと思っています。メンバー一人一人が会員増強を常に意識して頂き、新クラブ結成に向けて何か気づいた事が有れば、ZCを通じて情報を提供していただきますようお願いいたします。

本年度、大変微力では有りますが、皆様のご理解とご協力を頂き目標達成に向けて邁進する覚悟でありますので何卒よろしくお願い申し上げます。

地区GLTコーディネーター報告

L. 小 路 泰 孝

この度、釧路キャビネットのGLTコーディネーターを拝命いたしました、第4R・第1Z留萌みなとライオンズクラブ所属のL.小路泰孝です。昨年度の北見キャビネットでは、第4R・第1Zのゾーン委員としてキャビネット会議に参加させて頂きましたが、まだまだ勉強不足であり、この様な重責を頂戴し、より一層の知識と経験が必要であると痛感しております。大島ガバナーの地区ガバナースローガンである【豊かな地域づくりに獅子奮迅】を胸に焼き付け、この1年間を自分の出来る最大限の力で邁進したいと思っています。

GLT（Global Leadership Team）コーディネーターは指導力育成を中心に、クラブ会員の皆様への学ぶ機会を提供する事が重要であると認識しております。昨年は、広瀬第一副地区ガバナーがGLTコーディネーターとして、多くの地域へ訪問され、セミナーを通じ学ぶ機会である「ライオン・ポータル」の普及を実施されました。私もセミナーに参加をさせて頂き、多くの学ぶ機会をいただきました。ライオン・ポータルでは、自身の情報、クラブの情報、地区の情報を即座に確認する事ができ、Learnでは様々な学習のコンテンツがあり、クラブ三役、ゾーン・チェアパーソン、LCIF、SWOT分析、行動計画、新クラブ結成

だけではなく、例会運営、会員の意欲・満足度など全てのクラブ会員が活用できる内容となっております。

本年度も更なるライオンポータルの普及をPRし、一人でも多くの会員の方に利用いただければ幸いです。また、会員セミナーの開催について331-B地区の移動距離や気候を考慮し、ZOOMでの実施を企画しております。講師を含め準備を進めて参ります。この一年、皆様方のご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

地区GSTコーディネーター報告

L. 櫻井 正 人

今期のGSTコーディネーターを拝命いたしました、釧路ライオンズクラブ所属の桜井正人と申します。今年度の大島ガバナーの地区目標に沿ってキャビネット役員の皆様、そして331-B地区のライオンズクラブの皆様と力を合わせて頑張っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、献血250万mlキャンペーンの推進でございます。目標達成に向けて各地の血液センター事業所と連携をとり事前に送られてくる運行表を基に、各クラブでスケジュールを合わせ協賛協力又は、献血呼び込み運動をお願いしたいです。その際に、以前に地区内で用意を致しましたサランラップも合わせて活用して下さい。事業所によっては在庫数が少なくなっている場合もありますのでご確認下さい。

続いて、海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題についての、小学校への啓蒙活動でございます。331-B地区は3つの海に面している地区でもありますので、それぞれの海に面した小学校（留萌市、網走市、釧路市）で講師をお呼びして講演して頂きます。その内容をDVDに録画して地区内の小学校へ配布する予定でもございます。このアクティビティに関しまして掛かる費用は、地区シェアリング交付金を活用して行う予定でございます。また、その講演が終わりましたら9月末もしくは10月中の少し暖かい時期に地区内で一斉清掃活動をしたいと考えており、リジョンもしくはゾーン単位で、できるだけ大人数で海岸清掃や、公園等の清掃活動を行いながらライオンズクラブを地域の方にPRしたいと思っておりますのでご協力をお願い致します。

そして、以前から継続しています小児がんの子供たちへの支援といたしましてヘアードネーションの協力です。今期は目標1000件と致します。ヘアードネーションキットを各クラブに配布して1件でも多く集めて支援したいと考えておりますのでこちらもご協力をお願いします。次に、ここ数年開催ができていない薬物乱用防止教育講師養成の研修会の開催です。日時につきましては11月29日釧路市にて開催の予定でございます。たくさんの御参加をお待ちしております。お願いばかりになりますが、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

地区LCIFコーディネーター報告

L. 坂 本 齊

皆さま、こんにちは。今期より331-B地区 釧路キャビネットLCIFコーディネーターを拝命いたしました、富良野ライオンズクラブの坂本 齊です。微力ではございますが、大島ガバナーの方針のもと、広瀬第一副地区ガバナーをはじめとする地区役員の皆様と力を合わせ、LCIFの活動推進に努めてまいります。

LCIFは、私たちライオンズが世界中で奉仕を届けるための大切な財団です。災害支援、視力保護、青少年育成、糖尿病対策など数え切れないほどのプロジェクトが、皆様からのご寄付によって支えられています。今年度、私たちの地区ではLCIF支援の一環として、ガバナー公式訪問等で「LCIFスタンド」活動を展開してまいります。LCIF委員長、ZC、ゾーン委員（兼LCIF委員）が主体となり、LCIFにご寄付頂いた方には、レモネード等をお礼に差し上げるという活動です。また懇親会ではご当地のお酒や、ワインを持ち寄り、楽しんでLCIFに寄付することで、少額でも善意の「助け合いの心」をこつこつとはぐくみ、回数を重ねていくうちに最後には大きな力となるよう活動していきたいと思っております。

地区内クラブの皆さまには、ぜひこの活動にご理解・ご協力をいただき、多くの方に参加いただければと願っております。また、LCIFへの寄付は会員皆様のお気持ちです。クラブ単位・個人単位を問わず、ぜひ形にしていいただければ幸いです。積み重ねた善意が、やがて世界の希望となります。末筆ながら、1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区WYPTコーディネーター報告

L. 木 下 裕 幸

今年度、釧路キャビネットWYPTコーディネーターを務めさせていただきます、標茶LC所属L.木下裕幸です。

WYPTは本年度からの名称で以前のFWTから変更されましたwoman & Young people Teamで女性や若者の意見を取り入れより良い奉仕活動を展開していきたいという思いが込められていると思っております。

そのような中、本年度大島ガバナーの方針で示されました HD1000（ヘアードネーション1000）これは、昨年に引き続き、小児がん患者支援のためのヘアードネーションをさらに規模拡大して、331-B地区全体に広げたいというガバナーの思いが込められています。そこで各ZCやクラブに協力をいただきヘアードネーションキットの1000件の配布をお願いしたいと思います。まずは各クラブに10セットお配りしたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

す。このアクティビティによって一人でも多くの子供たちに笑顔を届けられるよう尽力していく所存です。

また＜豊かな地域づくりに獅子奮迅＞をスローガンに各クラブが一年間有意義な活動ができることを願い、微力ながら務めさせていただきます。皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

長期計画リサーチ委員会

委員長 L. 伊 東 隆 志

皆様方には前年度、北見キャビネットを支えていただきました。ご迷惑をおかけしたことが多々あり、思うと冷や汗が出てきますが、なんとか大島ガバナーに「ガバナーズキー」をお渡しすることができました。これまでの皆様方のご支援に対しまして、お礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、今年度は釧路キャビネットの一員として、大島ガバナーを支える側に立ちます。大島ガバナーが「孤軍奮闘」とならないよう、盾となり、鉾となることをお約束いたします。

長期計画リサーチ委員長としては、永続的に前進するライオンズをイメージして進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

地区大会委員長

委員長 L. 高 瀬 力

第72回地区年次大会委員長を仰せつかりました、釧路ぬさまいLC所属の高瀬でございます。2025年5月22・23日の年次大会開催にむけての準備を始めたところであります。

会員減少が進んでいる状況で物価高や宿泊費の高騰などで参加人数の予想が難しいのですが、登録料含め予算の工夫が必要と考えております。しかしながら、参加されたL・LLの皆様には印象に残る大会を目指して、10ホストクラブの皆様や委員会メンバーのアイデア及び、ご協力をいただきながら準備してまいります。キャビネット役員の皆様の、絶大なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

会則・コンプライアンス委員会

委員長 L. 高 橋 哲 也

この度、会員会則・コンプライアンス委員会の委員長を仰せつかりました釧路みなとライオンズクラブ所属のL. 高橋哲也です。

会員の皆様は、優れた資質を持たれた規律を守られる方ばかりではございますが、それでも近年、会員の資質・行動がより問われておりますことから、地区ガバナーの指揮の下、会員に対して会則、規則の周知徹底を図るとともに、諸活動においてコンプライアンスの意識高揚に努めて参る所存です。

役員必携を希望されたクラブには、キャビネット会議要録と共に先週届いているかと思えます。また、新しいライオンズ必携について本年度中に発行されるのかは現時点では分かりかねますが、発行される場合には、キャビネット事務局より皆様にご連絡いたします。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

国際大会・国際協調・LCIF委員会

委員長 L. 石 田 健 太 郎

この度「国際大会・国際協調・LCIF委員会」の委員長をさせていただきます、釧路みなとライオンズクラブ所属のL.石田でございます。国際大会は香港で開催される予定です。近くて行きやすさもありますので、331-B地区から多くのライオンに参加していただくようお声がけさせていただきます。

国際協調については、世界中にあるライオンズクラブの活動等を勉強しながら活動に繋げていけたらと思います。

LCIFについては、LCIFコーディネーター・ゾーン委員の皆様と協力し、LCIFの理解を深める取り組みやLCIFスタンドを中心に、寄付しやすい環境づくりに取り組みたいと思います。1年は短く、あっという間ですがどうぞよろしくお願いいたします。

献血・献眼・薬物防止委員会

委員長 L. 齋 藤 修 嗣

今年度、献血・献眼・薬物防止委員長を仰せつかりました、釧路ゆうやけライオンズクラブ所属の齋藤修嗣でございます。

献血・献眼・薬物乱用防止は、どれも必要不可欠の課題です。今期目標は、献血250万mlを目標に掲げて日本赤十字社様の協力のもと、行動いたしたいと存じます。

また献眼は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で中断していましたが令和3年9月1日より再開いたしており、皆様のご協力のもと献眼登録者を旭川医科大学様のご協力に進めていく所存です。薬物乱用防止ですが、薬物乱用防止教育認定講師養成・更新講座の開催をZoomで開催できないか関係各所と折衝中でございます。

331-B地区は、日本一広い地区ですのでDXを駆使して距離を感じない活動を行いたい所存でございます。最後になりますが私自身不慣れで皆様にご面倒をお掛けすることがあると思いますが、皆様の温かいご理解、ご協力をお願いいたします。

今期1年間、副委員長L.宮北晃悦共々よろしくお願いいたします。

レオ・青少年委員会

委員長 L. 藤 井 芳 和

今期2025年度のレオ・青少年委員会 委員長を仰せつかりました。釧路レオクラブは、今期ガバナーであるL.大島尚久が2014年度 釧路キャビネット時に担当委員長として立ち上げたものであり、それから約10年の時を経た今期、大島ガバナーの思いを感じ取りながら活動していきたいと思います。

今年9月には「レオクラブ合同・オータムキャンプ」を予定しており、帯広レオクラブ、オホーツクレオクラブやレオスポンサークラブと共に有意義なキャンプとなるよう準備していきたいと思います。今期がレオクラブにとって充実した1年となるよう、更にレオクラブの明るい未来につながるよう微力ではありますが取り組んで行きますので、331-B地区 各クラブのご協力をお願いいたします。

YCE委員会

委員長 L. 小 野 寺 一 史

今年度YCE委員長を拝命いたしました標茶ライオンズクラブ所属L.小野寺一史でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様方ご承知のとおり、Y o u t h C a m p s & E x c h a n g e (YCE) 事業は約60年前から始まった世界共通の数少ないACTのひとつです。新型コロナウイルス感染症の影響を受け3年間中断しておりましたが昨年度から事業が再開し、今年度(2025年夏期)交換事業は7月13日から始まり日本から海外へ76名、海外から95名の来日生を迎え入れる事が決定しております。うち、331-B地区から派遣生2名輩出、4名の来日生を受け入れる、コロナ以前に劣らぬ規模のACTが実施されます。これも一重に、ホストクラブのご理解ご協力の賜物であり、331-B地区会員のYCE事業への長年にわたる取り組み、理解度は、MD 331地区の中でも群を抜いていると確信しております。

YCE事業の目的は、全世界のユースがライオンズクラブのスポンサーにより招かれ、訪問し家族の一員となる。この間、異国間の地域社会を観察、体験しつつ、訪問先の人々とM a n - T o - M a n の関係を通じて相互理解を深め、新しく友愛が生まれ、国際感覚を養い、親睦と協調の精神を培い、しいては世界平和に寄与することが目的です。

今年度も331-B地区が運営の中心となり7月20日から25日までネパール深川に於いて合同キャンプが開催されます。会員の皆様方にもキャンプに参加するお時間を作っていただき、YCE事業のすばらしさを共有することが出来ますれば幸いに存じます。

今後ますますの、YCE事業に対するご理解ご協力をお願い申し上げごあいさつといたします。1年間よろしくお願い申し上げます。

M・IT委員会

委員長 L. 榎 田 欣 也

今年度、M・IT委員会 委員長を仰せつかりました、釧路みなとライオンズクラブ所属L.榎田欣也です。一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

当委員会で作成いたしますエコー誌は、例年通り1年間に6回発行させていただきます。内容としては、各クラブの活動報告や委員会報告をわかりやすく、明るく楽しく掲載させていただきます。各クラブの皆様には、伝えたい情報等、記事のご依頼をさせていただきますのでご協力の程、よろしくお願い致します。

ホームページにつきましては、7月よりリニューアルし、どなたが閲覧してもわかりやすく、関心を持っていただけるような内容で随時更新していく予定です。この一年間、不慣れではございますがどうぞよろしくお願い致します。

オセアルフォーラム特別委員会

委員長 L. 杉 本 隆 英

331-B地区 オセアルフォーラム特別委員会の委員長の任命を受けてのご挨拶をさせていただきます。

第62回東洋・東南アジアライオンズオセアルフォーラムが41年ぶりに私たちの美しい北海道札幌市で開催されることは、大変嬉しく思います。このフォーラムは、「We Serve（我々は奉仕する）」という共通の理念のもと、国境や文化を超えてつながるライオンズメンバーが一堂に会し交流と学びを深める大変意義深い機会です。

本年のフォーラムでは、【「WISH ～LAT.43°N～」共生と循環 未来の子供達のために】をテーマに掲げ、地域社会の課題に立ち向かい、どのように奉仕活動を進化させていくかについて、議論を重ねてまいります。

日本全国およびアジア、オセアニア各国からの多数のご参加をお待ちしておりますとともにこのフォーラムが、今後の活動の道しるべとなりメンバー一人ひとりの意欲をさらに高める契機となること、心から願っております。

平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L. 吉 岡 幸 二

毎年、世界中のライオンズクラブは、ライオンズ国際平和ポスターコンテストを後援しております。過去25年に100か国近くから400万人以上の子供たちが、このコンテストに参加しております。日本からは過去2作品が大賞を受賞しています。

コンテストは、地域社会の子供たちと共に、平和、寛容さ、国際理解を共有する素晴らしい機会です。今年のテーマは、「ひとつになって」です。平和を考え、それが自分たちにとって何を意味するか独創的に表現し、独自のビジョンを世界の人々と分かち合うことを、子供たちに奨励するものです。応募資格は、2025年11月15日時点で年齢が11歳～13歳の児童・生徒、締め切りは2025年11月10日(消印有効)で釧路キャビネット事務局へ作品を折らずにご送付ください。詳細は3月10日付け釧路キャビネットより、皆様のクラブにご案内しておりますのでご確認お願いいたします。

応募作品の審査は、大島ガバナーをはじめ、キャビネット役員の方々にご協力をお願いいたします。また、作品は多くの方々に見て頂きたいと考えておりますので、地区年次大会に掲示する予定であります。各クラブの皆様におかれまして、小中学校や各種団体にお声がけいただき、多数の作品が応募につながるようご協力お願い申し上げます。

アラート委員会

委員長 L. 浅 野 敬 一

本年度、一般社団法人日本ライオンズ、アラート委員会331地区委員、331複合地区アラート委員会委員長、釧路キャビネットアラート委員長の北見中央ライオンズクラブL.浅野です。どうぞよろしくお願いいたします。

日本はもとより、世界中で様々な災害が毎年発生しております。いつどこで起こるかわからない状況であることは、皆さん十分に感じておられることと思います。直近においては能登半島にて大規模な地震における災害が発生いたしました。このような観点から日本アラート委員会が設けられており、災害地における迅速な支援活動を行うため日々議論がなされております。

アラート委員会としましては、まずは社会福祉協議会、ボランティアセンターとの災害協定を推進してまいりました。2020年8月3日に日本ライオンズと全国社会福祉協議会が協定書を交わしました。2020年9月15日に日本ライオンズから各市町村に協定の要請文書を送付しております。2021年6月25日に331複合地区と北海道社会福祉協議会が協定書を交わしました。このように各市町村に協定要請文書が届いておりますので、協定がまだ進んでいないクラブに置かれましては各市町村に確認をお願いいたします。

本年6月現在の331地区の市町村との締結状況ですが 331 A地区30% 331 B地区46% 331 C地区16% 程度となっております。100%締結に向けてこれからも頑張りたいと思いますので皆様のご協力をお願いいたします。

現在の日本は毎年のように各地域において災害が発生しております。各クラブにおかれましては、金銭的支援、物資支援等ご協力をいただいております。LCIFからも多額の資金援助をいただいております。

331 B地区においては大規模な災害は近年起こっておりませんが、災害が起きた時にライオンズクラブが、社会福祉協議会やボランティアセンターと協力して、支援物資の手配、支援のためのブースの設置、支援車両の貸与等の活動をしていきたいと思っております。クラブ内にアラート委員会が無いクラブにおかれましては設置をお願いいたします。

本年度中にアラートフォーラムを開催したいと考えておりますので、その際はご協力、ご参加お願い致します。各ゾーン・チェアパーソンの皆様方には自分の地区内の市町村の社会福祉協議会との協定書締結に力を貸していただきたいと思います。

参 考 資 料



地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先：lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description 申請年月日/Submission Date 2025 年 4 月 9 日

- ① 申請者/Applicant ☒ 地区申請 地区名 331-B
☐ クラブ クラブ名 _____ クラブ番号 _____
- ② 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字）大島 尚久（ローマ字）Oshima Naohisa
電話 090-6871-6496 Eメール honosae5@outlook.com

③ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

- a. プロジェクト名 海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題について小学生への啓蒙活動
b. 実施場所 331-B 地区内 3 ケ所で講演、地区内小学校約 400 校へ教材の配布、清掃活動

④ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

小学生に対する環境教育を考えた時これから深刻化すると思われる、プラスチックゴミによる海洋汚染を避けては通れないと思われます。海は地球の 7 割を占めます。331-B 地区は 3 つの海（太平洋、日本海、オホーツク海）に囲まれた世界でも珍しい地区です。港町に暮らし、身近に海を見ている子供たちに海の環境が加速度的に破壊されつつあることを知ってもらおうとともに、カーボンニュートラルという大きな視点で考え、SDGs14 番目の海の豊かさを守ろう！の目標とともに、一人一人に授業の中で身近なことで出来ることを考える機会を持ってもらいたい。これからの世代に北海道の豊かな海を守っていくための一助となるような教材は、それをライオンズクラブが使用し講師となり、授業として毎年行い、子供たちや保護者と一緒に海岸清掃、河川清掃等を行うきっかけとなります。海はもちろん、川、山、陸全体の清掃活動に波及させ、それを持続的に行う事は、ライオンズクラブの奉仕のインパクトを高め、広く地域社会貢献に結びつく事となりそれを目指します。

⑤ この事業の受益者と人数/Beneficiaries 下記 a. 及び b. で記載ください。

a. この事業が奉仕する人々（受益者）の説明/Description of beneficiaries

留萌市立留萌小学校、網走市立白鳥台小学校、釧路鳥取小学校児童 約 70 名、地区内小学校約 400 校、地区内全体で海岸清掃、海岸のない場所は河川清掃等を行う、毎年持続して活動するので受益者は増え続けます。

b. 受益者の数/# of beneficiaries 1,000 人

⑥ 事業計画/Plan and Schedule

a. 事業実施日と企画から実施までのスケジュール/Schedule（実施日は年月日を明記し時系列で説明）

【2025.9】 日本海に面した留萌市、留萌市立小学校で講演 9/5、オホーツク海に面した網走市、白鳥台小学校 5.6 年生で講演 9/24（その授業は毎年恒例とする予定）、太平洋に面した釧路市、釧路市鳥取小学校 6 年生の授業で講演 9/25

・講師は北海道博物館より招き、海洋プラスチックゴミ問題の講演、その様子を録画。

【2025.11】 録画した授業内容、海岸で撮影したごみの実態等を編集し DVD を作成し、地区内約 400 校、地区内ライオンズクラブ 66 クラブへ配布、その後、地元ライオンズクラブから自治体、小学校へ働きかけてもらい DVD を活用した授業を行ってもらおうとともに、一緒に清掃活動をする。

- b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles
- ・釧路市、網走市、留萌市、各教育委員会…事業についての周知の側面からの支援
 - ・北海道博物館 …講師の派遣
 - ・釧路市立鳥取小学校、網走市立白鳥台小学校、留萌市立留萌小学校…授業の実施
 - ・331-B 地区ライオンズクラブ 66 クラブは自治体に働きかけて授業を実施し、海洋プラスチックゴミ問題の啓蒙活動を行うとともに一緒に清掃活動を行う

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 7, 6 7 7 (1ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	7,677 ドル (1,095,000 円)	1. DVD制作費用+税 (動画撮影、編集)	330,000 円 (2,313 ドル)
その他収入源/Other Sources	円	2. DVDダビング+税 (1,000 円×500 枚)	550,000 円 (3,856 ドル)
1.	ドル*		
2.		3. 送料 (レターパック) @430×500 ケ所	215,000 円 (1,508 ドル)
3.		4.	円 (ドル)
合計	1,095,000 円 7,677 ドル	合計	1,095,000 円 7,677 ドル*

* 申請する月のライオンズレート/Lions rate used を記載ください。 \$1.00=¥ 142.635387

このレートで換算したドル額を記入してください。1ドル以下は切り上げてください。

3 申請の承認/Application Endorsement

a. 署名による承認/Signature Endorsement

☒ 地区承認/District Approval

☐ クラブ承認/Club Approval

「私は LCIF の DCG 申請書を精査したことをここに証明します。私が知る限りにおいて、提出される情報は正確であり、記載された通りのライオンズが支援すべきニーズが存在します。私はこの提案書を承認し、交付金の適正かつ効果的な使用、適正な会計報告、ライオンズクラブ国際財団への報告責任を担保するため、交付金全額の管理責任者として出来る限りのことをいたします。」

地区ガバナーまたはクラブ会長の署名/Signature

ITO TAKASHI

伊東 隆志

地区ガバナーまたはクラブ会長の氏名（活字体で記入）/Name

331-B 地区ガバナー 伊東 隆志 (クラブ番号 66207)

地区名またはクラブ名/District or Club Name

b. コーディネーターへの情報共有と確認/Coordinator Endorsement

☒ 地区 LCIF コーディネーターの確認

署名

伊東 隆志

☒ 複合地区 LCIF コーディネーターの確認

署名

美田 弘賢

- 提出前に LCIF 地区コーディネーター及び複合地区コーディネーターに確認してもらってください。
- 申請書を審議し、承認したクラブまたは地区の議事録の添付も忘れずに提出をお願いします。議事録がないと書類不備で審査が始められません。

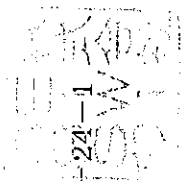
Revised Jan. 2025

2025年2月26日
見積番号 202502006

御見積書

件名 次期釧路キャピネット事務局 様
納品期日 海洋プラスチックゴミによる海洋汚染講演
納品場所
支払条件

株式会社E-wings
代表取締役 舟山 和宏
北海道釧路市昭和中央6-24-1
TEL 0154-65-7525
FAX 0154-65-7526



合計金額 ¥1,095,000

商品番号	商 品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
1	動画撮影・編集 60分以内					
	カメラ2台、音声2箇所、オペレーター2名					
	オープニング・エンディング・テロップ・BGM	1式	300,000	300,000		
	消費税	10%		30,000		
2	DVD制作・ダビング					
	DVD-R使用、レーベル:フルカラー					
	ケース:7mmスリムトール黒					
	ジャケット:両面カラー、OPP袋					
	(地区内の小学校の約500校)	500枚	1,000	500,000		
	消費税	10%		50,000		
3	送料 (レターパックライト) (消費税込)	500箇所	430	215,000		
	小 計			1,095,000		
	合 計			1,095,000		

社会福祉協議会との災害協定 締結状況

2025年7月現在

締結済み
締結予定

66クラブ中 33クラブ
50%

R	Z	クラブ名
1	1	釧 路
		白 糠
		標 茶
		釧 路 み な と
		釧 路 湿 原
	2	根 室
		羅 臼
		釧 路 ぬ さ ま い
		中 標 津
		釧 路 ゆ う や け
2	1	旭 川
		旭 川 大 雪
		旭 川 平 和
		当 麻
		愛 別
		東 川
	2	旭 川 中 央
		富 良 野
		上 富 良 野
		旭 川 ナ ナ カ マ ド
		旭 川 ク リ ス タ ル
		旭 川 バ ー チ ャ ル

R	Z	クラブ名
3	1	帯 広
		本 別
		十 勝 池 田
		音 更
		浦 幌
		豊 頃
		幕 別
		帯 広 か し わ
	2	帯 広 中 央
		帯 広 平 原
		鹿 追
		上 士 幌
		芽 室
		帯 広 鈴 蘭
		帯 広 さ く ら
4	1	留 萌
		羽 幌
		留 萌 み な と
		遠 別
	2	増 毛
		名 寄
		士 別
	3	美 深
		稚 内
		枝 幸 オ ホ ー ツ ク
		幌 延
		歌 登
5	1	猿 払
		稚 内 北 斗
		北 見
		置 戸
		遠 軽
		北 見 白 樺
		湧 別
		紋 別 オ ホ ー ツ ク
	2	白 滝
		佐 呂 間
		網 走
		美 幌
	2	津 別
		北 見 中 央
		網 走 桂
		端 野



Lions International

2024～2025年度

クラブ優秀賞 及び 五つ星優秀賞 申請書

この申請書には、クラブ優秀賞と五つ星優秀賞の受賞基準が記載されています。申請書を最初から確認し、クラブが満たした条件の□すべてにチェックマークを入れてください。申請書の最後に、五つ星優秀賞の受賞条件が記載されています。クラブには、クラブ優秀賞または五つ星優秀賞のいずれかが授与されます。

クラブ名(ローマ字): _____ クラブ番号: _____ 地区名: _____

2024～2025年度クラブ会長氏名(ローマ字): _____

会員番号: _____ Eメールアドレス: _____

1. 会員拡大

2人以上または10%の会員純増(どちらか多い方)を達成した。もしくは 新たにライオンズクラブを結成した。

ライオンズクラブ名(ローマ字): _____

2. 奉仕

新たな奉仕事業を開始した。(グローバル重点分野の一つを考慮) 説明: _____

クラブが参加し、ライオンズ・インターナショナルに報告した奉仕活動を3つ挙げてください。

1. _____

2. _____

3. _____

3. LCIF

クラブの会員総数×10ドルに相当またはそれを上回る金額をLCIFに寄付した。

年度末の会員数 _____ x US\$10 = _____

4. リーダーシップと組織の向上

クラブはグッドスタンディング:ステータスクオまたは滞納金を理由とする活動停止になっていない。地区会費を完納し、ライオンズ・インターナショナルのクラブ口座に50ドルを上回り、90日を経過した未納残高がない。

クラブ役員をライオンズ・インターナショナルに報告した。

主要役員がクラブ役員研修に参加した。

地区 ウェビナー

複合地区 ライオンズ学習センター

国際

5. マーケティング

クラブは、地元の報道機関やソーシャルメディアを通じて奉仕活動の広報を行った。

広報先のリンクを提供してください: _____

クラブや活動のPRについて、また [マーケティング・アワード](#) について詳しく学びましょう。

クラブ五つ星優秀賞の受賞条件

クラブ優秀賞の要件を達成した。

20%の会員増加（小規模クラブの場合は最低5人）。

会員平均US\$20またはクラブ全体でUS\$1,000（いずれか低い額）の寄付。

年次アクティビティ報告および会員報告の提出。

2024～2025年度地区ガバナーの署名*: _____ 地区: _____

地区ガバナーの会員番号: _____ 日付: _____

*国際本部に登録されている地区ガバナーのEメールアドレスから送信されてきた申請書は、ガバナーが署名したものとみなされます。

提出期限: 2025年8月31日

申請書送付先: clubexcellenceaward@lionsclubs.org

優秀賞の送付先: 2025～2026年度地区ガバナー

失格となったクラブによる受賞資格再検討の要請は、会計年度終了後12カ月以内に国際本部に届いた場合に限り、検討の対象となります。ただし、元となる申請書がすでに国際本部に提出されている場合に限りです。



Lions International

District and Clubs Administration

Lions International

300 W. 22nd St.

Oak Brook IL 60523-8842 USA

www.lionsclubs.org

DA-CEA 4/2024 JA

各種式典等出席の申し合わせ事項

- 1 チャーターナイト式典、その他のクラブ式典にキャビネット構成員及び地区委員が招待された場合は、ご祝儀として登録料相当額を持参する。
- 2 当該クラブがチャーターナイトに招待する地区関係者は原則として地区ガバナー、前地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー及びキャビネット幹事、会計、式典趣旨に最も関係のある地区委員長、開催地を担当するゾーン・チェアパーソン、リジョンの地区MIT・YCE委員の範囲内に止める。
- 3 招待者に対しては、招待者であることを明らかにした招待状を発送し、一般案内者（登録申込書）と混合しないよう留意する。
- 4 結成式、チャーターナイト……原則として地区ガバナーが出席するが、第一・第二副地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソンが代行する場合は地区ガバナーのメッセージを代読する。
- 5 20周年、25周年、30周年、40周年、50周年の行事には地区ガバナーは努めて出席するが、第一・第二副地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソンが代行する場合は、地区ガバナーの代行として祝意を表す。
その他の式典（例えば3年、5年、10年、15年、45年）……原則としてゾーン或いはクラブ内の簡素な行事に止め、挙行の知らせがあれば地区ガバナーはメッセージまたは祝電を送る。
- 6 各種行事に出席する場合の行事費について
地区ガバナーの要請によりその代理としてゾーン・チェアパーソンが行動する場合は、その費用は、B勘定の行動費・雑費で支出処理する。

2025-2026年度

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

釧路キャビネット公式行事予定表

331-B地区キャビネット会議	2025年5月31日(土) 次期三役スクール・事務局研修(釧路)
第1回キャビネット会議	
2025年 8月2日(土) アクアペール釧路	2025年7月 1日(火) 釧路キャビネット事務局 開局
第2回キャビネット会議	
2025年11月8日(土) アクアペール釧路	2025年8月2日(土) 第1回キャビネット会議
第3回キャビネット会議	2025年8月～10月 第1回ガバナー諮問委員会
2026年 2月 7日(土) ZOOM会議	2025年9月8日(月) 第1回複合地区ガバナー協議会
第4回キャビネット会議	
2026年 4月11日(土) アクアペール釧路	2025年8月21日(木) ガバナー公式訪問(第5R)
	2025年8月22日(金) ガバナー公式訪問(第1R)
	2025年8月30日(土) ガバナー公式訪問(第3R)
	2025年9月13日(土) ガバナー公式訪問(第4R)
	2025年10月18日(土) ガバナー公式訪問(第2R)
331複合地区ガバナー協議会	
第1回複合地区ガバナー協議会	
2025年 9月 8日(月) 札幌パークホテル	
第2回複合地区ガバナー協議会	
2025年11月25日(火)京王プラザホテル札幌	2025年7月13～17日 第107回国際大会
第3回複合地区ガバナー協議会	
2026年 3月16日(月) 京王プラザホテル札幌	2025年9月27～28日 レオ・オータムキャンプ
国際大会	
第107回国際大会 アメリカ・フロリダ州オーランド	2025年10月23～26日 第62回O S E A L フォーラム札幌
2025年7月13日(日)～17日(木)	※10/24(金) 開会式
第108回国際大会 中国・香港	※10/26(日) 閉会式
2026年 7月3 日(金)～7月7日(火) (予定)	2025年10月26日(日) 国際会長公式訪問
東洋・東南アジアフォーラム(O S E A L フォーラム)	
第62回日本・札幌開催	2025年11月8日(土) 第2回キャビネット会議
2025年10月23日(木)～26日(日) ※開会式10/24(金)	2025年11月～12月予定 第2回ガバナー諮問委員会
第63回 マレーシア・ペナン	2025年11月25日(火) 第2回複合地区ガバナー協議会
2026年 月 日()～ 日()	2025年11月29日(土) 薬物乱用防止教育認定講師養成講座
第72回地区年次大会	
代議員会総会	2026年2月7日(土) 第3回キャビネット会議
2026年5月23日(土) 釧路市生涯学習センターまなぼっと	(ZOOMリモート会議)
大会式典	2026年2月～3月予定 第3回ガバナー諮問委員会
2026年5月23日(土) 釧路市生涯学習センターまなぼっと	2026年3月16日(月) 第3回複合地区ガバナー協議会
晩餐会	
2026年5月23日(土) 釧路市観光国際交流センター	2026年4月11日(土) 第4回キャビネット会議
	2026年4月～5月予定 第4回ガバナー諮問委員会
第72回331複合地区年次大会(札幌)	2026年5月23日(土) 第72回地区年次大会(釧路市)
大会式典&晩餐会	
2026年5月30 日(土)	2026年 5月30日(土) 第72回複合地区年次大会(札幌市)
レオ・オータムキャンプ	
2025年 9月27日(土)	
釧路市内	
次期三役スクール・事務局員研修	
2026年 6 月 日() 富良野	

ライオンズクラブ国際協会331-B地区
2025-2026年度
ガバナー公式訪問日程予定表

訪問日時	曜日	開催地	R	Z	担当LC・担当ZC名	役員会議	公式訪問	懇親会	会場	訪問クラブ	クラブ数
8月22日	金	釧路	1	1	釧路湿原 LC L. 渡部 候司	15:15 〃	17:00 〃	18:15 〃	アケアベールくしろ	釧路、白糠、標茶、釧路みなと、釧路湿原	5
				2	中標津 LC L. 長谷川 松美	16:45	18:00	20:00			
10月18日	土	旭川	2	1	当麻 LC L. 佐藤 利博	16:00 〃	18:00 〃	19:00 〃	アートホテル旭川	旭川、旭川大雪、旭川平和、当麻、愛別、東川	6
				2	旭川中央 LC L. 田中 香織	17:30	19:00	20:30			
8月30日	土	帯広	3	1	音更 LC L. 大熊 秀之	15:15 〃	17:00 〃	18:15 〃	ホテル日航ノースランド帯広	帯広、本別、十勝池田、音更、浦幌、豊頃、幕別、帯広かしわ	8
				2	帯広中央 LC L. 香川 俊雄(職務代行者)	16:45	18:00	20:00			
9月13日	土	羽幌	4	1	羽幌 LC L. 橋本 修司	13:00	15:00	17:00	はぼろ温泉 サンセットホテル	留萌、羽幌、留萌みなと、遠別、増毛	5
				2	士別 LC L. 佐々木 隆博	〃	〃	〃			
				3	稚内北斗 LC L. 岡谷 繁勝	14:30	16:30	18:30			
8月21日	木	北見	5	1	佐呂間 LC L. 関東 正浩	13:45 〃	15:30 〃	17:00 〃	ホテル黒部	北見、置戸、遠軽、北見白樺、湧別、紋別オホーツク、白滝、佐呂間、東北海道WEB	9
				2	北見中央 LC L. 伊藤 光隆	15:15	16:30	18:30			

330-337各複合地区ガバナー協議会事務局および各地区キャビネット事務局(2025-2026)

地区名	郵便番号	事務局住所1	事務局住所2	電話番号	ファクス番号		地区名	Eメール・アドレス
MD330	103-0027	東京都中央区日本橋2-12-9	日本橋グレイスビル2階	(03)3276-5400	(03)3276-5433		MD330	lions@md-330.jp
MD331	060-0809	北海道札幌市北区北9条西3丁目	小田ビル5階	(011)758-8866	(011)758-8885		MD331	md331@ruby.ocn.ne.jp
MD332	980-0021	宮城県仙台市青葉区中央2-11-23	太田ビル5階	(022)261-3324	(022)261-6639		MD332	md332lc@gmail.com
MD333	110-0015	東京都台東区東上野3-21-7	福井ビル401	(03)5688-6436	(03)5688-6437		MD333	md333@nifty.com
MD334	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅2-43-12	東山ビル6階	(052)581-0777	(052)581-0779		MD334	lions334@lilac.ocn.ne.jp
MD335	530-0001	大阪市北区梅田1-1-3	大阪駅前第3ビル 1411	(06)6345-3135	(06)6345-3137		MD335	md335@lionsclubs.gr.jp
MD336	700-0985	岡山県岡山市北区厚生町3-1-15	岡山商工会議所 6F	(086)234-0695	(086)234-0495		MD336	admin@lions-md336.org
MD337	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東1-1-33	はかた近代ビル9階	(092)432-7211	(092)432-7233		MD337	md337@ceres.ocn.ne.jp

	330-A	169-0074	東京都新宿区北新宿1-36-6	ダイナシティ西新宿1階	(03)5330-3330	(03)5330-3370		330-A	cab@lions330-a.org
	330-B	231-0038	神奈川県横浜市中区山吹町1-7	パークノヴァ伊勢佐木長者町201	(045)334-8670	(045)334-8673		330-B	cab.office@lions330-b.jp
	330-C	330-0835	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-103-1	中村ビル5階	(048)658-3304	(048)658-3305		330-C	cab330c@lionsclubs330c.gr.jp
	331-A	060-0809	北海道札幌市北区北9条西3丁目	小田ビル5階	(011)758-8881	(011)758-8882		331-A	info@lc331-a.jp
*	331-B	085-0031	北海道釧路市中島町6-25		(0154)68-5647	(0154)68-5648		331-B	kushirocab331b@marimo.or.jp
*	331-C	050-0083	北海道室蘭市東町5丁目15番18号 2F		(0143)84-1411	(0143)84-1422		331-C	lc331c_muroran-cab@lionsclubs-331C.org
	332-A	030-0801	青森県青森市新町2-8-26	県火災あおもりビル4F	(017)718-8121	(017)718-8122		332-A	cab-332a@abeam.ocn.ne.jp
	332-B	020-0022	岩手県盛岡市大通3-6-12	開運橋センタービル4-7号	(019)621-1415	(019)621-1420		332-B	office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp
	332-C	980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町2-5-5	一番町中央ビル 603	(022)398-3904	(022)398-3914		332-C	332-c@lions-clubs.jp
	332-D	963-0102	福島県郡山市安積町笹川字彼岸塚22-9		(024)937-0830	(024)937-0831		332-D	info@lc332d.com
	332-E	990-0067	山形県山形市花楸1-19-20	鈴川セントラルビル2階	(023)626-4431	(023)626-4432		332-E	cabinet@lions332-e.jp
	332-F	010-0921	秋田県秋田市大町3丁目2-44	協働大町ビル2階	(018)893-4447	(018)893-4706		332-F	office@332-f.jp
	333-A	955-0092	新潟県三条市須頃1-17	燕三条地場産センター3階	(0256)36-7631	(0256)36-7632		333-A	cab@lc333a.org
	333-B	320-0063	栃木県宇都宮市陽西町1-37		(028)627-0012	(028)627-0019		333-B	cabinet@lions-333b.org
	333-C	260-0026	千葉県千葉市中央区千葉港4-3	千葉県経営者会館4階	(043)243-2528	(043)247-4756		333-C	office-sc@lionsclub333c.org
	333-D	376-0011	群馬県前橋市大手町3丁目9-16		(027)225-2433	(027)225-2434		333-D	cab@lions-333d.jp
	333-E	310-0803	茨城県水戸市城南3-4-25	堤ビル1階	(029)306-7750	(029)306-7751		333-E	info@lc333-e.com
	334-A	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8	大東海ビル6階609号	(052)589-0151	(052)589-0150		334-A	cabinet@lc334a.gr.jp
	334-B	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅5-4-14	花車ビル北館 301号	(052)526-3687	(052)526-3688		334-B	cabinet@334b.org
	334-C	422-8067	静岡県静岡市駿河区南町6-1	南町第一ビル3階	(054)286-8922	(054)286-8919		334-C	webmaster@lions334-c.org
	334-D	922-0402	石川県加賀市柴山町5番地1	ホテルアローレB1	(0761)75-7623	(0761)75-7624		334-D	cabinet-office@lions334-d.jp
	334-E	390-0837	長野県松本市鎌田1-2-27		(0263)31-6107	(0263)31-6108		334-E	caboffice@lcint334e.org
	335-A	650-0046	兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1	神戸ポートピアホテル南館5階	(078)303-0303	(078)303-0301		335-A	cabinet335a@lc335a.gr.jp
	335-B	541-0048	大阪府大阪市中央区瓦町4-4-8 2F		(06)6222-7331	(06)6222-7336		335-B	335bcabinet@lc335b.gr.jp
	335-C	600-8237	京都府京都市下京区堀川通塩小路	リーガロイヤルホテル京都内	(075)344-0258	(075)344-0277		335-C	lions@skyblue.ocn.ne.jp
	335-D	670-0932	兵庫県姫路市下寺町43	姫路商工会議所新館3階	(079)281-8444	(079)281-8421		335-D	cabinet@lc335d.org
*	336-A	770-0923	徳島県徳島市大道4丁目45-2	オレンジビル3階	088-624-5522	088-678-2569		336-A	tokushimacab@lc336a.org
	336-B	700-0985	岡山県岡山市北区厚生町3-1-15	岡山商工会議所 7F	(086)232-7722	(086)232-1155		336-B	info@lc336-b.com
	336-C	733-0003	広島県広島市西区三篠町一丁目8-21	みささ文化ビル2F	(082)962-9505	(082)962-9506		336-C	mail@336c.org
	336-D	694-0064	島根県大田市大田町大田イ380-1	ハイカラビル2F	(0854)83-7710	(0854)83-7720		336-D	cco.oda@lc336d.com
	337-A	820-0004	福岡県飯塚市新立12-37	のがみプレジデントホテル2階	(0948)43-8422	(0948)43-8433		337-A	cabinet@337-a.org
	337-B	870-0924	大分県大分市牧1丁目1番35号	ありたやビル607	097-551-3780 080-3972-7308	097-551-3780 (TELと同じ)		337-B	lions337-b@eos.ocn.ne.jp
	337-C	843-0301	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1282		(0954)20-4220	(0954)20-4377		337-C	lc337-cb@sirius.ocn.ne.jp
※	337-D	892-0838	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番	公社ビル318号	(099)297-6663	(099)814-7846		337-D	lc337d.kagoshima.c@gmail.com
	337-E	860-8575	熊本県熊本市中央区東阿弥陀寺町2	ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 26階	(096)352-3008	(096)352-3006		337-E	lions.clubs.cabinet@ever.ocn.ne.jp

*新年度変更

2025-2026年度331複合地区および準地区情報

331複合地区	氏 名	所属クラブ名	331複合地区ガバナー協議会事務局	
協議会議長	シタラ 設楽 サチコ 幸子	札幌アカシヤ	〒060-0809	
(2023-2024年度 A地区ガバナー)			北海道札幌市北区北9条西3丁目	
			小田ビル5階	
			Tel (011)758-8866	Fax (011)758-8885
			E-mail: md331@ruby.ocn.ne.jp	
331-A地区	氏 名	所属クラブ名	331-A地区キャビネット事務局	
地区ガバナー	ヤマザキ 山崎 イフオ 巖	札幌北の杜	〒060-0809	
第1副地区ガバナー	ソノダ 其田 カツノリ 勝則	砂川	北海道札幌市北区北9条西3丁目	
第2副地区ガバナー	イトウ 伊藤 ナオト 直人	千歳	小田ビル5階	
キャビネット幹事	カタヤマ 片山 マサヒロ 雅裕	札幌北の杜	Tel (011)758-8881	Fax (011)758-8882
キャビネット会計	キクタ 菊田 アキフミ 昭文	札幌北の杜	E-mail: info@lc331-ajp	
331-B地区	氏 名	所属クラブ名	331-B地区キャビネット事務局	
地区ガバナー	オオシマ 大島 ナオヒサ 尚久	釧路みなと	〒085-0031	
第1副地区ガバナー	ヒロセ 広瀬 ヒロト 寛人	富良野	北海道釧路市中島町6-25	
第2副地区ガバナー	ヤナギサワ 柳澤 ユタカ 豊	留萌みなと		
キャビネット幹事	キムラ 木村 ヒロユキ 宏幸	釧路みなと	Tel (0154)68-5647	Fax (0154)68-5648
キャビネット会計	オオツ 大津 コウゾウ 幸三	釧路みなと	E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp	
331-C地区	氏 名	所属クラブ名	331-C地区キャビネット事務局	
地区ガバナー	タカハシ 高橋 ノブユキ 伸介	室蘭東	〒050-0083	
第1副地区ガバナー	ヤマモト 山本 ケンジ 憲治	小樽みなと	北海道室蘭市東町5丁目15番18号 2F	
第2副地区ガバナー	サクナミ 作並 シンイチ 真一	函館みなと		
キャビネット幹事	カドワキ 門脇 ヒロユキ 宏幸	室蘭東	Tel (0143)84-1411	Fax (0143)84-1422
キャビネット会計	コジマ 児島 カツミ 克己	室蘭東	E-mail: lci331c_muroran-cab@lionsclubs-331c.org	

ライオンズクラブ国際協会オセアル調整事務局

〒100-0011 東京都千代田区幸町 1 丁目 3-1 幸ビルディング 2 階

代表電話番号：050-1791-5820 / 代表 FAX 番号：03-6745-1777 / 代表メールアドレス：oseal@lionsclubs.org

【各種お問い合わせ先メールアドレス】

- 会員サービス全般：msc-japan@lionsclubs.org
- LCIF 関連：lciftokyo@lionsclubs.org
- GAT 関連：gat-japan@lionsclubs.org
- クラブ用品関連：Shop-japan@lionsclubs.org
- その他：oseal@lionsclubs.org

【オセアル調整事務局スタッフ 連絡先と主な担当業務】

氏名	タイトル	主な担当業務	電話番号	メールアドレス
マーズ佐子	事務局長	● 事務局の運営・管理 ● 法務関係 ● 他の部局やパートナーとの連携 ● 国際理事会・LCIF 理事會関連業務 ● その他	05017915828	Yoshiko.Merz@lionsclubs.org
箕輪絹子	総務会計スペシャリスト	● ガバナー経費、スピーカー任務払い戻し、補助金の支払い ● 交付金支払い ● 財務活動停止について、会計計算書の見方、支払い、その他会計に関する国際協会の規定やルールについて ● 事務局総務	05017915825	kinuko.minowa@lionsclubs.org
瀧川奈緒	ロジスティクス支援スペシャリスト	● イベントや会議のロジスティクス支援 ● 国内・海外への発送業務と物品管理 ● 名簿管理・協会・LCIF 幹部の旅行支援	05054979337	nao.takigawa@lionsclubs.org

澤田のほら	会員サポートスペシャリスト	● 会員やクラブ、地区のサポート全般・問い合わせ対応 ● 会員データベースの支援 ● クラブ用品 E コマースサイトのプロモーションおよび改善支援 ● 国際大会登録に関する会員サポート ● 新会員キットについて	05017915827	Nohara.Sawada@lionsclubs.org
畠山直子	GAT スペシャリスト	● GAT の日本における活動支援 ● 国際協会地区のプログラム・資料に関すること ● 国際協会が主催するリーダーシップ研究会の支援 ● 会員データに関する分析や資料提供	05017915826	Naoko.Hatayama@lionsclubs.org
桜澤育子	クラブ用品スペシャリスト	● 日本におけるクラブ用品販売 E コマースサイトの運営と用品販売のサポート ● スマートサポート、マーケティング ● 公認業者の窓口業務 ● その他会員サポート業務	05017915822	Ikuko.Kabasawa@lionsclubs.org
本間純子	LCIF 課長（日本担当）	● LCIF が日本で行うファンドレイジングと理解を深める活動全般 ● LCIF 日本リーダーズのサポートと会議等の主催 ● 日本からの寄付申請における窓口・相談業務	05017915823	Junko.Honma@lionsclubs.org
塚田加奈子	LCIF 寄付者サービススペシャリスト	● LCIF 寄付報告の対応と寄付者サポート窓口業務 ● LCIF 寄付状況データについて ● LCIF 表彰に関する対応全般	05017915824	Kanakko.Tsukada@lionsclubs.org
藤井由貴子	LCIF コミュニケーションスペシャリスト	● 日本における LCIF 活動の情報発信・マーケティング支援（年次報告書、ウェブサイト等） ● シェアリング交付金申請支援	05054979338	yukiko.fujii@lionsclubs.org

【主な目的別のお問い合わせ一覧】

項目	担当課	連絡先
ライオンアカウント	オセアル調整事務局 メンバーサービスセンター	mscjapan@lionsclubs.org 050-1791-5827
MyLCI、MyLion		
終身会員申請		
会計計算書・国際会費・専用口座		
会員アワード（キー賞、モナーク・シェブロン賞 他）		
クラブ支部の事務手続き		
新クラブ結成の事務手続き	オセアル調整事務局 GATサポート	GATJapan@lionsclubs.org
GAT関連		
グローバル・メンバーシップ・アプローチ（GMA）		
Insights		
Learn	オセアル調整事務局 ライオンズショップ・ジャパン	Shopjapan@lionsclubs.org
ライオンズショップ・ジャパン（クラブ用品）		
平和ポスターコンテスト	オセアル調整事務局 代表	oseal@lionsclubs.org
地区ガバナー事務経費・旅費請求		
LCIF 寄付・寄付報告	オセアル調整事務局 LCIF Tokyo	lciftokyo@lionsclubs.org
LCIF シェアリング交付金		
LCIF ライオンズクエスト交付金	ライオンズ・クエスト	lionsquest@lionsclubs.org
ライオン誌日本版	一般社団法人日本ライオンズ	jlo@jade.plala.or.jp
レオクラブ	申請書の提出：Leo Clubs 問い合わせ：オセアル調整事務局 メンバーサービスセンター	leoclub@lionsclubs.org mscjapan@lionsclubs.org
公認ガイドング・ライオン	英語課・太平洋アジア課	certifiedguidinglions@lionsclubs.org
クラブ優秀賞	英語課・太平洋アジア課	clubexcellenceaward@lionsclubs.org
地区ガバナー・チーム優秀賞	英語課・太平洋アジア課	districtexcellenceaward@lionsclubs.org
クラブに係る変更 クラブのステータスクオ処分及び解除 クラブの解散、復帰、合併、名称変更 クラブの優先ステータス指定及び解除	太平洋アジア課 ※地区役員の名札とラベルピンの配布はオセアル調整事務局	pacificasian@lionsclubs.org
地区管理 地区再編成及び単一クラブ転籍 移行地区		
地区行政 地区会報、キャビネット会議及び協議会会議の議事録		
地区ガバナー用品 地区役員ラベルピン及びデカール 地区委員長タブ 地区ガバナー／同伴者名札（地区ガバナーエレクト・セミナーで1度だけ配布） 元地区ガバナー／同伴者名札（ガバナー任期終了時に1度だけ） 協議会議長／同伴者名札（協議会議長就任時に1度だけ）		

地区ガバナー

L. 大島 尚久 (釧路みなど)

第二副地区ガバナ－
L.柳澤 豊（留萌みなと）

国際会長 L. A・P・シン

【 国 際 テ ー マ 】

We Serve 我々は奉仕する

【 国際会長メッセージ 】

Lead to Serve, Serve to Lead.
リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。

地区ガバナー L. 大島 尚久

【 ガバナースローガン 】

豊かな地域づくりに獅子奮迅

キャピネット(幹事・会計・運営委員)		
幹事	計(全)	L.木村宏幸(御路みなと)
幹事	計(広)	L.大津幸一(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.大森一三(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.綿貫裕介(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.井田正昭(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.相原幸雄(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.浅野一弘(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.浅野目充(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.熊谷修男(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.小原明幸(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.秋元邦章(御路みなと)
幹事	計(副幹事)	L.高橋清美(白糠)

地区コード・ディネーター		吹	定	夫	(帯	広	平	原)
地区GMT	コード・ディネーター	L, 矢	好	啓	(帯	広	平	原)
	副コード・ディネーター	L, 太	山	聡	(名	寄		
地区GE	コード・ディネーター	L, 村	石	田	十	羽	完	(名
	副コード・ディネーター	L, 小	路	泰	孝	(留	明	みなと)
地区GL	コード・ディネーター	L, 梅	田	三	樹	(留	明	みなと)
	副コード・ディネーター	L, 櫻	井	正	人	(鋼	路)	
地区GS	コード・ディネーター	L, 川	人	正	和	(鋼	路)	
	副コード・ディネーター	L, 坂	本	斉	(富	良	野)	
地区LC	コード・ディネーター	L, 木	瀬	寛	人	(富	良	野)
	副コード・ディネーター	L, 下	木	瀬	寛	人	(富	良
地区WY	コード・ディネーター	L, 熊	谷	一	行	(標	茶)	
	副コード・ディネーター	L, 熊	谷	一	行	(標	茶)	

地区委員会	
会則・コンプライアンス （委員長）	L.高橋哲也（鋼路みなと）
国際大会・国際協調・LCIF （副委員長）	L.西池聡（鋼路みなと）
	L.石田健太郎（鋼路みなと）
	L.佐々木良吉（鋼路みなと）
献血・献血・薬物防止 （委員長）	L.齋藤修嗣（鋼路ゆうやけ）
	L.宮北晃悦（鋼路ゆうやけ）
レオ・青少年 （委員長）	L.藤井芳和（鋼路）
	L.滑野芳明（帯広平原）
YCE （委員長）	L.小野寺一史（標茶）
	L.佐藤臺一（帯広かしわ）
M・IT （委員長）	L.榎田欣也（鋼路みなと）

レオ・青少年	L.宮北	晃悦(銅路ゆうやけ)
	L.藤井	芳明(銅路平路)
	L.清野	芳明(帯広茶)
YCE	L.小野寺	一史(銅路)
	L.佐藤	豪一(帯広かしわ)
M・IT	L.株田	欣也(銅路みなと)
(マーケティング・情報テクノロジ)	L.舟山	和宏(銅路みなと)
	L.馬場	英樹(銅路みなと)
オセアルフォーラム特別	L.杉本	隆英(銅路ぬぎまい)
	L.島	孝治(根室)
	L.佐藤	邦彦(富良野)
	L.寺中	賢武(網走)
平和ボスター・コンテスト	L.吉岡	幸二(銅路みなと)
	L.浅野	正幸(銅路みなと)
アラート	L.松野	敬一(北見中央)
(兼)	L.佐藤	豪一(帯広かしわ)

特別委員会	
公益財団法人日本たばこ株式会社特別委員会	委員長 L, 柳 澤 豊 (留萌みなと)
公益財団法人日本たばこ株式会社特別委員会	副委員長 L, 小 路 泰 孝 (留萌みなと)

- ◇ GMT : Global Membership Team(グローバル会員増強チーム)
- ◇ GET : Global Extension Team(グローバルエクステンションチーム)
- ◇ GLT : Global Leadership Team(グローバル指導力育成チーム)
- ◇ GST : Global Service Team(グローバル奉仕チーム)
- ◇ LCIF : Lions Clubs International Foundation(ライオンズクラブ国際財団)
- ◇ WYPT : Woman & Young People Team (女性・学生特別委員会)
- ◇ YCE : Youth Camp Exchange(ユースキャンプ及び交換)
- ◇ M・IT : Marketing & Information Technology
(PR情報・地域広報活動&コンピュータ情報通信・技術)
- ◇ GAT : Global Action Team(GMT・GET・GLT・GST・WYPT)

ゾーン・チェアパーソン		所属クラブ	数
1R	1Z	L.渡部 候司(御路遼原)	御路・白糠・標茶・御路みなと、御路遼原
	2Z	L.長谷川 松美(中津)	根室・羅臼・御路ぬきま、い・中標津・御路のうやけ
2R	1Z	L.佐藤 利博(当麻)	旭川・旭川大雪・旭川平和・当麻・愛別・東川
	2Z	L.田中 香織(旭川中央)	旭川中央・富良野・上富良野・旭川ナナカマド・旭川クリスタル・旭川パーチャル
3R	1Z	L.大熊 秀之(菅 更)	帯広・本別・十勝池田・菅更・浦幌・豊幌・幕別・帯広かしわ
	2Z	L. (帯広中央)	帯広中央・帯広平原・鹿追・上士幌・芽室・帯広鈴蘭・帯広さくら
4R	1Z	L.橋本 修司(羽 幌)	留萌・羽幌・留萌みなと、遠別・増毛
	2Z	L.佐々木 隆博(士 別)	名寄・士別・美深
	3Z	L.岡谷 繁勝(旭川北中央)	稚内・枝幸オホーツク・幌延・歌登・猿払・稚内北斗
5R	1Z	L.岡谷 正浩(佐呂間)	北見・置戸・遠軽・北見白糠・湧別・紋別オホーツク・白滝・佐呂間・東北海道WEB
	2Z	L.伊藤 光隆(北見中央)	網走・美幌・津別・北見中央・網走桂・端野

名 称	スポンサークラブ
帯広レオクラブ	帯広・帯広中央・帯広平原・帯広かしわ
釧路レオクラブ	釧路・標茶・釧路みなと・釧路ぬさまい・中標津・釧路豊原・釧路ゆうやけ
オホーツクレオクラブ	北見中央・北見白樺・白滝・端野・遠軽・湧別・美幌・津別

地区MIT・YCE委員	
第1R	L.松崎 正幸 (中標雪)
第2R	L.北 橋 完 (旭川中央)
第3R	L.加 藤 礼市 (帯広中央)
第4R	L.東 原 義幸 (留萌みなと)
第5R	L.関 東 正浩 (佐呂間)

グローバル重点分野	
	糖尿病・環境
	視力・小児がん
	眼・眼科
	視力・小児がん

ゾーン委員 (兼LCIF委員)	
第2R・第2Z	L.早川 直久 (旭川中央)
第3R・第1Z	L.松本 光伸 (市 更)
第3R・第2Z	L.中原 弘之 (帯広中央)
第4R・第1Z	L.松田 肇 (羽 幌)
第4R・第2Z	L.宮島 貢 (士 別)
第4R・第3Z	L.松本 孝幸 (稚内北斗)
第5R・第1Z	L.為 広 裕司 (佐呂間)
第5R・第2Z	L.飯 田 守 (北見中央)

事務局	
事務局長	L.武田 真使
事務局員	佐藤 祐雅子
事務局員	若月 聖美

2025 - 2026

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町 6 番 2 5 号
TEL 0154-68-5647 FAX 0154-68-5648
E-mail : kushirocab331b@marimo.or.jp



We Serve

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町6番25号

TEL (0154) 68-5647・FAX (0154) 68-5648

E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp